愛知県立芸術大学
平成 23 年度大学構内植生調査業務委託

報 告 書

平成２４年３月

愛 知 県 公 立 大 学 法 人

株式会社オオバ名古屋支店

目　次

Ⅰ．業務概要‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥Ⅰ-1
1.業務概要
2.実施方針
3.使用する主な図書および基準

Ⅱ．植物相調査‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥Ⅱ-1
1.植生・植物相の概要
2.植生平面図
・現存植生図
・重要種位置図
・スズカカンアオイ位置図
3.植物重要種
・重要種リスト
・重要種の解説及び確認状況
・重要種植物写真
4.植物確認種
・確認種リスト
・植物写真（植生区分毎）
・植物写真（立地タイプ別主要植物）

Ⅲ．植生調査（コドラート調査）‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥Ⅲ-1
1.群落組成の概要
2.植生調査（コドラート調査）地点図
3.植生イメージ図
4.植生断面図
5.植生調査地点写真
6.植生調査票
7.樹木詳細データ

Ⅳ．照度調査‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥Ⅳ-1
1.照度調査結果の概要
2.照度グラフ
3.照度調査データ

Ⅴ．現状の分析‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥Ⅴ-1
1.現状の分析

Ⅵ．樹林管理計画および活用計画の検討‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥Ⅵ-1
1.大学関係者の現地確認の記録
2.専門家の助言･指導の記録
3.森づくり演習の記録
4.計画の策定に向けて

Ⅰ.業務概要

1. 業務概要

(1) 委託業務名

愛知県立芸術大学平成 23 年度大学構内植生調査業務委託

(2) 委託工期

着手　平成 23 年　4 月　　1 日

完了　平成 24 年　3 月　 31 日

(3) 業務目的

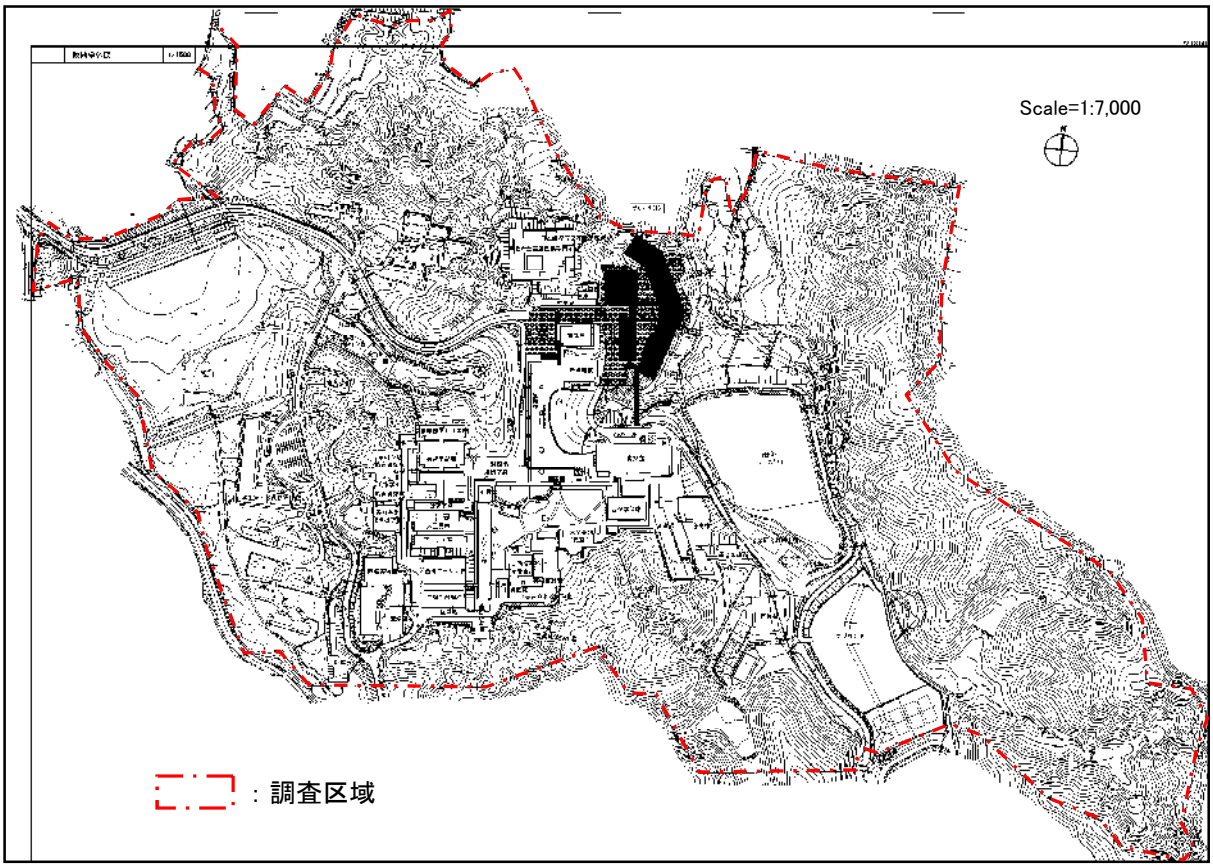
本業務は、愛知県立芸術大学構内樹林地の植生分布現状を把握するために調査を実施するものである。また、調査によって得られた樹林地の植生状況を踏まえて、大学構内の樹林環境の今後のあり方を検討する。

2. 実施方針

(1) 調査区域

調査対象区域は、平成 22 年度に実施した「大学構内植生分布状況調査」を行った区域とする。

■調査区域



(2) 調査項目および調査手法

1) 植物相調査

- 調査区域内を踏査して、出現植物について植物名を記録し、生育している草本類および樹木を把握する。
- 植物相調査は春季(4 月頃)、夏季(7 月頃)、秋季(10 月頃)の 3 回実施して出現植物のリストを作成する。
- 出現植物のリストは①樹林地、②草地、③水域、等の地目ごとに生育状況がわかるようにとりまとめる。
- 保全・育成すべき植物の抽出を行う（生育状況写真を撮影)。
- 調査結果をもとに H22 年度に実施した概略植生図を修正する。

（植物相調査の目的）
国、愛知県等において、絶滅危惧種、危急種、希少種等に指定される種、および自然観察や学生への環境教育の対象として樹林の魅力を高めるような特色ある植物種等の有無及び分布を確認する。指定種が確認された場合はその分布範囲を確認し、保全･育成すべき植物の抽出を行う。その後の保全手法の検討に活用されるデータである。

2) 群落組成調査（コドラート調査）

- 群落組成調査は、植生図作成調査にて区分された群落タイプごとに、植生が典型的に発達している群落の中のできるだけ均質な場所にコドラート（方形の調査区）を設置する。
- コドラートは 10m×10mを 1 区画とし、植生区分ごとに 1～3 箇所計 10 箇所選定する。
- コドラートの土地の状況（地形、位置、斜面方位等）と植生概況（各階層：高木層・亜高木層・低木層・草本層の優占種、平均的な高さ、植被率および胸高直径を測定・記録する。
- コドラート内に生育する全ての構成種を把握し、種名と被度・群度を記録する。
- コドラート内に生育する高木、亜高木、低木（直径 1 ㎝以上）の樹種名、コドラート内の位置、樹高、枝下高、樹冠の広がり、胸高直径を調査して断面図及び植生イメージ図（群落階層模式図、樹冠投影図等）を作成する（得られた成果は樹林健全化および活用計画作成の基礎資料とする)。
- 群落組成調査は、落葉樹が展葉する 6～7 月に実施する。

（群落組成調査の目的）
群落タイプごとの植生構成を明らかにすることで、現状の植生の評価、保全･育成目標の設定、樹林形成の誘導方針作成に生かすことが出来る。

3) 林内相対照度調査

- コドラートの林内相対照度を測定し、樹林育成計画作成の基礎資料とする。
- 林内照度の測定位置は各コドラート内で 4 箇所（4 分割した各区画の中央)、測定高さは低木層 H=1.2mと草本層 H=0.2mとする。
- 林外照度は上空が開けた場所にて測定する。

・ 2 台の照度計を使用して、同時測定した林内照度（klux）÷林外照度（klux）＝林内相対照度（%）として算出する。

・ 林内相対照度調査は春季 4 月、夏季 7 月、秋季 10 月の 3 回実施する。

（林内相対照度調査の目的）
現状の林内と林外の照度を測定することで、「林内相対照度」(無立木地と樹林内の相対的な明るさの比較)を、今後の樹林整備の管理指標として活用することが可能となる。

4）現状の分析

2 ヵ年の調査結果をもとに、大学構内の樹林の現状を分析し、課題を整理する。

5）樹林管理計画および活用計画の検討

・ 大学構内の樹林の健全化に向けた管理計画を検討する。

・ 大学の環境資源として、大学構内の樹林の活用手法を検討する（学生の研究フィールドとしての活用を含む)。

6）専門家の助言･指導

・ 樹林管理計画にあたっては、名古屋東部丘陵地の森林環境に詳しい林学系の専門家（岐阜大学名誉教授　林　進先生）の助言･指導を受けるものとする。

(3) 調査工程

調査の実施時期は、以下の通りである。

項目	数量	平成 23 年									平成 24 年			備考
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(1)植物相調査	1 式	―			―			―						3 季
(2)群落組成調査	1 式			―	―									1 季
(3)林内相対照度調査	1 式	―			―			―						3 季
(4)現状の分析	1 式								―	―				
(5)樹林管理計画および活用計画の検討	1 式						―	―	―	―	―	―	(H24 年度 継続検討予定)	
(6)専門家の助言･指導	1 式				―				―			―		

3. 使用する主な図書及び基準

1) 大学構内植生分布状況調査報告書（平成 22 年度）
2)「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(法律第 76 号, 1992 年)の国際・国内希少野生動植物種
3)「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物Ｉ及び植物 II のレッドリストの見直しについて」(環境省報道発表資料, 2007 年)
4)「愛知県の絶滅のおそれのある野生生物　レッドデータブックあいち 2009－植物編－」(愛知県環境部自然環境課, 2009 年)
5)「絶滅危惧植物図鑑　レッドデータプランツ」(山と渓谷社　矢原徹一永田芳男 2003)
6)「野外ハンドブック６　樹木 1」(山と渓谷社　冨成忠夫　1984 年)
7)「野外ハンドブック７　樹木 2」(山と渓谷社　冨成忠夫　昭和 55 年)
8)「検索入門　樹木１」(保育社　尼川大録・長田武正　昭和 63 年)
9)「検索入門　樹木２」(保育社　尼川大録・長田武正　昭和 63 年)
10)「検索入門　冬の樹木」(保育社　平野弘二　平成 1 年)　　他

Ⅱ. 植物相調査

1. 植生･植物相の概要

●植生の概要

長久手市は濃尾平野東縁に接する尾張東部丘陵にあり、そのうち調査地域は、町の南東部に連なる三ヶ峯丘陵に位置している。調査地域を概観すると、南東に高く北西に低い地形をなしており、標高は 90～150m 程度の範囲にある。東端には南北に延びる尾根があり、その西側の寺田池(一の池)のある谷底平野に沿って、堀越川が北西方向に貫流している。この堀越川と西部にある長鶴池の間の丘陵斜面を造成して、大学の建物等が配置されている。表層地質は矢田川累層とよばれる砂礫とシルト層を主とした地層からなるため、土地の生産力はきわめて低い。

かつて周辺の丘陵地は、過度の土地利用や地質的な要因により荒廃した禿げ山となっていたため、堰堤の設置やマツやヤシャブシ等の肥料木を植栽した治山事業が実施された。その結果、徐々に植生が回復し、大学の建設当時は空中写真や現存植生の状況から、周辺一帯はマツ林に覆われていったと考えられる。そのため、林内の生育種としてはツツジ類、ハギ類、あるいはススキ、リンドウ、オミナエシや、ワラビ、コシダ等の陽生植物が繁茂していたと考えられる。その後、特に利用されぬまま放置された結果、現在では植生遷移の進行やマツ枯れなどによって、東部の丘陵地の尾根沿いを中心にアカマツ林が僅かに残存する程度にまで衰退した。かわってコナラーアベマキ林がアカマツ林と置き換わるように、丘陵地の植生の大半を占めるほどに増加した。林内は立木本数が多く鬱蒼とし、特にヒサカキ、サカキ等の常緑樹の繁茂が著しい。また当地域の気候的な極相林の構成種であるシイ、カシ類は単木ではみられたが、群落を形成するには至っていない。

近年、カシノナガキクイムシによるナラ・カシ類が集団枯損を引き起こすナラ枯れが、北海道を除いて全国的に発生している。調査地域においても例外でなく、被害を受けたコナラが谷部を中心に確認されており、今後、森林生態系に大きな影響を及ぼすことが懸念される。

堀越川沿いの湿性地にはハンノキが点在しており、特に寺田池の堤体付近から下流の谷底平野では、各所で群落を形成していた。その他、スギ植林が東部の山麓にみられるものの、育林作業が行われないまま放置され、高木層にコナラ、ソヨゴ等が混在した林相となっていた。また北西部を中心にマダケ・モウソウチク林が分布し、西部の建物周辺や法面等にハリエンジュ植林がみられた。

草本植生は 2 箇所のため池周辺でまとまって分布していた。寺田池では、南部の浅い水域でヨシやヒメガマ等の抽水植物が群落を形成していた。長鶴池では、かつては水をたたえていたが、流入する水路が絶たれたため、徐々に水位が低下して、現在では堤体近くを除きほとんど干上がった状態となっていた。しかし大雨時には水位が上昇して、広い範囲が一時的に冠水することが確認された。地下水位が高く、堤体近くの湿性地には、ヨシ群

落やマツカサススキ群落等の低層湿原植生が発達し、その周辺にはオギ群落やメリケンカルカヤ群落がまとまって純群落を形成していた。

山麓の斜面には、湧水によって涵養されている小規模な湿地があり、モウセンゴケ、ミミカキグサ類、シラタマホシクサ、イヌノハナヒゲ類など貧栄養湿地を指標する低茎の植物群から構成される草地が特徴的であった。

●植物相の概要

春季、夏季、秋季において植物相調査を実施した。その結果、117 科 512 種の植物（2 科 3 種のコケ植物を含む）の生育が確認された。

丘陵の尾根から斜面上部にかけては、主にアカマツ、コナラ、ソヨゴ等が林冠層を形成するが、植生高 10m 以下の低い林分が多かった。土壌が薄く著しく乾燥するため、林内には乾性立地を指標するオキアガリネズ、ネジキ、ナツハゼ、シャシャンボのほか、モチツツジ、コバノミツバツツジ、ヤマウルシも多かった。林床にはネザサ、マンリョウ、ヤブコウジ、ミカワツツジ等がみられたが、コシダが密生していることも多い。一方、谷部から斜面中部にかけては、高木層にコナラが優占し、アベマキ、ヤマザクラ、ホオノキ、コシアブラ等が混生していた。亜高木層以下には、ソヨゴ、タカノツメ、リョウブ、サカキ、アズキナシ、低木層にはヒサカキ、ネジキ、ムラサキシキブ、ネズミモチ、コバノミツバツツジ、モチツツジ、ウメモドキ、サワフタギ等が生育していた。林床にはベニシダが優占することが多く、ヤブコウジ、マンリョウ、テイカカズラ、キヅタ、シシガシラ、ジガバチソウ、シュンラン、エンシュウムヨウラン等が生育していた。またギフチョウの幼虫の食草であるスズカカンアオイの群生地も広い範囲で確認された。

大学の敷地内には多くの植栽木があるため、林内にはイヌシデ、スダジイ、マテバシイ、ケヤキ、ユリノキ、クスノキ、トベラ、トウカエデ、ハナノキ等、逸出したと考えられる個体が散見された。また路傍や空地、草地等の日当たりが良い攪乱された環境下には、シロツメクサ、アレチヌスビトハギ、ブタナ、ヒメジョオン、ハナヌカススキ、シマスズメノヒエ等、外来種の占める割合が高かった。

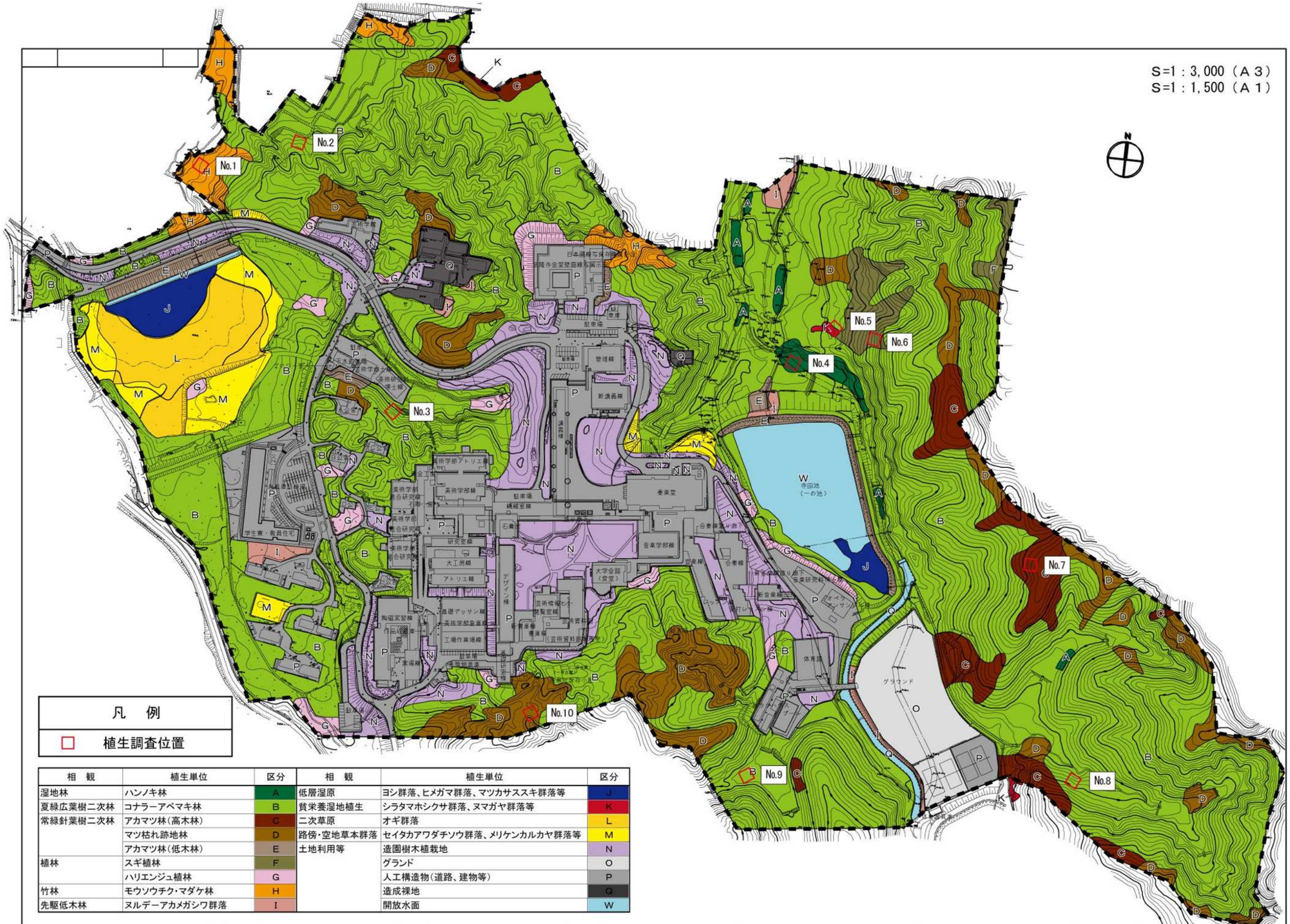
寺田池や長鶴池の周辺には湿性環境があり、寺田池の岸辺ではチゴザサ、ミズオトギリ、セリ、ヌマトラノオ等の湿生植物が生育し、池内にはイヌタヌキモ、イチョウウキゴケ、ホソバミズヒキモ、スイレン等の水草類がみられた。

調査地域の 3 箇所で確認された日当たりのよい湧水湿地では、モウセンゴケ、ミミカキグサ、ホザキノミミカキグサ、スイラン、サワシロギク、コバノトンボソウ、ハルリンドウ、ミカヅキグサ、コイヌノハナヒゲ、コシンジュガヤ、シラタマホシクサ、ハリミズゴケ、イボミズゴケ等、多様な種が生育していた。また周辺のやや乾いた場所では、ヌマガヤ、イシモチソウ、トウカイコモウセンゴケ、ウンヌケ等がみられた。ウンヌケは湧水湿地周辺以外にも、車道脇の法面草地や尾根の山道脇など、日当たりの良い草地に生えるイネ科の植物である。シラタマホシクサ、クロミノニシゴリ、トウカイコモウセンゴケとと

もに東海丘陵要素とよばれる植物群であり、調査地域の植物相を特徴づけている。

その他、南東部にあるグラウンド場は利用頻度が低く、周辺の特に踏圧の低い場所では、メリケンカルカヤやシバの草間に生える、小型草本のアイナエ、イトテンツキの群生地となっていた。

S=1：3,000（A3）
S=1：1,500（A1）



凡　例

□　植生調査位置

相　観	植生単位	区分	相　観	植生単位	区分
湿地林	ハンノキ林	A	低層湿原	ヨシ群落、ヒメガマ群落、マツカサススキ群落等	J
夏緑広葉樹二次林	コナラーアベマキ林	B	貧栄養湿地植生	シラタマホシクサ群落、ヌマガヤ群落等	K
常緑針葉樹二次林	アカマツ林（高木林）	C	二次草原	オギ群落	L
	マツ枯れ跡地林	D	路傍・空地草本群落	セイタカアワダチソウ群落、メリケンカルカヤ群落等	M
	アカマツ林（低木林）	E	土地利用等	造園樹木植栽地	N
植林	スギ植林	F		グランド	O
	ハリエンジュ植林	G		人工構造物（道路、建物等）	P
竹林	モウソウチク・マダケ林	H		造成裸地	Q
先駆低木林	ヌルデーアカメガシワ群落	I		開放水面	W

現存植生図，植生調査地点

凡例

株式會社オオバ 名古屋支店

平成２３年度　No.　／　の内

平成２３年度大学構内植生調査業務委託

平成２３年　月

愛知県公立大学法人
愛知県立芸術大学

主幹　課長補佐　主査　担当者

S=1：3,000（A３）
S=1：1,500（A１）

イシモチソウ（50 個体）
ヒメコヌカグサ（4 個体）
シマジタムラソウ（20 個体）
ウンヌケ（12 個体）
シマジタムラソウ（10 個体）
コミゾソバ（50 個体）
ウンヌケ（20 個体）
シマジタムラソウ（8 個体）
ウンヌケ（6 個体）
イボミズゴケ（1 ㎡）
ウンヌケ（1 個体）
ハリミズゴケ（2 ㎡）
サギソウ（20 個体）
イトテンツキ（200 個体）
ハリミズゴケ（4 ㎡）
シラタマホシクサ（300 個体）
ハリミズゴケ（0.1 ㎡）
ウンヌケ（3 個体）
ウンヌケ（3 個体）
シラタマホシクサ（200 個体）
イヌタヌキモ（群生）
イチョウウキゴケ（群生）
イトテンツキ（2000 個体）

凡　例
イチョウウキゴケ
ハリミズゴケ
イボミズゴケ
コミゾソバ
イシモチソウ
シマジタムラソウ
イヌタヌキモ
シラタマホシクサ
ヒメコヌカグサ
ウンヌケ
イトテンツキ
サギソウ

重要種位置図
（国、愛知県ﾚｯﾄﾞﾃﾞｰﾀﾌﾞｯｸ）

凡例

株式會社オオバ 名古屋支店

平成２３年度
No.　／　の内
平成２３年　月
愛知県公立大学法人
愛知県立芸術大学

平成２３年度大学構内植生調査業務委託

主幹	課長補佐	主査	担当者

S=1：3,000（Ａ３）
S=1：1,500（Ａ１）

ミヤマウズラ（1 個体）
ミヤマウズラ（2 個体）
モウセンゴケ（30 個体）
ミミカキグサ（3 個体）
ホザキノミミカキグサ（10 個体）
カキラン（2 個体）
カキラン（8 個体）
10 個体
ミヤマウズラ（5 個体）
約 200 個体
オオウラジロノキ（1 個体）
クロミノニシゴリ（1 個体）
ミヤマウズラ（8 個体）
ジガバチソウ（14 個体）
モウセンゴケ（100 個体）
クロミノニシゴリ（1 個体）
ミミカキグサ（50 個体）
ホザキノミミカキグサ（10 個体）
コバノトンボソウ（3 個体）
ジガバチソウ（3 個体）
マツカサススキ（群生）
約 20 個体
ギンラン（3 個体）
クロミノニシゴリ（1 個体）
マツカサススキ（2 個体）
15 個体
ジガバチソウ（1 個体）
約 20 個体
10 個体
3 個体
3 個体
コシンジュガヤ（3 個体）
クロミノニシゴリ（1 個体）
ショウジョウスゲ（5 個体）
約 30 個体
15 個体
5 個体
5 個体
ミヤマウズラ（8 個体）
ジガバチソウ（2 個体）
ジガバチソウ（4 個体）
約 50 個体
約 30 個体
約 500 個体
約 20 個体
約 20 個体
7 個体
約 20 個体
6 個体
約 200 個体
ミヤマウズラ（4 個体）
約 40 個体
約 40 個体
約 300 個体
ケタガネソウ（1m×1m 群生）
ケタガネソウ（20 個体）
約 200 個体
チゴユリ（100 個体）
モウセンゴケ（50 個体）
ミミカキグサ（1 個体）
ホザキノミミカキグサ（30 個体）
リンドウ（1 個体）
ミヤマウズラ（4 個体）
ジガバチソウ（3 個体）
7 個体
ジガバチソウ（1 個体）

凡　例
- スズカカンアオイ
- その他

重要種位置図
（名古屋市ﾚｯﾄﾞﾃﾞｰﾀﾌﾞｯｸ）
※国・愛知県ﾚｯﾄﾞﾃﾞｰﾀ種は除く

凡例

株式會社オオバ 名古屋支店

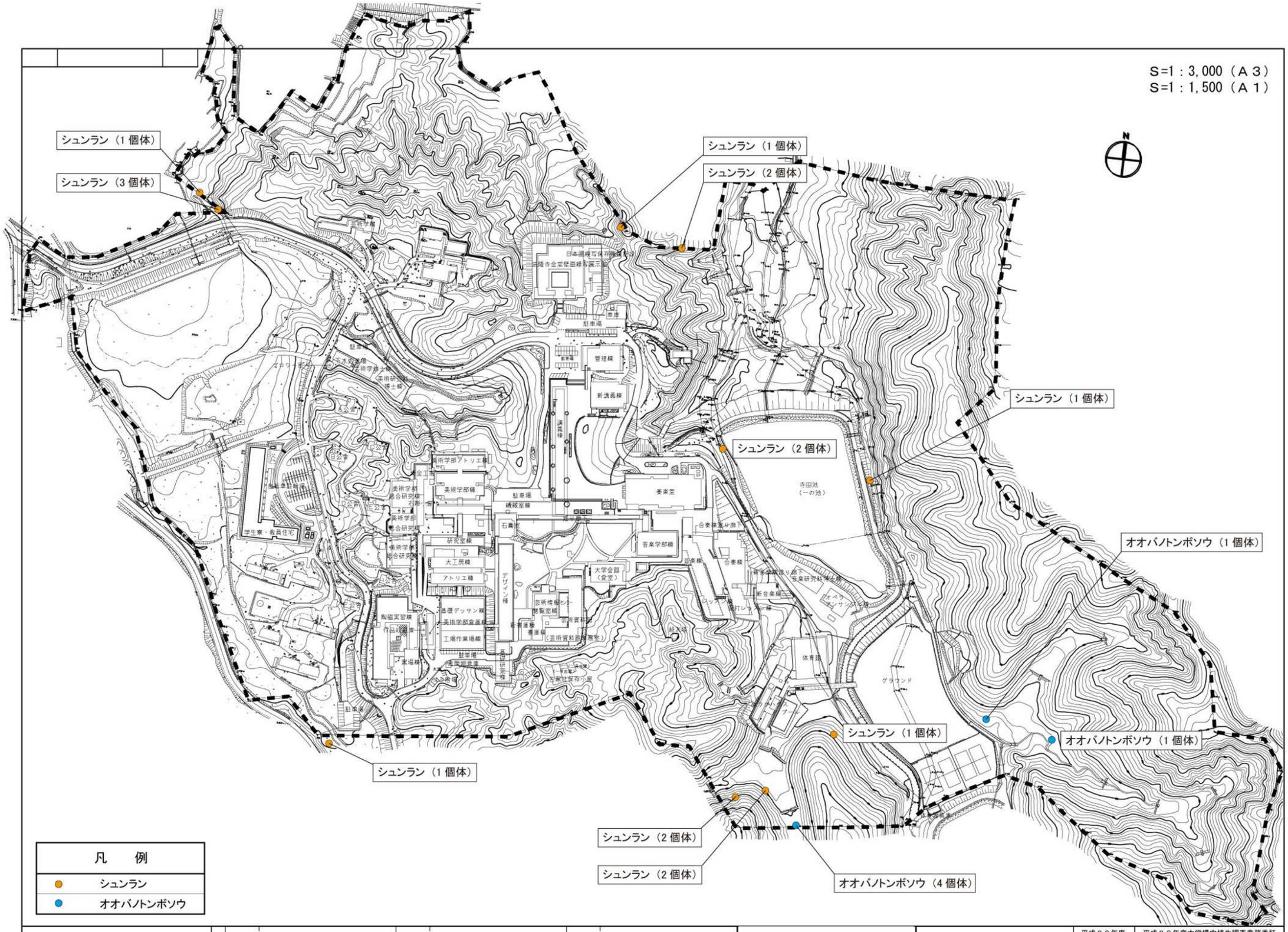
平成２３年度
No.　／　の内

平成２３年度大学構内植生調査業務委託

平成２３年　月
愛知県公立大学法人
愛知県立芸術大学

主幹 | 課長補佐 | 主査 | 担当者

S=1：3,000（A３）
S=1：1,500（A１）



その他の種　位置図

株式會社オオバ 名古屋支店

平成２３年度　平成２３年度大学構内植生調査業務委託

No.　／　の内

平成２３年　月　愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学

主幹　課長補佐　主査　担当者

重要種リスト（植物）

門 名	科 名	種 名	抽出根拠※				
			A	B	C	D	E
コケ植物	ウキゴケ	イチョウウキゴケ	―	―	NT	NT	―
	ミズゴケ	ハリミズゴケ	―	―	―	VU	―
		イボミズゴケ	―	―	―	NT	―
種子植物	タデ	コミゾソバ	―	―	―	NT	EX
	ウマノスズクサ	スズカカンアオイ	―	―	―	―	NT
	モウセンゴケ	イシモチソウ	―	―	NT	VU	EN
		モウセンゴケ	―	―	―	―	NT
	バラ	オオウラジロノキ	―	―	―	―	VU
	ハイノキ	クロミノニシゴリ	―	―	―	―	NT
	リンドウ	リンドウ	―	―	―	―	EN
	シソ	シマジタムラソウ	―	―	VU	NT	CR
	タヌキモ	ミミカキグサ	―	―	―	―	NT
		ホザキノミミカキグサ	―	―	―	―	NT
		イヌタヌキモ	―	―	NT	―	NT
	ユリ	チゴユリ	―	―	―	―	VU
	ホシクサ	シラタマホシクサ	―	―	VU	VU	VU
	イネ	ヒメコヌカグサ	―	―	NT	―	NT
		ウンヌケ	―	―	NT	NT	VU
	カヤツリグサ	イトテンツキ	―	―	VU	NT	―
		ショウジョウスゲ	―	―	―	―	NT
		ケタガネソウ	―	―	―	―	VU
		マツカサススキ	―	―	―	―	EN
		コシンジュガヤ	―	―	―	―	EX
	ラン	ギンラン	―	―	―	―	EX
		カキラン	―	―	―	―	VU
		ミヤマウズラ	―	―	―	―	VU
		サギソウ	―	―	NT	VU	VU
		ジガバチソウ	―	―	―	―	VU
		コバノトンボソウ	―	―	―	―	EN

※ 重要種の選定基準、及びそのカテゴリーは以下に示すとおりである。

A：天然記念物（国、県、市町村指定）

B：「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」（法律第76号，1992年）の国際・国内希少野生動植物種

C：「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物I及び植物IIのレッドリストの見直しについて」（環境省報道発表資料，2007年）
EX：絶滅（我が国ではすでに絶滅したと考えられる種）
EW：野生絶滅（飼育・栽培下でのみ存続している種）
CR：絶滅危惧ⅠA類（ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種）
EN：絶滅危惧ⅠB類（ⅠA類ほどではないが、近い将来における絶滅の危険性が高い種）
VU：絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）
NT：準絶滅危惧（現時点では絶滅危険度は小さいが、生息条件の変化によっては「絶滅危惧」に移行する可能性のある種）
DD：情報不足（評価するだけの情報が不足している種）

D：「愛知県の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックあいち2009－植物編－」（愛知県環境部自然環境課，2009年）
EX：絶滅（愛知県ではすでに絶滅したと考えられる種）
EW：野生絶滅（野生では絶滅し、飼育・栽培下でのみ存続している種）
CR：絶滅危惧ⅠA類（ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種）
EN：絶滅危惧ⅠB類（ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種）
VU：絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）
NT：準絶滅危惧（存続基盤が脆弱な種）

E：「名古屋市の絶滅のおそれのある野生生物 レッドデータブックなごや2010－2004年版補遺－」（名古屋市，2010年）
EX：絶滅（名古屋市ではすでに絶滅したと考えられる種）
EW：野生絶滅（野生では絶滅し、飼育・栽培下でのみ存続している種）
CR：絶滅危惧ⅠA類（ごく近い将来における絶滅の危険性が極めて高い種）
EN：絶滅危惧ⅠB類（ⅠA類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種）
VU：絶滅危惧Ⅱ類（絶滅の危険が増大している種）
NT：準絶滅危惧（存続基盤が脆弱な種）
※隣接する名古屋市の指定種（名古屋市のみ指定の種）を墨がけで表示した

重要種の解説、及び確認状況

科 名	種 名	解説	確認状況
ウキゴケ	イチョウウキゴケ	水田や池の水面に浮遊する一年草で、水湿地の泥土上にも群生する。葉状体はややふくらんでスポンジ状で緑色、長さ1～1.5cm、幅4～8mm、二叉状に分枝しイチョウの葉形に似た形となる。秋になると赤紫色を帯びる。 世界中に分布し、国内では全国に分布する。愛知県内では都市部を除いた県下全域に分布している。	寺田池の南部の浅い水域に広がるヨシ群落内において、浮遊個体が広範囲に群生。
ミズゴケ	ハリミズゴケ	湿地に生育するやや大形のミズゴケ属で、葉先が茎葉、枝葉共に細長く、先端も細長くとがるので、顕微鏡下で区別できる。枝の形も先端がより細く伸びるので、肉眼でも判別できる。 北半球に分布し、国内では北海道～九州に分布する。愛知県内では旧南設楽郡から北設楽郡にかけての山地に多いほか、名古屋周辺の湧水湿地にも出現する。	北東部の山麓の湧水湿地において、小群生。
	イボミズゴケ	湿地に生育する大形のミズゴケ属で、外観はオオミズゴケに似るが、枝葉の葉緑細胞と接する透明細胞の側壁面に、多くの細かい乳頭があるので、顕微鏡下で容易に区別できる。 北半球、ニュージーランドに分布し、国内では北海道～九州に分布する。愛知県内では既知の産地は三河より尾張に多い。	北東部の山麓の湧水湿地において、小群生。
タデ	コミゾソバ	丘陵地から山地のやや貧栄養の湿地の林縁や林内に生育する一年草。葉は長さ3～7cm、先端は突出して鈍端、基部は浅い心形、頂裂片は卵状五角形で基部ははっきりくびれ、側裂片は大きくほとんど円頭になる。花序は小さく、少数の花をつける。花期は8～9月。 本州（福島県～兵庫県）に分布する。愛知県内では、下山の一部と岡崎南部（池金町）の北山湿地には比較的多いが、他はどこも小群落である。2008年に新種として記載された。	北西部の水田跡地に成立したハンノキ、イソノキの優占する湿性低木林に、2m×5mの範囲に50個体が生育。
モウセンゴケ	イシモチソウ	酸性の湿地に生育する多年草。茎は高さ10～30cm。茎葉はまばらに互生し、三日月形で幅4～6mm、表面と縁に長い腺毛があり、基部は湾入して細い柄に直角に続く。総状花序に2～10個の白花をつける。花期は5～6月。 本州（関東以西）～九州・琉球（西表島）、朝鮮・中国・台湾に分布する。愛知県内での主要な生育地は尾張、西三河の丘陵地で、湿地やその周辺のやせ地に生育する。	北部の山際の素堀りの水路沿いのやや乾いた貧栄養の草地に、トウカイコモウセンゴケ、トダシバ、サワシロギクと共に1m×15mの範囲に50株が点在。
シソ	シマジタムラソウ	日当たりのよい蛇紋岩地の疎林や草地に生育する多年草。茎は高さ20～80cm。葉は対生し、1～2回羽状複葉で、頂小葉は大きい。花は淡青紫色で、茎の先に穂状に疎らにつく。雄蕊は曲がらず、花の外に突き出る。花期は7～8月。 本州（三重県南勢地方・愛知県・岐阜県東濃地方・静岡県西部）に分布する。愛知県内では、東三河の一部と豊田市から名古屋市にかけての丘陵地には多いが、他では少ない。尾張や西三河では、湧水湿地周辺の林内に生育することが多い。	北部、北西部、北東部の湿地林など3箇所において、計約40個体が生育。
タヌキモ	イヌタヌキモ	湖沼、ため池、水田やその側溝などに生育する浮遊性の多年草で、捕虫嚢をもつ食虫植物。茎は細く径0.3～2mm、葉は基部で2本の枝に分かれ、さらに細かく分裂して糸状。長さ10～30cmの花茎に、黄色の花を3～10個つける。花期は7～9月。殖芽は長楕円形で暗褐色、長さ4～10mm。 北海道～琉球、ヨーロッパ・アジア・アフリカ・オーストラリアに分布する。愛知県内では、尾張の丘陵地のため池に比較的多く見られる。	寺田池の南部の水際付近に広がるチゴザサ群落内において、2m×15mの範囲に群生。
ホシクサ	シラタマホシクサ	湿地に生育する無茎の1年草。葉は線形で長さ14～20cm、幅1～3mm。花茎は1～5個あり、20～40cm、4肋で少しねじれる。頭花は球形で径6～8mm、基部はややへこみ、全体に白色の短毛が密生して白い球に見える。花期は8～10月。 本州（静岡県西部、愛知県、岐阜県東濃地方、三重県北部）に分布する。愛知県内では、丘陵地の湧水湿地の日当たりのよい場所に生育している。	北東部、及び南東部の山麓の2箇所の湧水湿地において、500個体が群生。

重要種の解説、及び確認状況

科　名	種　名	解説	確認状況
イネ	ヒメコヌカグサ	半日陰の湿地に生育する多年草。根茎は短く、株状にならない。稈は高さ40～70cmになり、平滑。葉は柔らかく無毛、長さ7～15cm。円錐花序は長さ10～15cm、広卵形～披針形、まばらに小穂をつけ、枝はざらつく。小穂は長さ2.5～3mm、淡緑色、ときに少し赤紫色を帯びる。花期は6月。 本州（関東以西）～九州に分布する。全国的には減少傾向が著しい植物であるが、愛知県の丘陵地ではむしろ普通種で、絶滅が危惧される状態ではない。	北部の山麓の小さな溜まり周辺の湿地林において、4個体が点在。
	ウンヌケ	日当りのよい草地や半裸地に生育する多年草。稈は束生し、高さ80～120cm、基部はややふくれて鱗片状の鞘に包まれ、外面には黄褐色の短毛が密生する。葉は長さ15～40cm、幅5～8mm。花序は4～9個の総からなり、長さ10～15cm。小穂は有柄のものと無柄のものが対になって枝につき、長さ5mm、2個の小花からなる。花期は9～10月。 本州（静岡県西部、愛知県、岐阜県南部、三重県北部、兵庫県）・四国北部・九州北部に分布する。愛知県内では、丘陵地に広く分布している。	北部、及び南東部の湧水湿地周辺の乾いた草地や、東部の尾根上の幅1～2m程度の山道沿い、また車道沿いの法面の草地にあわせて6箇所で、計45個体が生育。
カヤツリグサ	イトテンツキ	日当たりの良い草地に生育する一年草。花茎は束生し、糸状で細く無毛、高さ10～20cm。葉は叢生し、茎より短く、糸状、幅0.3～0.5mm、先端は細く尖り、基部は鞘となる。花序は散房状、小穂は頭状に集まる。花期は8～10月。 本州（福島県以西）～九州・琉球（石垣島）、朝鮮・台湾・中国・インドシナ・インドに分布する。愛知県内では、点在するが、どの場所も小群落である。1年草であるため、個体数は年によってかなり変動する。生育地はいずれも経度の攪乱を受ける場所である	南東部のグラウンド周辺部のやや踏圧の低い場所において、アイナエとともに2000個体が群生。また中央部の車道脇の半裸地においても、200個体が生育。
ラン	サギソウ	低地の湿地に生育する多年草で、茎は高さ15～40cm。茎の下部に広線形の葉が3～5個互生する。花は茎の先端に1～3個つき、白色で直径約3cm、その姿は白鷺が舞うようで美しい。花期は7～8月。 本州～九州、朝鮮・台湾に分布する。愛知県内では、丘陵地の日当たりのよい貧栄養の湿地に生育する。	北東部の湧水湿地に成立したシラタマホシクサ群落内の湿った礫地において、20個体が生育。

植物写真 【重要種】

01 ｲﾁｮｳｳｷｺﾞｹ（個体）

01 ｲﾁｮｳｳｷｺﾞｹ（生育環境）

02 ﾊﾘﾐｽﾞｺﾞｹ（個体）

02 ﾊﾘﾐｽﾞｺﾞｹ（生育環境）

03 ｲﾎﾞﾐｽﾞｺﾞｹ（個体）

03 ｲﾎﾞﾐｽﾞｺﾞｹ（生育環境）

04 ｺﾐｿﾞｿﾊﾞ（個体）

04 ｺﾐｿﾞｿﾊﾞ（生育環境）

植物写真 【重要種】

05 イシモチソウ（個体）

05 イシモチソウ（生育環境）

06 シマジタムラソウ（個体）1

06 シマジタムラソウ（個体）2

06 シマジタムラソウ（生育環境）

07 イヌタヌキモ（個体）

07 イヌタヌキモ（生育環境）

08 シラタマホシクサ（個体）1

植物写真 【重要種】

08 シラタマホシクサ（個体）2

08 シラタマホシクサ（生育環境）1

08 シラタマホシクサ（生育環境）2

09 ヒメコヌカグサ（個体）

09 ヒメコヌカグサ（生育環境）

10 ウンヌケ（個体）1

10 ウンヌケ（個体）2

10 ウンヌケ（生育環境）1

植物写真 【重要種】

10 ウンヌケ（生育環境）2

10 ウンヌケ（生育環境）3

11 イトテンツキ（個体）1

11 イトテンツキ（個体）2

11 イトテンツキ（生育環境）1

11 イトテンツキ（生育環境）2

12 サギソウ（個体）

12 サギソウ（生育環境）

植物　確認種リスト

分類群	科　名	種　名※1		生育環境区分※2						調査時期			備考※3
		和　名	学　名	樹林	林縁	草地、裸地	湧水湿地	低層湿原	水域	春季	夏季	秋季	
コケ植物門	ウキゴケ	イチョウウキゴケ	*Ricciocarpus natans*						○	●	●	●	
	ミズゴケ	ハリミズゴケ	*Sphagnum cuspidatum*				○			●	●	●	
		イボミズゴケ	*Sphagnum papillosum*				○			●	●	●	
シダ植物門	ヒカゲノカズラ	ミズスギ	*Lycopodium cernuum*				○			●	●	●	
		ヒカゲノカズラ	*Lycopodium clavatum*			○				●		●	
		トウゲシバ	*Lycopodium serratum*	○						●	●	●	
	トクサ	スギナ	*Equisetum arvense*		○	○				●	●		
	ハナヤスリ	フユノハナワラビ	*Botrychium ternatum*		○					●	●	●	
	ゼンマイ	ゼンマイ	*Osmunda japonica*	○				○		●	●	●	
	キジノオシダ	オオキジノオ	*Plagiogyria euphlebia*	○							●	●	
		キジノオシダ	*Plagiogyria japonica*	○						●	●	●	
	ウラジロ	コシダ	*Dicranopteris linearis*	○	○					●	●	●	
		ウラジロ	*Gleichenia japonica*	○						●	●	●	
	フサシダ	カニクサ	*Lygodium japonicum*		○	○					●	●	
	コバノイシカグマ	コバノイシカグマ	*Dennstaedtia scabra*	○	○						●	●	
		イワヒメワラビ	*Hypolepis punctata*		○						●	●	
		フモトシダ	*Microlepia marginata*	○						●	●		
		ワラビ	*Pteridium aquilinum* var. *latiusculum*		○	○				●	●	●	
	ホングウシダ	ホラシノブ	*Sphenomeris chinensis*		○							●	
	シノブ	シノブ	*Davallia mariesii*	○						●	●	●	
	ミズワラビ	イワガネゼンマイ	*Coniogramme intermedia*	○							●	●	
		ウラゲイワガネ	*Coniogramme intermedia* f. *villosa*	○							●		
	イノモトソウ	イノモトソウ	*Pteris multifida*		○					●	●	●	
	チャセンシダ	トラノオシダ	*Asplenium incisum*	○							●		
		コバノヒノキシダ	*Asplenium sarelii*	○						●	●	●	
	シシガシラ	シシガシラ	*Struthiopteris niponica*	○							●	●	
	オシダ	オオカナワラビ	*Arachniodes amabilis*	○							●	●	
		オニカナワラビ	*Arachniodes simplicior* var. *major*	○						●			
		リョウメンシダ	*Arachniodes standishii*	○						●		●	
		オニヤブソテツ	*Cyrtomium falcatum*	○							●	●	
		ヤブソテツ	*Cyrtomium fortunei*	○								●	
		ヤマヤブソテツ	*Cyrtomium fortunei* var. *clivicola*	○							●	●	
		テリハヤブソテツ	*Cyrtomium laetevirens*	○							●	●	
		サイゴクベニシダ	*Dryopteris championii*	○						●	●	●	
		ミサキカグマ	*Dryopteris chinensis*	○							●	●	
		ベニシダ	*Dryopteris erythrosora*	○						●	●	●	
		トウゴクシダ	*Dryopteris erythrosora* var. *dilatata*	○						●	●	●	
		マルバベニシダ	*Dryopteris fuscipes*	○							●		
		オオベニシダ	*Dryopteris hondoensis*	○						●	●	●	
		ギフベニシダ	*Dryopteris kinkiensis*	○						●	●	●	
		キノクニベニシダ	*Dryopteris kinokuniensis*	○							●		
		オクマワラビ	*Dryopteris uniformis*	○						●	●	●	
		ヒメイタチシダ	*Dryopteris varia* var. *sacrosancta*	○						●			
		ヤマイタチシダ	*Dryopteris varia* var. *setosa*	○						●	●	●	
		アイアスカイノデ	*Polystichum longifrons*	○						●	●	●	
		イノデ	*Polystichum polyblepharum*	○						●	●	●	
		サイゴクイノデ	*Polystichum pseudo-makinoi*	○								●	
		ジュウモンジシダ	*Polystichum tripteron*	○						●		●	
	ヒメシダ	ハシゴシダ	*Thelypteris glanduligera*	○							●	●	
		コハシゴシダ	*Thelypteris glanduligera* var. *elatior*	○								●	
		ハリガネワラビ	*Thelypteris japonica*	○							●	●	
		アオハリガネワラビ	*Thelypteris japonica* var. *formosa* f. *viridescens*	○							●		
		ヤワラシダ	*Thelypteris laxa*	○							●	●	
		ヒメワラビ	*Thelypteris torresiana* var. *calvata*		○						●	●	
		ミドリヒメワラビ	*Thelypteris viridifrons*		○						●	●	
	メシダ	ホソバイヌワラビ	*Athyrium iseanum*	○							●	●	
		イヌワラビ	*Athyrium niponicum*		○					●	●		
		ヒロハイヌワラビ	*Athyrium wardii*	○							●		
		シケシダ	*Deparia japonica*		○						●	●	
	ウラボシ	ノキシノブ	*Lepisorus thunbergianus*	○						●	●	●	
種子植物門 裸子植物亜門	マツ	モミ	*Abies firma*	○								●	
		アイグロマツ	*Pinus* x *densi-thunbergii*		○					●	●		
		アカマツ	*Pinus densiflora*	○	○					●	●	●	
		クロマツ	*Pinus thunbergii*		○						●		植栽
	スギ	スギ	*Cryptomeria japonica*	○						●	●	●	植栽
	ヒノキ	ヒノキ	*Chamaecyparis obtusa*	○							●		植栽
		オキアガリネズ	*Juniperus* x *pseudorigida*	○	○					●	●	●	
被子植物亜門 双子葉植物綱 離弁花亜綱	ヤナギ	バッコヤナギ	*Salix bakko*		○						●		
		アカメヤナギ	*Salix chaenomeloides*					○		●	●		
		タチヤナギ	*Salix subfragilis*					○		●			
	カバノキ	ハンノキ	*Alnus japonica*					○		●	●	●	
		ヒメヤシャブシ	*Alnus pendula*		○						●		逸出
		オオバヤシャブシ	*Alnus sieboldiana*	○	○					●	●	●	逸出
		イヌシデ	*Carpinus tschonoskii*		○					●	●		逸出
	ブナ	クリ	*Castanea crenata*	○							●	●	
		ツブラジイ	*Castanopsis cuspidata*	○						●	●		
		スダジイ	*Castanopsis cuspidata* var. *sieboldii*	○						●	●	●	逸出
		マテバシイ	*Lithocarpus edulis*	○						●	●	●	逸出
		アラカシ	*Quercus glauca*	○						●	●	●	
		シラカシ	*Quercus myrsinaefolia*	○						●	●	●	
		ウバメガシ	*Quercus phillyraeoides*	○							●		
		コナラ	*Quercus serrata*	○						●	●	●	
		アベマキ	*Quercus variabilis*	○						●	●	●	
	ニレ	ムクノキ	*Aphananthe aspera*		○						●	●	
		エノキ	*Celtis sinensis* var. *japonica*		○						●	●	
		ケヤキ	*Zelkova serrata*		○					●			逸出
	クワ	ヒメコウゾ	*Broussonetia kazinoki*		○					●	●	●	
		クワクサ	*Fatoua villosa*			○						●	
		イヌビワ	*Ficus erecta*	○							●	●	
	イラクサ	ヤブマオ	*Boehmeria japonica* var. *longispica*		○							●	
		カラムシ	*Boehmeria nipononivea*		○						●	●	
		アオミズ	*Pilea pumila*		○						●	●	
	ビャクダン	カナビキソウ	*Thesium chinense*			○				●	●	●	

植物　確認種リスト

分類群	科　名	種　名※1		生育環境区分※2						調査時期			備考※3
		和　名	学　名	樹林	林縁	草地、裸地	湧水湿地	低層湿原	水域	春季	夏季	秋季	
	タデ	ミズヒキ	*Antenoron filiforme*	○	○						●	●	
		ヤナギタデ	*Persicaria hydropiper*					○				●	
		イヌタデ	*Persicaria longiseta*			○					●	●	
		コミゾソバ	*Persicaria mikawana*					○				●	
		ヤノネグサ	*Persicaria nipponensis*					○			●	●	
		イシミカワ	*Persicaria perfoliata*		○						●		
		ボントクタデ	*Persicaria pubescens*					○				●	
		イタドリ	*Reynoutria japonica*		○	○				●	●	●	
		スイバ	*Rumex acetosa*			○				●	●		
		ヒメスイバ	*Rumex acetosella*			○					●		外来
		アレチギシギシ	*Rumex conglomeratus*			○					●		外来
		エゾノギシギシ	*Rumex obtusifolius*			○					●	●	外来
	ヤマゴボウ	ヨウシュヤマゴボウ	*Phytolacca americana*		○							●	外来
	ザクロソウ	ザクロソウ	*Mollugo pentaphylla*			○						●	
	スベリヒユ	スベリヒユ	*Portulaca oleracea*			○						●	
	ナデシコ	ノミノツヅリ	*Arenaria serpyllifolia*			○				●			
		オランダミミナグサ	*Cerastium glomeratum*			○				●			外来
		ツメクサ	*Sagina japonica*			○					●		
		ウシハコベ	*Stellaria aquatica*			○					●	●	
		コハコベ	*Stellaria media*			○				●			外来
		ミドリハコベ	*Stellaria neglecta*			○				●			
	ヒユ	ヒカゲイノコズチ	*Achyranthes bidentata* var. *japonica*	○	○						●	●	
		ヒナタイノコズチ	*Achyranthes bidentata* var. *tomentosa*		○	○						●	
	モクレン	ユリノキ	*Liriodendron tulipifera*			○				●	●	●	逸出
		コブシ	*Magnolia praecocissima*		○						●	●	逸出
	クスノキ	クスノキ	*Cinnamomum camphora*	○	○					●	●	●	逸出
		ヤマコウバシ	*Lindera glauca*	○						●	●	●	
		タブノキ	*Machilus thunbergii*	○							●	●	
	キンポウゲ	ケキツネノボタン	*Ranunculus cantoniensis*					○			●		
	メギ	ヒイラギナンテン	*Mahonia japonica*	○						●	●	●	逸出
		ナンテン	*Nandina domestica*	○						●	●	●	逸出
	アケビ	ゴヨウアケビ	*Akebia* x *pentaphylla*		○					●			
		アケビ	*Akebia quinata*		○					●	●	●	
		ミツバアケビ	*Akebia trifoliata*		○					●	●	●	
		ムベ	*Stauntonia hexaphylla*	○	○					●			
	ツヅラフジ	アオツヅラフジ	*Cocculus orbiculatus*		○					●	●	●	
	スイレン	スイレン	*Nymphaea* sp.						○			●	逸出
	ドクダミ	ドクダミ	*Houttuynia cordata*			○		○		●	●	●	
	センリョウ	センリョウ	*Sarcandra glabra*	○						●	●	●	
	ウマノスズクサ	スズカカンアオイ	*Heterotropa kooyana* var. *brachypodion*	○						●	●	●	
	ツバキ	サカキ	*Cleyera japonica*	○						●	●	●	
		ヒサカキ	*Eurya japonica*	○						●	●	●	
		モッコク	*Ternstroemia gymnanthera*	○							●	●	
		チャノキ	*Thea sinensis*	○							●		逸出
	オトギリソウ	オトギリソウ	*Hypericum erectum*			○						●	
		ミズオトギリ	*Triadenum japonicum*					○				●	
	モウセンゴケ	イシモチソウ	*Drosera peltata* var. *nipponica*				○				●		
		モウセンゴケ	*Drosera rotundifolia*				○			●	●	●	
		トウカイコモウセンゴケ	*Drosera tokaiensis*				○			●	●	●	
	ケシ	ムラサキケマン	*Corydalis incisa*		○	○				●			
	アブラナ	タネツケバナ	*Cardamine flexuosa*			○		○		●			
		ミチタネツケバナ	*Cardamine hirsuta*			○				●			外来
		ショカツサイ	*Orychophragmus violaceus*		○					●			外来
		イヌガラシ	*Rorippa indica*			○					●		
	ベンケイソウ	コモチマンネングサ	*Sedum bulbiferum*			○				●	●		
	ユキノシタ	ウツギ	*Deutzia crenata*	○	○						●		
	トベラ	トベラ	*Pittosporum tobira*	○							●		逸出
	バラ	ザイフリボク	*Amelanchier asiatica*	○							●		
		ヘビイチゴ	*Duchesnea chrysantha*			○				●	●	●	
		ヤブヘビイチゴ	*Duchesnea indica*		○	○				●	●	●	
		ビワ	*Eriobotrya japonica*	○						●			逸出
		ズミ	*Malus toringo*		○					●	●		
		オオウラジロノキ	*Malus tschonoskii*	○							●	●	
		カナメモチ	*Photinia glabra*	○						●	●	●	
		オヘビイチゴ	*Potentilla sundaica* var. *robusta*			○				●	●	●	
		ケカマツカ	*Pourthiaea villosa* var. *zollingeri*	○						●	●	●	
		ヤマザクラ	*Prunus jamasakura*	○						●	●	●	
		オオシマザクラ	*Prunus lannesiana* var. *speciosa*	○						●			逸出
		リンボク	*Prunus spinulosa*	○						●			
		カスミザクラ	*Prunus verecunda*	○						●	●	●	
		シャリンバイ	*Rhaphiolepis umbellata*	○						●	●		逸出
		ノイバラ	*Rosa multiflora*		○					●	●	●	
		ミヤコイバラ	*Rosa paniculigera*		○					●	●	●	
		テリハノイバラ	*Rosa wichuraiana*		○					●			
		フユイチゴ	*Rubus buergeri*	○						●			
		ニガイチゴ	*Rubus microphyllus*		○					●			
		ナワシロイチゴ	*Rubus parvifolius*		○					●	●	●	
		アズキナシ	*Sorbus alnifolia*	○						●	●	●	
		ウラジロノキ	*Sorbus japonica*	○							●		
	マメ	ネムノキ	*Albizia julibrissin*	○	○						●		
		イタチハギ	*Amorpha fruticosa*		○					●			外来
		ヤブマメ	*Amphicarpaea bracteata* var. *japonica*			○					●	●	
		アレチケツメイ	*Chamaecrista nictitans*			○						●	
		アレチヌスビトハギ	*Desmodium paniculatum*			○					●	●	外来
		ヌスビトハギ	*Desmodium podocarpum* ssp. *oxyphyllum*	○	○						●	●	
		ツルマメ	*Glycine max* ssp. *soja*			○						●	
		マルバヤハズソウ	*Kummerowia stipulacea*			○						●	
		ヤハズソウ	*Kummerowia striata*			○					●	●	
		メドハギ	*Lespedeza cuneata*			○						●	
		ツクシハギ	*Lespedeza homoloba*		○							●	
		ネコハギ	*Lespedeza pilosa*		○					●	●		
		クズ	*Pueraria lobata*		○						●	●	
		ハリエンジュ	*Robinia pseudo-acacia*		○					●	●	●	外来

植物　確認種リスト

分類群	科　名	種　名※1		生育環境区分※2						調査時期			備考※3
		和　名	学　名	樹林	林縁	草地、裸地	湧水湿地	低層湿原	水域	春季	夏季	秋季	
		コメツブツメクサ	*Trifolium dubium*			○				●			外来
		シロツメクサ	*Trifolium repens*			○				●	●	●	外来
		ヤハズエンドウ	*Vicia angustifolia*			○				●			
		スズメノエンドウ	*Vicia hirsuta*			○				●			
		フジ	*Wisteria floribunda*	○	○						●		
	カタバミ	カタバミ	*Oxalis corniculata*			○				●	●	●	
		アカカタバミ	*Oxalis corniculata* f. *rubrifolia*			○						●	
		ムラサキカタバミ	*Oxalis corymbosa*			○					●		外来
		オッタチカタバミ	*Oxalis stricta*			○				●	●	●	外来
	フウロソウ	アメリカフウロ	*Geranium carolinianum*			○				●			外来
	アマ	キバナノマツバニンジン	*Linum medium* var. *medium*			○					●	●	外来
	トウダイグサ	エノキグサ	*Acalypha australis*			○						●	
		コニシキソウ	*Chamaesyce maculata*			○					●	●	外来
		オオニシキソウ	*Chamaesyce nutans*			○					●	●	外来
		アカメガシワ	*Mallotus japonicus*	○	○					●	●	●	
		ヒメミカンソウ	*Phyllanthus matsumurae*			○						●	
		コミカンソウ	*Phyllanthus urinaria*			○						●	
		ナンキンハゼ	*Sapium sebiferum*		○						●	●	外来
	ユズリハ	ヒメユズリハ	*Daphniphyllum teijsmannii*	○							●		
	ミカン	サンショウ	*Zanthoxylum piperitum*	○						●	●		
		イヌザンショウ	*Zanthoxylum schinifolium*		○						●	●	
	ニガキ	シンジュ	*Ailanthus altissima*		○						●	●	外来
	センダン	センダン	*Melia azedarach*		○							●	逸出
	ヒメハギ	ヒメハギ	*Polygala japonica*		○	○				●	●	●	
	ウルシ	ヌルデ	*Rhus javanica* var. *roxburghii*		○						●	●	
		ハゼノキ	*Rhus succedanea*		○						●	●	逸出
		ヤマハゼ	*Rhus sylvestris*		○						●	●	
		ヤマウルシ	*Rhus trichocarpa*	○	○					●	●	●	
	カエデ	トウカエデ	*Acer buergerianum*	○								●	逸出
		ウリカエデ	*Acer crataegifolium*	○						●	●	●	
		ハナノキ	*Acer pycnanthum*	○	○						●		逸出
		ウリハダカエデ	*Acer rufinerve*	○							●	●	
	モチノキ	イヌツゲ	*Ilex crenata*	○	○					●	●	●	
		アオハダ	*Ilex macropoda*	○						●	●	●	
		ソヨゴ	*Ilex pedunculosa*	○						●	●	●	
		クロガネモチ	*Ilex rotunda*	○						●	●	●	
		ウメモドキ	*Ilex serrata*	○	○						●	●	
	ニシキギ	ツルウメモドキ	*Celastrus orbiculatus*		○					●	●	●	
		ニシキギ	*Euonymus alatus*	○								●	
		コマユミ	*Euonymus alatus* f. *ciliato-dentatus*	○						●	●	●	
		マユミ	*Euonymus sieboldianus*	○						●	●		
	ミツバウツギ	ゴンズイ	*Euscaphis japonica*		○					●	●	●	
	クロウメモドキ	クマヤナギ	*Berchemia racemosa*		○					●		●	
		イソノキ	*Frangula crenata*		○					●	●	●	
	ブドウ	ノブドウ	*Ampelopsis glandulosa* var. *heterophylla*		○						●		
		ヤブガラシ	*Cayratia japonica*		○	○					●	●	
		ツタ	*Parthenocissus tricuspidata*	○	○					●	●	●	
		アマヅル	*Vitis saccharifera*		○					●	●	●	
	シナノキ	カラスノゴマ	*Corchoropsis tomentosa*		○							●	
	グミ	ツルグミ	*Elaeagnus glabra*	○						●	●		
	スミレ	コスミレ	*Viola japonica*			○					●		
		マキノスミレ	*Viola makinoi*	○		○				●			
		スミレ	*Viola mandshurica*			○				●			
		ヒメスミレ	*Viola minor*			○				●			
		ニオイタチツボスミレ	*Viola obtusa*	○	○					●			
		フモトスミレ	*Viola pumilio*	○						●	●		
		ツボスミレ	*Viola verecunda*	○				○		●			
	ウリ	アマチャヅル	*Gynostemma pentaphyllum*	○	○					●	●	●	
		スズメウリ	*Melothria japonica*		○						●	●	
		アレチウリ	*Sicyos angulatus*		○						●	●	特定外来
	アカバナ	メマツヨイグサ	*Oenothera biennis*			○					●		外来
	アリノトウグサ	アリノトウグサ	*Haloragis micrantha*			○	○				●	●	
		オオフサモ	*Myriophyllum aquaticum*						○	●	●		特定外来
	ミズキ	アオキ	*Aucuba japonica*	○						●	●	●	
	ウコギ	コシアブラ	*Acanthopanax sciadophylloides*	○						●	●	●	
		タラノキ	*Aralia elata*		○					●	●	●	
		カクレミノ	*Dendropanax trifidus*	○						●	●	●	
		タカノツメ	*Evodiopanax innovans*	○						●	●	●	
		ヤツデ	*Fatsia japonica*	○							●		
		キヅタ	*Hedera rhombea*	○						●	●	●	
		ハリギリ	*Kalopanax pictus*	○							●	●	
	セリ	ツボクサ	*Centella asiatica*			○					●	●	
		ミツバ	*Cryptotaenia japonica*	○	○						●		
		オオチドメ	*Hydrocotyle ramiflora*			○					●		
		セリ	*Oenanthe javanica*					○		●	●	●	
		ヤブジラミ	*Torilis japonica*		○	○					●		
		オヤブジラミ	*Torilis scabra*		○	○					●		
被子植物亜門 双子葉植物綱 合弁花亜綱	リョウブ	リョウブ	*Clethra barvinervis*	○	○					●	●	●	
	ツツジ	ネジキ	*Lyonia ovalifolia* var. *elliptica*	○	○					●	●	●	
		モチツツジ	*Rhododendron macrosepalum*	○	○					●	●	●	
		ミカワツツジ	*Rhododendron obtusum* var. *mikawanum*	○	○					●	●		
		コバノミツバツツジ	*Rhododendron reticulatum*	○	○					●	●	●	
		シャシャンボ	*Vaccinium bracteatum*	○	○					●	●	●	
		ウスノキ	*Vaccinium hirtum*	○						●	●	●	
		ナツハゼ	*Vaccinium oldhamii*	○						●	●	●	
		スノキ	*Vaccinium smallii* var. *versicolor*	○							●	●	
	ヤブコウジ	マンリョウ	*Ardisia crenata*	○						●	●	●	
		ヤブコウジ	*Ardisia japonica*	○						●	●	●	
	サクラソウ	ギンレイカ	*Lysimachia acroadenia*		○						●		
		オカトラノオ	*Lysimachia clethroides*			○						●	
		ヌマトラノオ	*Lysimachia fortunei*					○			●	●	
		コナスビ	*Lysimachia japonica* f. *subsessilis*		○	○				●	●	●	
	カキノキ	カキノキ	*Diospyros kaki*	○							●		逸出

植物　確認種リスト

分類群	科　名	種　名※1		生育環境区分※2						調査時期			備考※3
		和　名	学　名	樹林	林縁	草地、裸地	湧水湿地	低層湿原	水域	春季	夏季	秋季	
	エゴノキ	エゴノキ	*Styrax japonica*	○	○					●	●	●	
	ハイノキ	サワフタギ	*Symplocos chinensis* var. *leucocarpa* f. *pilosa*	○						●	●	●	
		クロミノニシゴリ	*Symplocos paniculata*		○						●	●	
		クロバイ	*Symplocos prunifolia*	○						●	●		
	モクセイ	マルバアオダモ	*Fraxinus sieboldiana*	○						●	●	●	
		ネズミモチ	*Ligustrum japonicum*	○						●	●	●	
		トウネズミモチ	*Ligustrum lucidum*	○						●		●	外来
		イボタノキ	*Ligustrum obtusifolium*	○	○					●	●	●	
		ヒイラギ	*Osmanthus heterophyllus*	○						●	●	●	
	マチン	アイナエ	*Mitrasacme pygmaea*			○						●	
	リンドウ	ハナハマセンブリ	*Centaurium tenuiflorum*			○					●		外来
		リンドウ	*Gentiana scabra* var. *buergeri*	○							●	●	
		ハルリンドウ	*Gentiana thunbergii*				○			●		●	
	キョウチクトウ	テイカカズラ	*Trachelospermum asiaticum* var. *intermedium*	○						●	●	●	
	アカネ	オオフタバムグラ	*Diodia teres*			○						●	外来
		ヒメヨツバムグラ	*Galium gracilens*			○					●	●	
		ヤエムグラ	*Galium spurium* var. *echinospermon*			○				●			
		クチナシ	*Gardenia jasminoides*	○							●	●	
		ヘクソカズラ	*Paederia scandens*		○	○					●	●	
	ヒルガオ	コヒルガオ	*Calystegia hederacea*			○					●		
	ムラサキ	ハナイバナ	*Bothriospermum tenellum*			○				●		●	
		キュウリグサ	*Trigonotis peduncularis*			○				●			
	クマツヅラ	ムラサキシキブ	*Callicarpa japonica*	○						●	●	●	
		クサギ	*Clerodendrum trichotomum*		○						●	●	
	シソ	キランソウ	*Ajuga decumbens*		○	○				●	●		
		トウバナ	*Clinopodium gracile*			○				●	●	●	
		ホトケノザ	*Lamium amplexicaule*			○				●			
		ヒメオドリコソウ	*Lamium purpureum*			○				●			外来
		ヒメジソ	*Mosla dianthera*		○	○						●	
		イヌコウジュ	*Mosla punctulata*		○	○						●	
		シソ	*Perilla frutescens* var. *crispa* f. *viridis*			○					●		逸出
		シマジタムラソウ	*Salvia isensis*	○						●	●	●	
	ナス	アメリカイヌホオズキ	*Solanum americanum*			○						●	外来
		ヒヨドリジョウゴ	*Solanum lyratum*		○					●	●	●	
	ゴマノハグサ	キクモ	*Limnophila sessiliflora*					○				●	
		マツバウンラン	*Linaria canadensis*			○				●			外来
		ウリクサ	*Lindernia crustacea*			○						●	
		ムラサキサギゴケ	*Mazus miquelii*			○				●			
		トキワハゼ	*Mazus pumilus*			○				●			
		タチイヌノフグリ	*Veronica arvensis*			○				●			外来
		ムシクサ	*Veronica peregrina*			○				●			
		オオイヌノフグリ	*Veronica persica*			○				●	●		外来
	キツネノマゴ	キツネノマゴ	*Justicia procumbens*			○					●	●	
	タヌキモ	ミミカキグサ	*Utricularia bifida*				○					●	
		ホザキノミミカキグサ	*Utricularia caerulea*				○					●	
		イヌタヌキモ	*Utricularia tenuicaulis*						○			●	
	オオバコ	オオバコ	*Plantago asiatica*			○				●	●		
		ツボミオオバコ	*Plantago virginica*			○				●	●		外来
	スイカズラ	スイカズラ	*Lonicera japonica*	○	○					●	●	●	
		ガマズミ	*Viburnum dilatatum*	○						●	●	●	
		コバノガマズミ	*Viburnum erosum* var. *punctatum*	○						●	●	●	
		ゴマギ	*Viburnum sieboldii*	○								●	
		ミヤマガマズミ	*Viburnum wrightii*	○						●	●	●	
	キキョウ	ツリガネニンジン	*Adenophora triphylla* var. *japonica*		○	○					●		
		ミゾカクシ	*Lobelia chinensis*					○		●			
		キキョウソウ	*Triodanis perfoliata*			○					●		外来
		ヒナギキョウ	*Wahlenbergia marginata*			○				●	●		
	キク	ブタクサ	*Ambrosia artemisiaefolia* var. *elatior*			○					●		外来
		ヨモギ	*Artemisia princeps*			○				●	●	●	
		ノコンギク	*Aster ageratoides* ssp. *ovatus*		○	○						●	
		キダチコンギク	*Aster pilosus*			○					●	●	外来
		サワシロギク	*Aster rugulosus*				○				●	●	
		ヒロハホウキギク	*Aster subulatus*			○						●	外来
		アメリカセンダングサ	*Bidens frondosa*			○		○			●	●	外来
		コセンダングサ	*Bidens pilosa*			○						●	外来
		ノアザミ	*Cirsium japonicum*			○					●		
		スズカアザミ	*Cirsium suzukaense*		○							●	
		ヒメムカシヨモギ	*Conyza canadensis*			○					●	●	外来
		オオアレチノギク	*Conyza sumatrensis*			○					●		外来
		オオキンケイギク	*Coreopsis lanceolata*			○						●	特定外来
		ベニバナボロギク	*Crassocephalum crepidioides*			○						●	外来
		ハルジオン	*Erigeron philadelphicus*			○				●			外来
		ヒヨドリバナ	*Eupatorium chinense* var. *oppositifolium*		○	○					●	●	
		サワヒヨドリ	*Eupatorium lindleyanum*					○				●	
		ハハコグサ	*Gnaphalium affine*			○				●	●	●	
		タチチチコグサ	*Gnaphalium calviceps*			○				●	●		外来
		チチコグサ	*Gnaphalium japonicum*			○				●	●	●	
		チチコグサモドキ	*Gnaphalium pensylvanicum*			○				●	●	●	外来
		ウスベニチチコグサ	*Gnaphalium purpureum*			○				●			外来
		ウラジロチチコグサ	*Gnaphalium spicatum*			○					●		外来
		スイラン	*Hololeion krameri*				○					●	
		ブタナ	*Hypochoeris radicata*			○				●	●	●	外来
		オオジシバリ	*Ixeris debilis*			○					●	●	
		ニガナ	*Ixeris dentata*			○				●	●		
		ノニガナ	*Ixeris polycephala*			○				●			
		ホソバアキノノゲシ	*Lactuca indica* f. *indivisa*			○					●		
		ヤブタビラコ	*Lapsana humilis*			○				●			
		コウヤボウキ	*Pertya scandens*	○							●	●	
		フキ	*Petasites japonicus*		○					●	●	●	
		コウゾリナ	*Picris hieracioides* var. *glabrescens*			○				●	●		
		ノボロギク	*Senecio vulgaris*			○				●			外来
		セイタカアワダチソウ	*Solidago altissima*			○				●	●	●	外来
		アキノキリンソウ	*Solidago virgaurea* var. *asiatica*		○							●	

植物　確認種リスト

分類群	科　名	種　名※1		生育環境区分※2						調査時期			備考※3
		和　名	学　名	樹林	林縁	草地、裸地	湧水湿地	低層湿原	水域	春季	夏季	秋季	
		オニノゲシ	*Sonchus asper*			○				●			外来
		ノゲシ	*Sonchus oleraceus*			○				●	●	●	
		ヒメジョオン	*Stenactis annuus*			○					●	●	外来
		トウカイタンポポ	*Taraxacum longeappendiculatum*			○				●			
		セイヨウタンポポ	*Taraxacum officinale*			○				●			外来
		オニタビラコ	*Youngia japonica*			○				●	●	●	
被子植物亜門	ヒルムシロ	ホソバミズヒキモ	*Potamogeton octandrus*						○		●	●	
単子葉植物綱	ユリ	ノギラン	*Aletris luteo-viridis*		○		○			●	●	●	
		ノビル	*Allium grayi*			○				●			
		チゴユリ	*Disporum smilacinum*	○							●	●	
		ショウジョウバカマ	*Heloniopsis orientalis*	○						●			
		ミズギボウシ	*Hosta longissima* var. *brevifolia*	○			○			●	●	●	
		タカサゴユリ	*Lilium formosanum*			○						●	外来
		ヒメヤブラン	*Liriope minor*			○				●			
		ヤブラン	*Liriope muscari*	○								●	
		ジャノヒゲ	*Ophiopogon japonicus*	○		○				●	●	●	
		ナガバジャノヒゲ	*Ophiopogon ohwii*	○						●	●	●	
		オモト	*Rohdea japonica*	○						●			
		サルマメ	*Smilax biflora* var. *trinervula*		○					●	●	●	
		サルトリイバラ	*Smilax china*	○	○						●	●	
		タチシオデ	*Smilax nipponica*	○							●	●	
	ヤマノイモ	タチドコロ	*Dioscorea gracillima*	○							●	●	
		ヤマノイモ	*Dioscorea japonica*		○						●		
		オニドコロ	*Dioscorea tokoro*		○						●	●	
	アヤメ	ニワゼキショウ	*Sisyrinchium atlanticum*			○					●		外来
		オオニワゼキショウ	*Sisyrinchium sp.*			○					●		外来
	イグサ	イ	*Juncus effusus* var. *decipiens*					○			●		
		クサイ	*Juncus tenuis*		○						●	●	
		スズメノヤリ	*Luzula capitata*			○				●	●		
	ツユクサ	ツユクサ	*Commelina communis*			○				●	●		
	ホシクサ	シラタマホシクサ	*Eriocaulon nudicuspe*				○				●	●	
	イネ	アオカモジグサ	*Agropyron racemiferum*			○				●			
		カモジグサ	*Agropyron tsukushiense* var. *transiens*			○					●		
		ヤマヌカボ	*Agrostis clavata*		○	○					●		
		ヌカボ	*Agrostis clavata* ssp. *matsumurae*		○	○					●		
		ヒメコヌカグサ	*Agrostis nipponensis*				○				●		
		ハナヌカススキ	*Aira elegans*			○				●	●		外来
		メリケンカルカヤ	*Andropogon virginicus*		○	○					●	●	外来
		トダシバ	*Arundinella hirta* var. *ciliata*		○							●	
		ヒメコバンソウ	*Briza minor*			○				●	●		外来
		ノガリヤス	*Calamagrostis arundinacea* var. *brachytricha*		○							●	
		ヤマアワ	*Calamagrostis epigeios*			○					●	●	
		カモガヤ	*Dactylis glomerata*			○					●		外来
		メヒシバ	*Digitaria ciliaris*			○					●	●	
		コメヒシバ	*Digitaria radicosa*			○					●		
		アキメヒシバ	*Digitaria violascens*			○						●	
		オヒシバ	*Eleusine indica*			○						●	
		シナダレスズメガヤ	*Eragrostis curvula*			○					●	●	外来
		カゼクサ	*Eragrostis ferruginea*			○						●	
		ニワホコリ	*Eragrostis multicaulis*			○						●	
		ウンヌケ	*Eulalia speciosa*			○				●		●	
		オニウシノケグサ	*Festuca arundinacea*			○					●		外来
		トボシガラ	*Festuca parvigluma*	○		○				●	●		
		チガヤ	*Imperata cylindrica* var. *koenigii*			○					●		
		チゴザサ	*Isachne globosa*					○			●	●	
		タイワンカモノハシ	*Ischaemum aristatum*				○				●		
		ホソムギ	*Lolium perenne*			○					●		外来
		ササクサ	*Lophatherum gracile*	○	○							●	
		ヒメアシボソ	*Microstegium vimineum*		○							●	
		アシボソ	*Microstegium vimineum* var. *polystachyum*		○							●	
		オギ	*Miscanthus sacchariflorus*			○					●	●	
		ススキ	*Miscanthus sinensis*		○	○					●	●	
		ヌマガヤ	*Moliniopsis japonica*				○				●	●	
		ケチヂミザサ	*Oplismenus undulatifolius*		○							●	
		コチヂミザサ	*Oplismenus undulatifolius* var. *japonicus*	○							●	●	
		ヌカキビ	*Panicum bisulcatum*			○						●	
		オオクサキビ	*Panicum dichotomiflorum*			○						●	外来
		シマスズメノヒエ	*Paspalum dilatatum*			○					●	●	外来
		スズメノヒエ	*Paspalum thunbergii*			○						●	
		タチスズメノヒエ	*Paspalum urvillei*			○						●	外来
		ヨシ	*Phragmites australis*					○				●	
		マダケ	*Phyllostachys bambusoides*	○							●	●	植栽
		ハチク	*Phyllostachys nigra* var. *henonis*	○							●		植栽
		モウソウチク	*Phyllostachys pubescens*	○							●		植栽
		ネザサ	*Pleioblastus chino* var. *viridis*	○	○					●	●	●	
		コンゴウダケ	*Pleioblastus kongosanensis*	○	○						●	●	
		シブヤザサ	*Pleioblastus shibuyanus*	○	○						●		
		ケネザサ	*Pleioblastus shibuyanus* f. *pubescens*	○	○							●	
		ミゾイチゴツナギ	*Poa acroleuca*		○					●			
		スズメノカタビラ	*Poa annua*			○				●			
		オオイチゴツナギ	*Poa nipponica*			○				●			
		アキノエノコログサ	*Setaria faberi*			○					●	●	
		コツブキンエノコロ	*Setaria pallide-fusca*			○						●	
		キンエノコロ	*Setaria pumila*			○						●	
		エノコログサ	*Setaria viridis*			○					●	●	
		ムラサキエノコロ	*Setaria viridis* f. *misera*			○					●	●	
		ネズミノオ	*Sporobolus fertilis*			○						●	
		カニツリグサ	*Trisetum bifidum*		○	○					●		
	ヤシ	シュロ	*Trachycarpus fortunei*	○						●	●	●	逸出
	ガマ	ヒメガマ	*Typha angustifolia*					○				●	
	カヤツリグサ	イトテンツキ	*Bulbostylis densa* var. *capitata*			○						●	
		エナシヒゴクサ	*Carex aphanolepis*		○	○					●		
		ショウジョウスゲ	*Carex blepharicarpa*				○			●			

植物　確認種リスト

分類群	科　名	種　名※1		生育環境区分※2						調査時期			備考※3
		和　名	学　名	樹林	林縁	草地、裸地	湧水湿地	低層湿原	水域	春季	夏季	秋季	
		アオスゲ	*Carex breviculmis*		○	○				●	●		
		メアオスゲ	*Carex candolleana*		○	○				●	●		
		ケタガネソウ	*Carex ciliato-marginata*	○						●	●	●	
		アゼナルコ	*Carex dimorpholepis*					○			●		
		マスクサ	*Carex gibba*		○						●		
		ヒカゲスゲ	*Carex lanceolata*	○	○					●	●		
		ナキリスゲ	*Carex lenta*	○	○					●		●	
		タチスゲ	*Carex maculata*					○			●		
		ノゲヌカスゲ	*Carex mitrata* var. *aristata*		○					●			
		ミコシガヤ	*Carex neurocarpa*					○			●		
		ヤチカワズスゲ	*Carex omiana*				○			●			
		マメスゲ	*Carex pudica*		○		○			●			
		クサスゲ	*Carex rugata*	○	○						●		
		コイトスゲ	*Carex sachalinensis* var. *iwakiana*	○							●		
		アゼスゲ	*Carex thunbergii*					○			●		
		モエギスゲ	*Carex tristachya*		○					●	●		
		ヒメモエギスゲ	*Carex tristachya* var. *pocilliformis*		○						●		
		コチャガヤツリ	*Cyperus amuricus* var. *japonica*			○						●	
		アイダクグ	*Cyperus brevifolius*			○						●	
		ヒメクグ	*Cyperus brevifolius* var. *leiolepis*			○						●	
		メリケンガヤツリ	*Cyperus eragrostis*					○				●	外来
		コゴメガヤツリ	*Cyperus iria*			○						●	
		カヤツリグサ	*Cyperus microiria*			○						●	
		シカクイ	*Eleocharis wichurae*				○					●	
		テンツキ	*Fimbristylis dichotoma*			○						●	
		ミカヅキグサ	*Rhynchospora alba*				○					●	
		イトイヌノハナヒゲ	*Rhynchospora faberi*				○					●	
		コイヌノハナヒゲ	*Rhynchospora fujiiana*				○				●	●	
		サカゲコイヌノハナヒゲ	*Rhynchospora fujiiana* f. *retrorsoscabra*				○					●	
		ホタルイ	*Scirpus juncoides*					○				●	
		マツカサススキ	*Scirpus mitsukurianus*					○				●	
		カンガレイ	*Scirpus triangulatus*					○				●	
		サンカクイ	*Scirpus triqueter*					○			●		
		アブラガヤ	*Scirpus wichurae*					○				●	
		コシンジュガヤ	*Scleria parvula*				○					●	
		ケシンジュガヤ	*Scleria rugosa*				○					●	
	ラン	ギンラン	*Cephalanthera erecta*		○					●			
		シュンラン	*Cymbidium goeringii*	○						●		●	
		カキラン	*Epipactis thunbergii*				○				●	●	
		ミヤマウズラ	*Goodyera schlechtendaliana*	○						●	●	●	
		サギソウ	*Habenaria radiata*				○					●	
		エンシュウムヨウラン	*Lecanorchis japonica* var. *suginoana*	○							●		
		ジガバチソウ	*Liparis krameri*	○							●	●	
		コクラン	*Liparis nervosa*	○						●	●	●	
		オオバノトンボソウ	*Platanthera minor*	○							●	●	
		コバノトンボソウ	*Platanthera tipuloides* var. *nipponica*				○				●		
		ネジバナ	*Spiranthes sinensis* var. *amoena*			○					●		
合　計　117科　512種（コケ植物　2科3種を含む）				186種	147種	189種	31種	33種	5種	241種	349種	336種	98種

※1　種名とその配列は、原則として以下に示す文献に準拠した。
・「植物目録1987」（環境庁自然保護局，1988年）

※2　調査地域において確認された主な生育環境とした。

※3　備考欄の略語は以下のとおり。
外来：外来種（以下の文献で外来種として扱われているものと定義した）
・「日本の帰化植物」（清水建美，2003年）
・「外来種ハンドブック」（日本生態学会編，2002年）
特定外来：特定外来生物
植栽：林業目的等により植栽された種
逸出：かつて栽培されたものが野外に逃げ出して生育している種や、調査地はその種の本来の分布域ではないと判断される種

植物写真 【植生区分】

01 ハンノキ林

02 コナラーアベマキ林

03 アカマツ林（高木林）

植物写真 【植生区分】

04 マツ枯れ跡地林

05 アカマツ林（低木林）

06 スギ植林

植物写真 【植生区分】

07 ﾊﾘｴﾝｼﾞｭ植林

08 ﾏﾀﾞｹ林

09 ﾇﾙﾃﾞｰｱｶﾒｶﾞｼﾜ群落

植物写真 【植生区分】

10 ヨシ群落

11 ヒメガマ群落

12 シラタマホシクサ群落

植物写真 【植生区分】

13 ヌマガヤ群落

14オギ群落

15 セイタカアワダチソウ群落

植物写真【植生区分】

16 メリケンカルカヤ群落

植物写真 【立地タイプ別】①樹林

01 ﾄｳｺﾞｸｼﾀﾞ

02 ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ

03 ｺﾅﾗ

04 ｽｽﾞｶｶﾝｱｵｲ

05 ｵｵｳﾗｼﾞﾛﾉｷ

06 ｶﾅﾒﾓﾁ

07 ﾔﾏｻﾞｸﾗ

08 ｳﾘｶｴﾃﾞ

植物写真 【立地タイプ別】①樹林

09 ソヨゴ

10 マキノスミレ

11 フモトスミレ

12 タカノツメ

13 ネジキ

14 ミカワツツジ

15 コバノミツバツツジ

16 シャシャンボ

植物写真 【立地タイプ別】①樹林

17 ｴｺﾞﾉｷ

18 ｸﾛﾊﾞｲ

19 ﾏﾙﾊﾞｱｵﾀﾞﾓ

20 ﾐﾔﾏｶﾞﾏｽﾞﾐ

21 ｼｭﾝﾗﾝ

22 ｴﾝｼｭｳﾑﾖｳﾗﾝ

23 ｼﾞｶﾞﾊﾞﾁｿｳ

24 ｺｸﾗﾝ

植物写真 【立地タイプ別】②林縁

01 オオバヤシャブシ

02 アケビ

03 ミツバアケビ

04 ムラサキケマン

05 ショカツサイ

06 ヤブヘビイチゴ

07 ナワシロイチゴ

08 ネムノキ

植物写真 【立地タイプ別】②林縁

09 ｱｶﾒｶﾞｼﾜ

10 ｳﾒﾓﾄﾞｷ

11 ｲｿﾉｷ

12 ﾆｵｲﾀﾁﾂﾎﾞｽﾐﾚ

13 ﾔﾌﾞｼﾞﾗﾐ

14 ｸﾛﾐﾉﾆｼｺﾞﾘ

15 ﾌｷ

植物写真 【立地タイプ別】③湧水湿地

01 ミズ゛スギ゛

02 イシモチソウ（重要種）

03 モウセンゴ゛ケ

04 トウカイコモウセンゴ゛ケ

05 ハルリンド゛ウ

06 ミミカキグ゛サ

07 ホサ゛キノミミカキグ゛サ

08 サワシロキ゛ク

植物写真 【立地タイプ別】③湧水湿地

09 ミズキボウシ

10 シラタマホシクサ（重要種）

11 タイワンカモノハシ

12 ヌマガヤ

13 ショウジョウスゲ

14 マメスゲ

15 カキラン

植物写真 【立地タイプ別】④低層湿地

01 ｾﾞﾝﾏｲ

02 ﾀﾁﾔﾅｷﾞ

03 ﾐｽﾞｵﾄｷﾞﾘ

04 ｾﾘ

05 ﾐｺｼｶﾞﾔ

06 ﾏﾂｶｻｽｽｷ

07 ｶﾝｶﾞﾚｲ

植物写真 【立地タイプ別】⑤草地、裸地

01 カナビキソウ

02 アレチケツメイ

03 ヒメハギ

04 スミレ

05 アイナエ

06 ハナハマセンブリ

07 コヒルガオ

08 キランソウ

植物写真 【立地タイプ別】⑤草地、裸地

09 ﾑｼｸｻ

10 ﾉｺﾝｷﾞｸ

11 ﾉｱｻﾞﾐ

12 ﾊﾙｼﾞｵﾝ

13 ﾋﾖﾄﾞﾘﾊﾞﾅ

14 ｳｽﾍﾞﾆﾁﾁｺﾞｻ

15 ﾉﾎﾞﾛｷﾞｸ

16 ﾋﾒｼﾞｮｵﾝ

植物写真 【立地タイプ別】⑤草地、裸地

17 ﾄｳｶｲﾀﾝﾎﾟﾎﾟ

18 ﾔﾏｱﾜ

19 ｲﾄﾃﾝﾂｷ（重要種）

20 ｴﾅｼﾋｺﾞｸｻ

21 ﾈｼﾞﾊﾞﾅ

植物写真 【立地タイプ別】⑥水面

01 ｲﾁｮｳｳｷｺﾞｹ（重要種）

02 ﾎｿﾊﾞﾐｽﾞﾋｷﾓ

Ⅲ.植生調査（コドラート調査）

1.群落組成の概要

●植生調査地点№1（マダケ林）

山麓の緩斜面に成立した植生高 16m ほどの竹林である。アカマツの古い株跡があることから、かつてはアカマツ林もしくは、コナラとの混交林であったものが、マツ枯れの影響によって、コナラ林へと林相が変化したものと考えられる。さらに周辺に元々あったマダケ林が管理放棄され、分布面積を拡大して侵入してきたと考えられる。こうして現在では高木層にコナラが残存し、亜高木層にはマダケが単一で優占する林分構造となっていた。下層にはオキアガリネズ、ネジキ、シャシャンボ等の乾燥立地を指標する種がみられるが、陽光不足のために樹勢が低下しているものが多く、枯死木もみられた。かわって低木層にはヒサカキが優占種となり、サカキの侵入もみられた。

●植生調査地点№2（コナラ－アベマキ林）

山麓の緩斜面に成立した植生高 18m ほどの落葉広葉樹林であり、高木層にはアベマキが優占種となっていた。植生調査地点よりも下方は、棚田状の地形をとどめており、かつて水田として利用されていた場所である。

高木層にはアベマキのほか、コナラが僅かに混生し、亜高木層にはソヨゴが優占し、タカノツメ、シャシャンボ、ネジキ等が混生していた。低木層の植被率は 30%と低く、ヒサカキ、ソヨゴ、ネジキ、タカノツメが生育するが、ネジキ、オキアガリネズの枯死木が目立つ。草本層の植被率も 20%と低く、上層木のタカノツメの稚樹やヤブコウジが多いほか、ツツジ類も点在していた。

●植生調査地点№3（コナラ－アベマキ林）

丘陵の斜面に成立した植生高 13m ほどの落葉広葉樹林であり、高木層にはコナラが単一で優占種となるが、植被率は 60%と低かった。亜高木層はソヨゴが優占し、シャシャンボ、アオハダ等が生育していた。低木層はヒサカキが被度 5 で優占し、立木本数は非常に多く密生するため、林内は暗かった。草本層の植被率は 20%と低く、ベニシダが優占するほか、ネザサ、ヒサカキ、タカノツメ等が生育していた。

●植生調査地点№4（ハンノキ林）

堀越川沿いの谷底に成立した植生高 17m ほどの落葉広葉樹林である。ハンノキ林はヤブツバキクラス域からブナクラス域の地下水位が高く、停滞水が地表を被うような過湿立地に成立する湿地林である。調査地点には恒常的な水路はみられないが、沢に隣接しているため、出水により冠水しやすく、地下水位が高い立地にある。高木層はハンノキが優占種となっているが、コナラが混生し、林内構成種はイソノキ、ウメモドキ等、わずかに湿地林の要素種が含まれている程度であった。草本層には全面にネザサが繁茂していた。同様な立地条件にある植生調査地点№8 のコナラーアベマキ林とは、種組成が近似しており、ムラサキシキブ、コチヂミザサ、ミツバアケビ、ツタ、ヘクソカズラ、ジャノヒゲ、キヅタ等が共通して見られた。窪地には湿地生のタチスゲが僅かに生育していた。

●植生調査地点№5（貧栄養湿地植生と周辺のコナラーアベマキ林）

山麓の緩斜面に地下水の湧出により涵養された貧栄養湿地植生である。湿地内部には、砂や礫が露出した裸地から小さな島状となった低木林まで多様であり、周辺のコナラ林との境界では、ヌマガヤ群落やコシダの群生がみられた。

湿地付近は日当たりが良好であり、多くの湿地性植物が生育していた。季節感があり、早春にはハルリンドウ、夏にはモウセンゴケ、トウカイコモウセンゴケ、秋にはミミカキグサ、シラタマホシクサが美しい花を咲かせていた。

●植生調査地点№6（スギ植林）

山麓の緩斜面に植栽された植生高13mほどのスギ植林である。植栽後に放置されたため、高木層から亜高木層にかけては、コナラ、ソヨゴ、シャシャンボが侵入して混交林となっていた。低木層にはヒサカキが優占し、草本層には斜面下方ではコシダが密生し、上方ではヤマウルシ、ミカワツツジ、タカノツメ等が疎らに生育していた。土地の生産力が低いため、高木層にあるスギでも樹高 9～12m ほどしかなく、生長は良くなかった。一般にスギは凹状地や谷部などの土壌の深い湿性立地に植栽されるが、調査地点の地形や下層の種組成から判断すれば、造林樹種としてはアカマツ、あるいはヒノキの適地であると判断される。

●植生調査地点№7（アカマツ高木林）

斜面上部に成立した植生高 9m ほどのアカマツ林であり、高木層にはコナラ、ソヨゴが混生していた。アカマツは優占種となっているが、樹勢が衰えている個体や立ち枯れ木が点在していた。高木層、亜高木層の植被率は 30～40%と低いため、林内は 1 年を通じて

明るく、土壌は薄く、著しく乾燥しており、一部では礫が露出している。林内には、シャシャンボ、ナツハゼ、ヤマウルシ、ヒサカキ、モチツツジ、ケカマツカ、オキアガリネズ等が生育していた。草本層には、上層木のソヨゴやヤマウルシの稚樹のほか、ワラビ、ススキ、コバノミツバツツジ、ネジキ等が生育していた。

●植生調査地点№8（コナラ－アベマキ林）

細長い谷筋の斜面下部に成立した植生高 13m ほどの落葉広葉樹林であり、高木層から亜高木層にかけてソヨゴ、リョウブが混生していた。低木層にはヒサカキが優占するが、植被率 35%と低く、ネジキ、コバノガマズミ等が混生していた。草本層にはコバノミツバツツジが優占するが、陽光不足のため、地表にマット状に広がる生育形態となっていた。その他、ヤマウルシ、スズカカンアオイ、ベニシダ、シシガシラ等が生育していた。

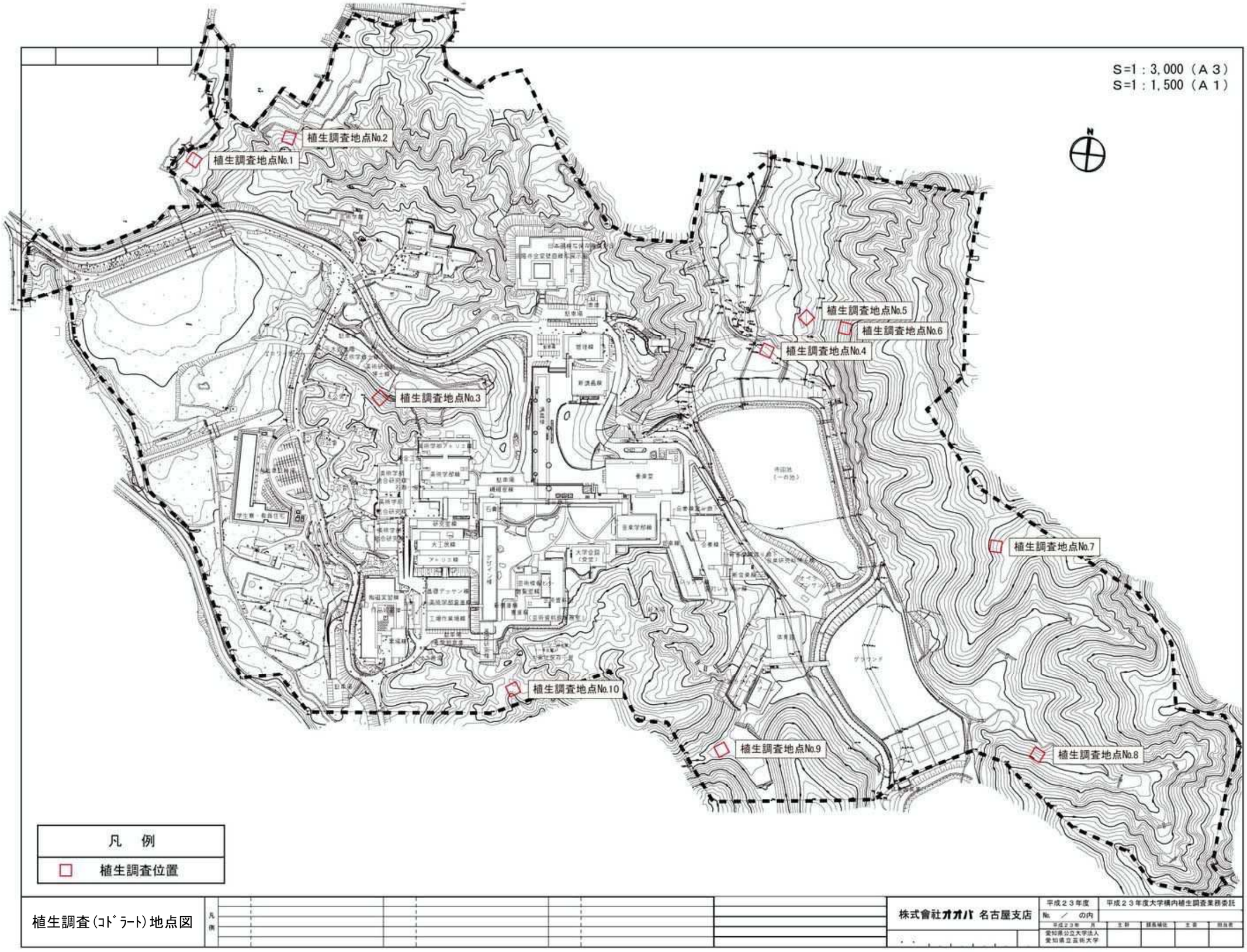
●植生調査地点№9（コナラ－アベマキ林）

谷底の平坦地に成立した植生高 22m ほどの落葉広葉樹林である。植生高は最も高く、コナラが単一で優占種となっていた。ナラ枯れの影響により、樹冠が小さく、葉の密度が低いため、植被率は 50%と低かった。また枯死木がみられるため、林冠に大きなギャップを生じていた。低木層にはムラサキシキブ、ネズミモチ、アズキナシ、ヒサカキ、タカノツメが生育するが、植被率は 30%と低く、亜高木層を欠いた 3 層構造であるため、林内は明るい状況であった。草本層にはベニシダが優占し、コチヂミザサ、コンゴウダケ、ジャノヒゲ、コウヤボウキ等が生育するが、林冠ギャップのため、イタドリ、ツユクサ、トウバナ、ヒカゲイノコズチ等の林縁や路傍性の種が著しく繁茂していた。出現種数は 41 種で、植生調査地点№2 のハンノキ林についで多かった。

●植生調査地点№10（松枯れ跡地林）

頂部緩斜面に成立した植生高 10m ほどの常緑広葉樹林である。かつてはアカマツ林であったと考えられるが、マツ枯れにより、林冠のアカマツが欠落し、亜高木層の優占種であったソヨゴが、林冠を形成していた。そのため、林内は 1 年を通じて暗い状況であった。ツブラジイが亜高木層にあること、タブノキ、シラカシ、アラカシ、モッコク、カナメモチ、カクレミノ、マンリョウ等が草本層に出現していることから、常緑広葉樹林化が進行しつつある林分であると考えられる。

S=1：3,000（A３）
S=1：1,500（A１）



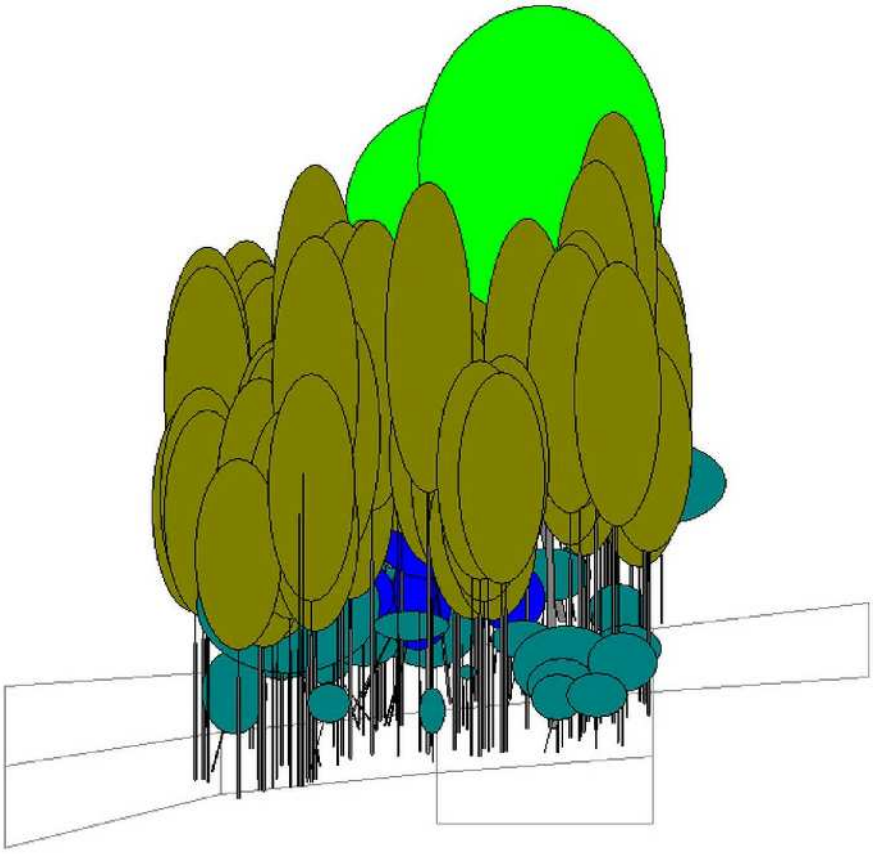
凡　例
□　植生調査位置

植生調査（ｺﾄﾞﾗｰﾄ）地点図	凡例				株式會社オオバ 名古屋支店	平成２３年度 No.　／　の内 平成２３年　月 愛知県公立大学法人 愛知県立芸術大学

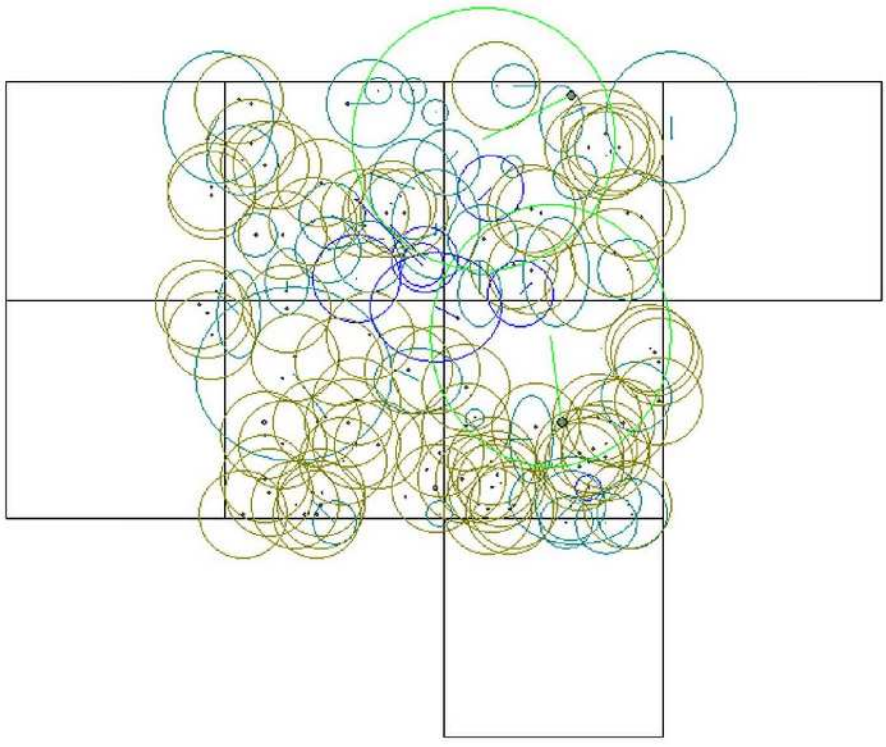
3.植生イメージ図

調査地点 NO.1　マダケ林

【群落階層模式図】

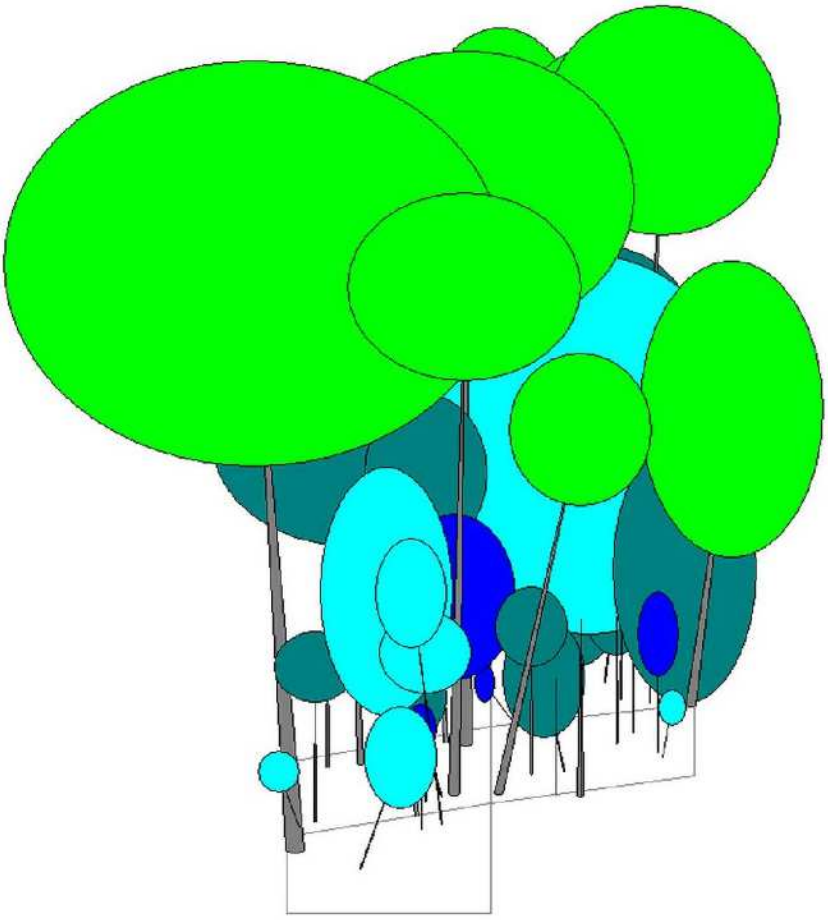


【樹冠投影図】

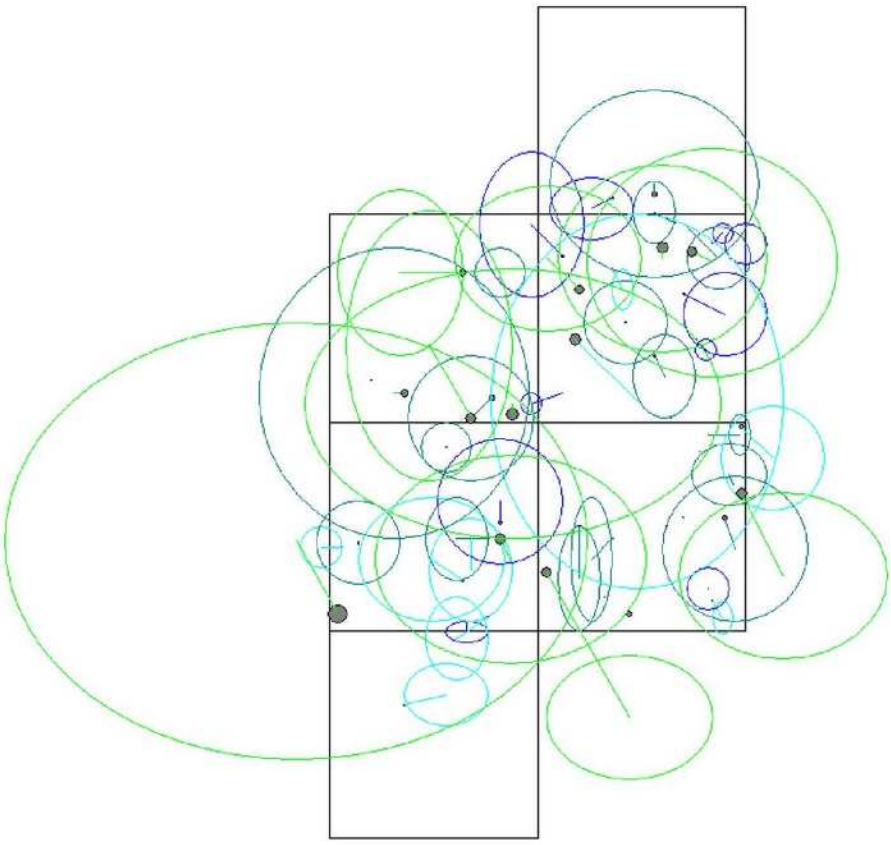


調査地点 NO.2　コナラ-アベマキ林（アベマキ優占林）

【群落階層模式図】

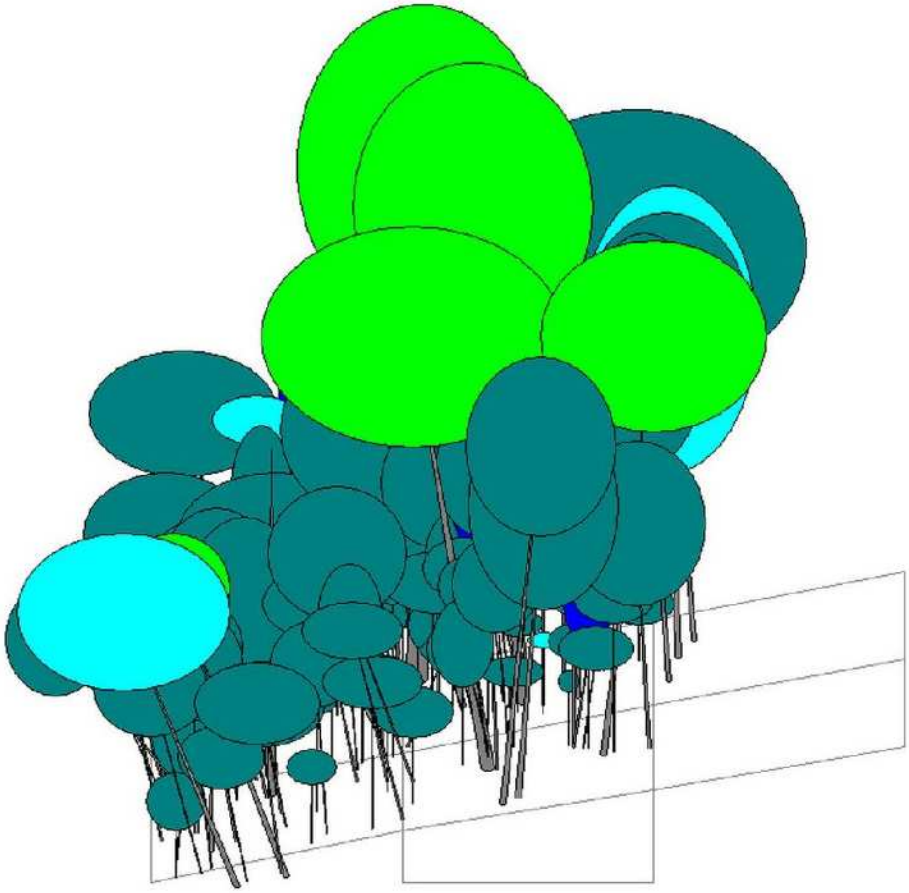


【樹冠投影図】

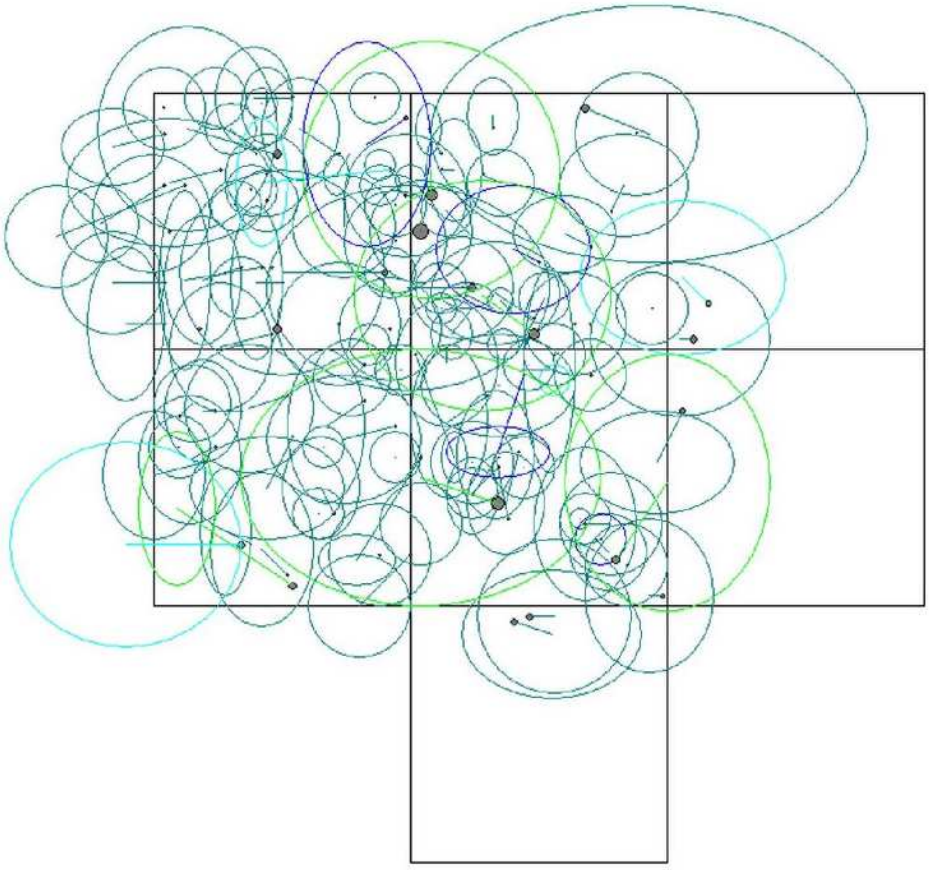


調査地点 NO.3　コナラ-アベマキ林（コナラ優占林）

【群落階層模式図】

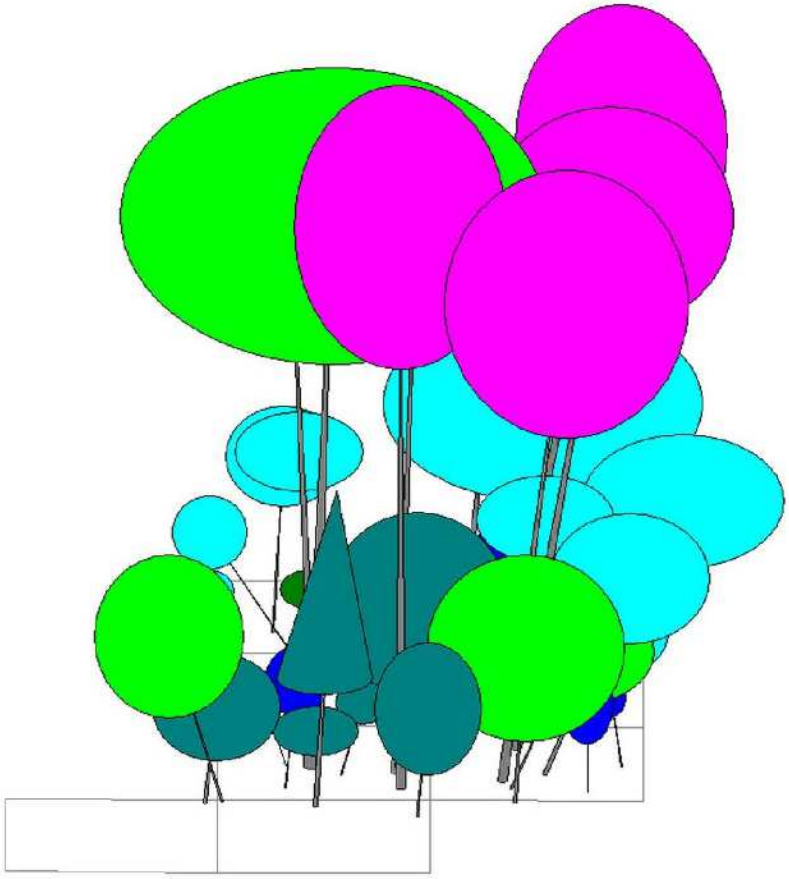


【樹冠投影図】

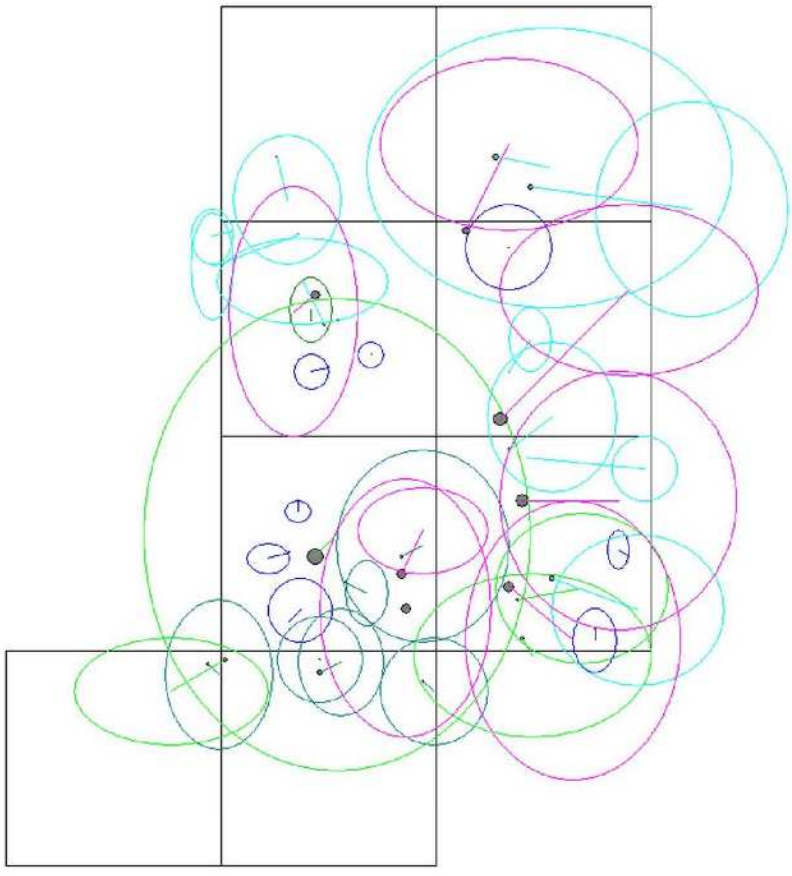


調査地点 NO.4　ハンノキ林

【群落階層模式図】



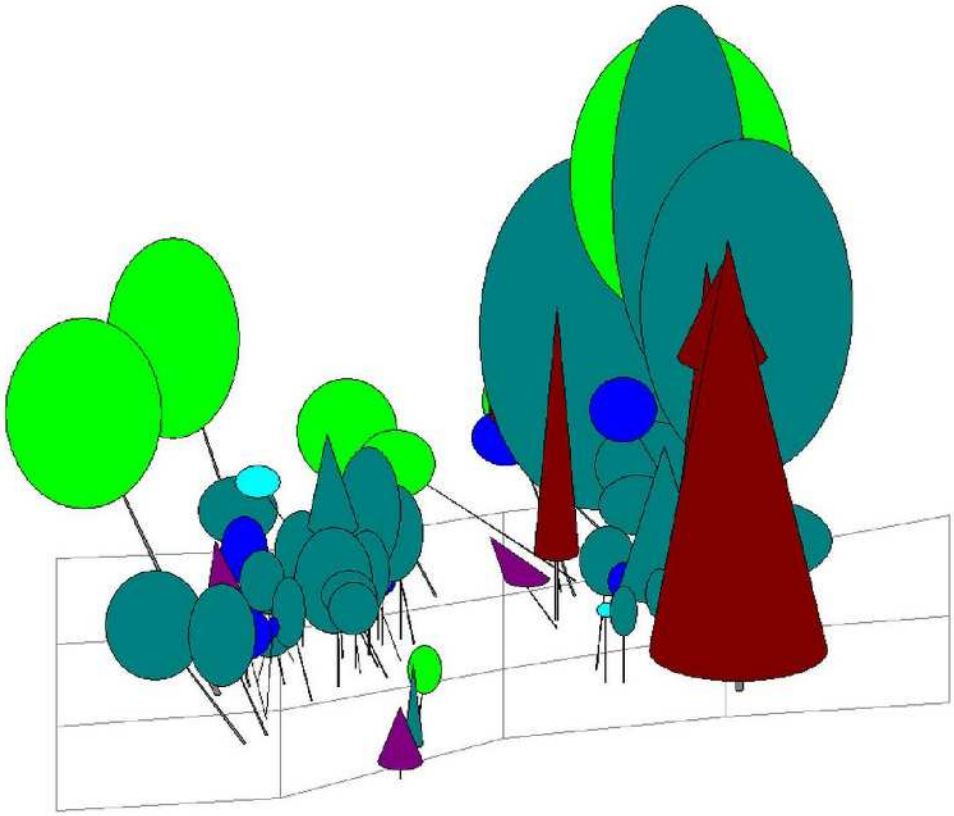
【樹冠投影図】



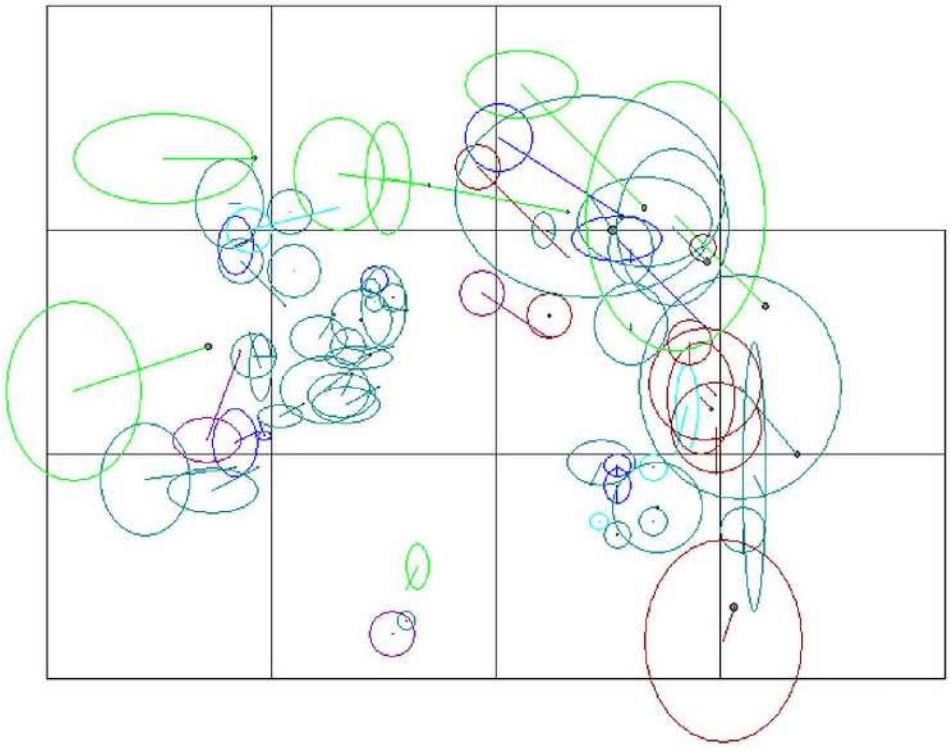
調査地点 NO.5　コナラ-アベマキ林（スギ混生）

貧栄養湿地植生（ﾇﾏｶﾞﾔ群落、ﾀｲﾜﾝｶﾓﾉﾊｼ群落、）

【群落階層模式図】

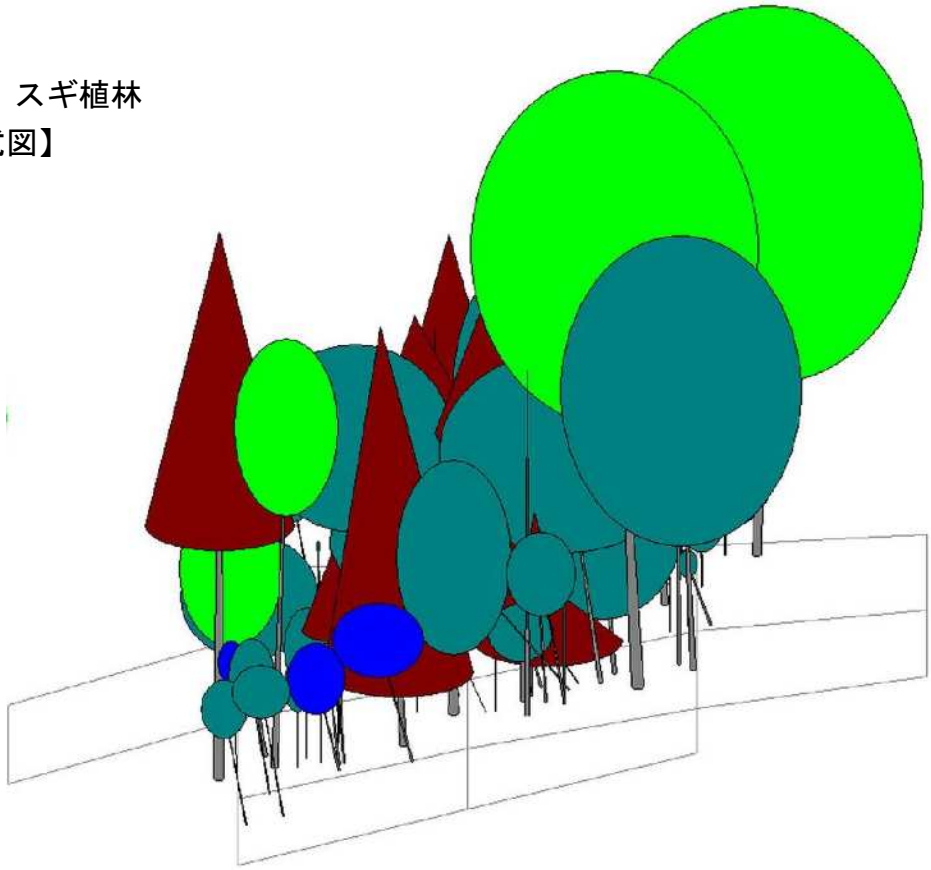


【樹冠投影図】

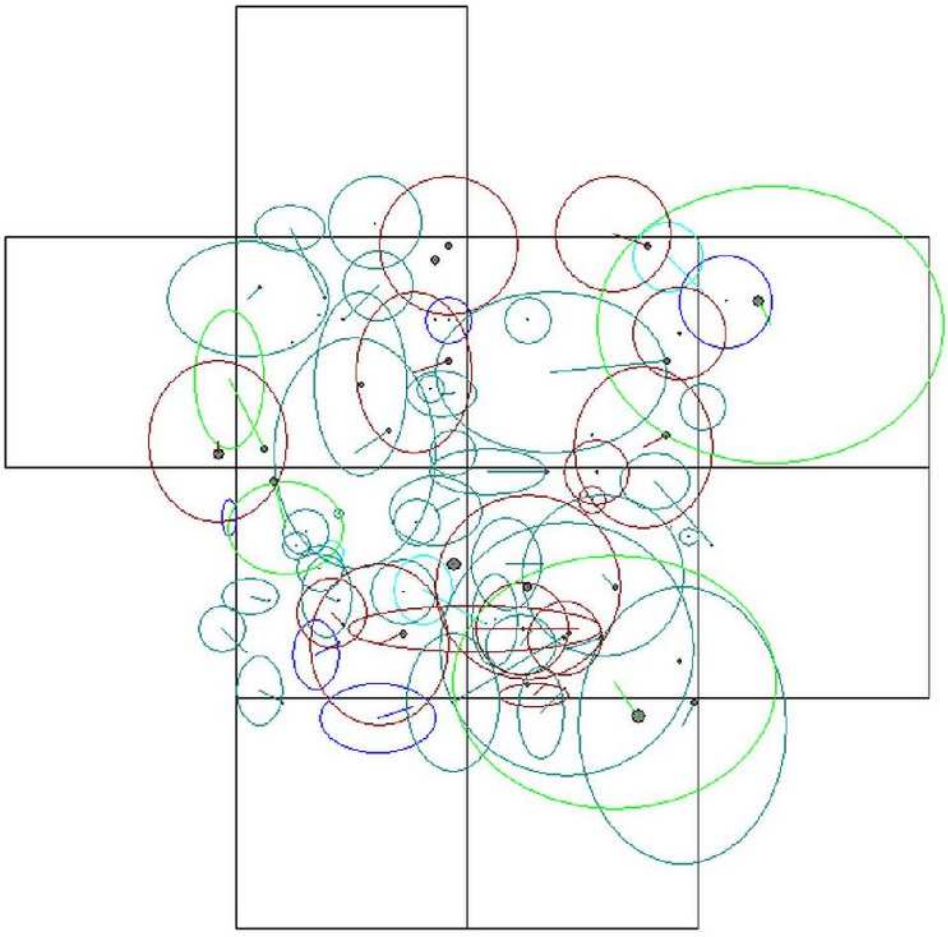


調査地点 NO.6　スギ植林

【群落階層模式図】

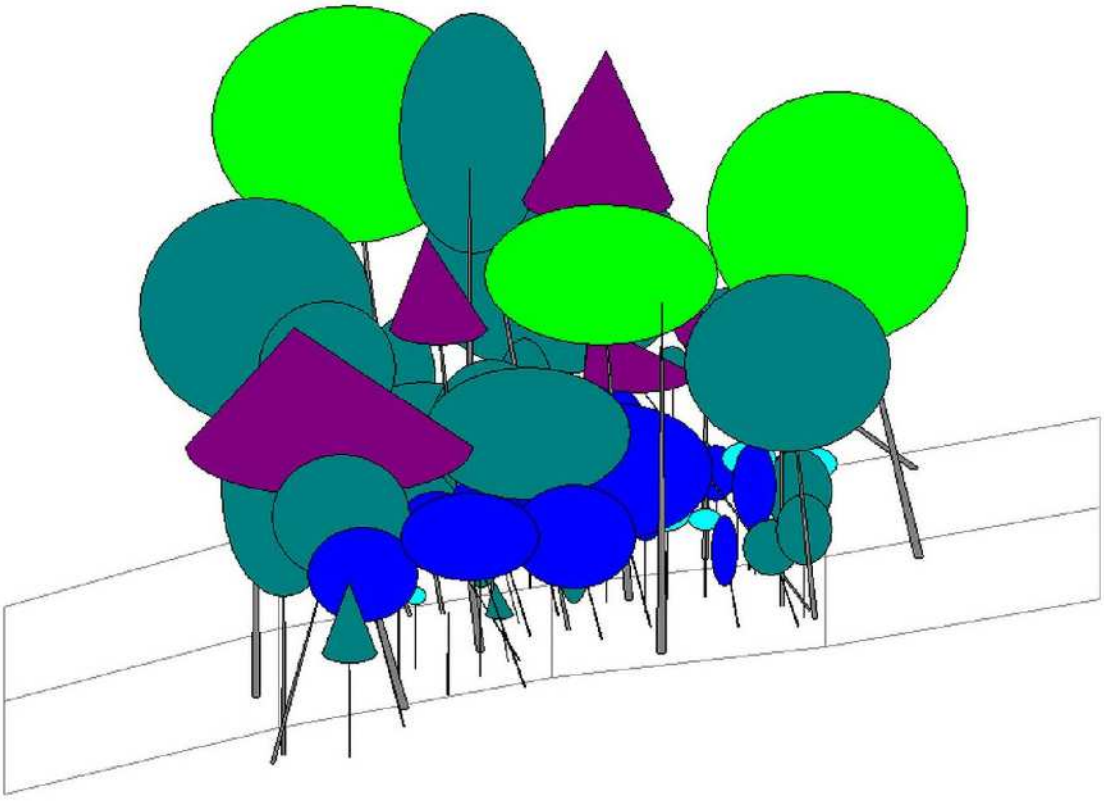


【樹冠投影図】

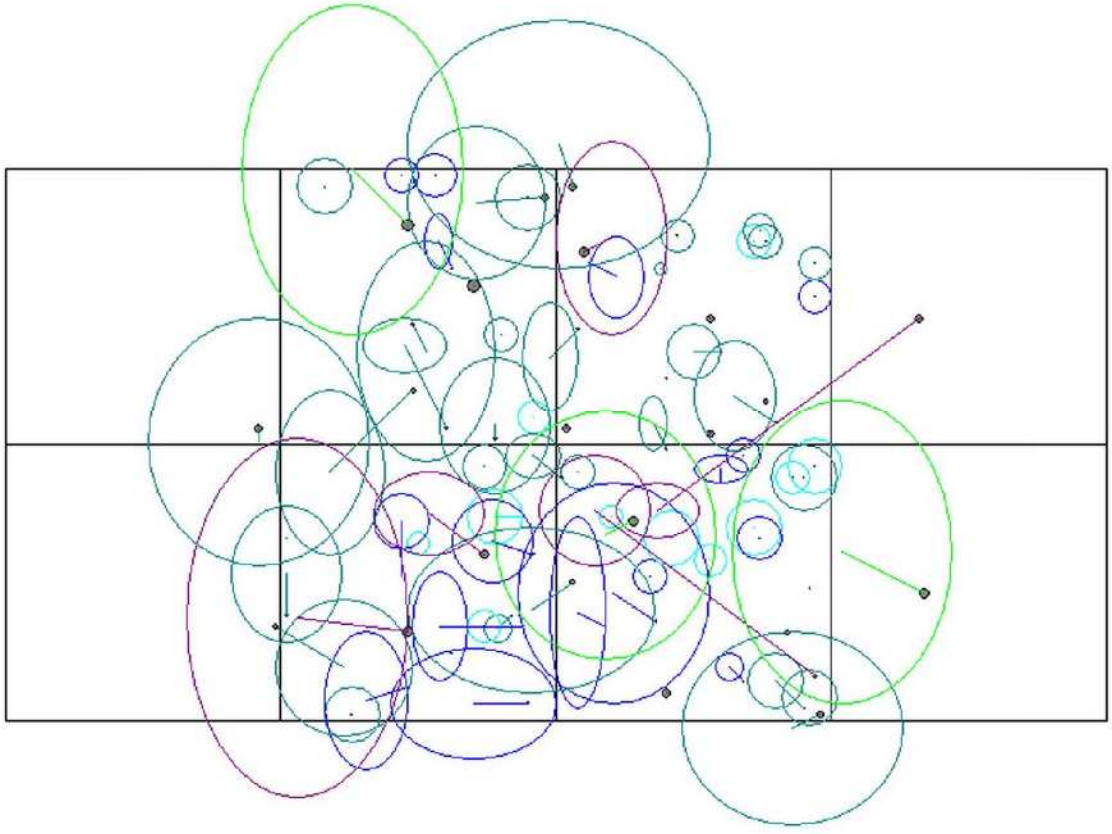


調査地点 NO.7　アカマツ林（高木林）

【群落階層模式図】

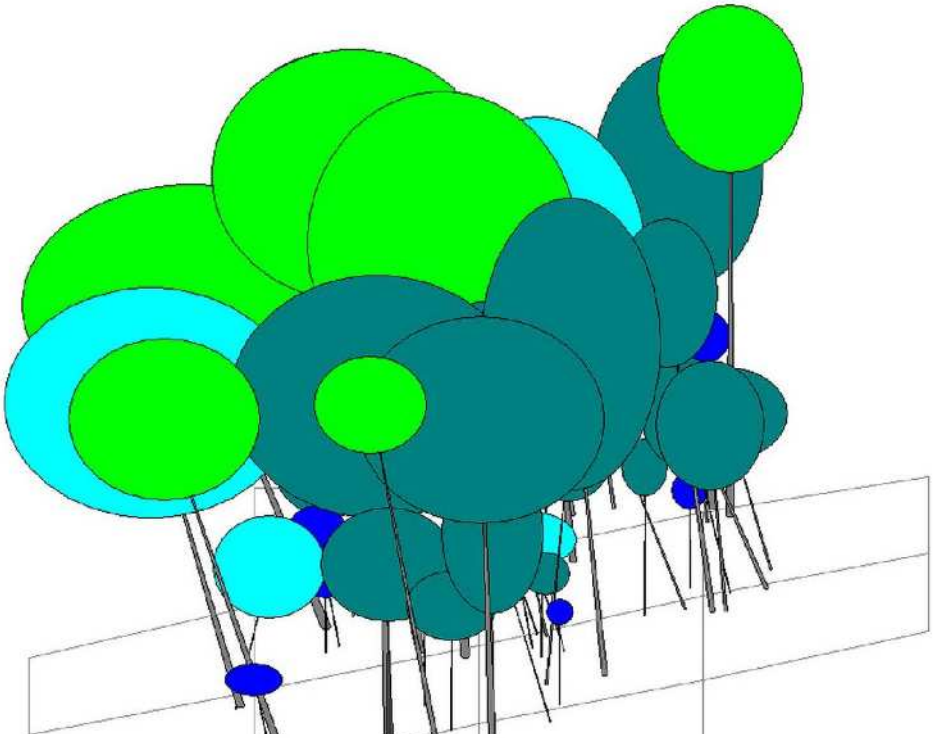


【樹冠投影図】

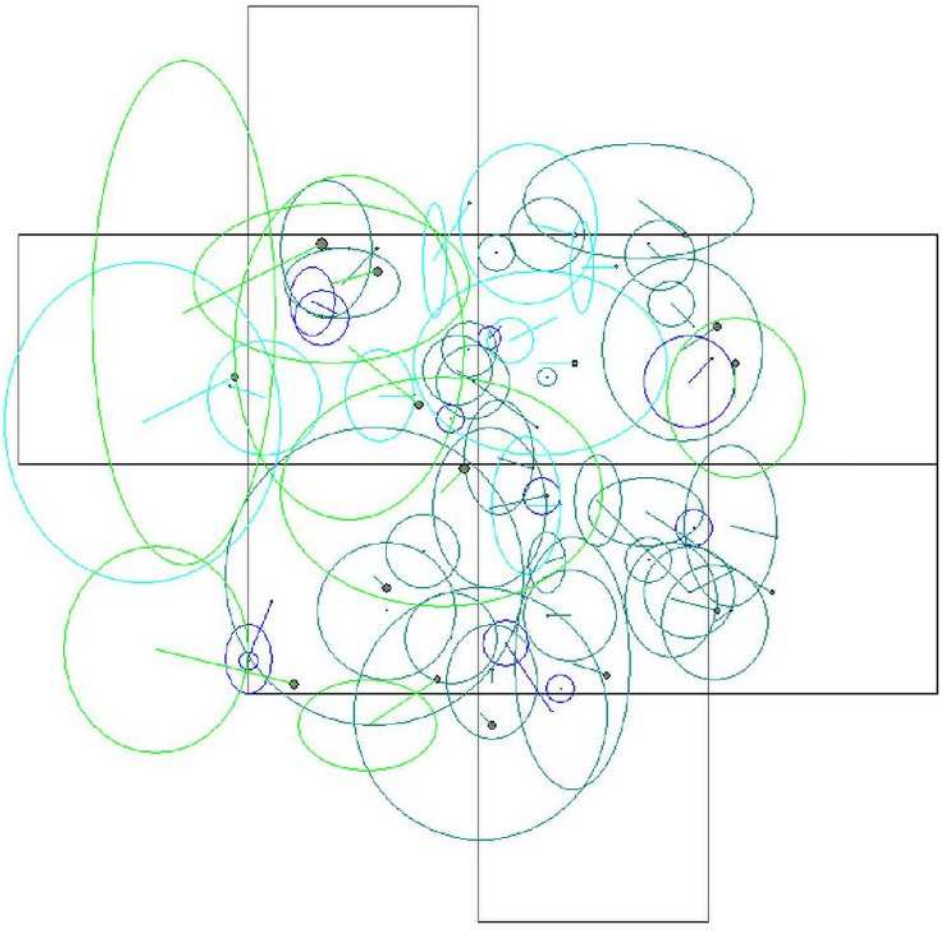


調査地点 NO.8　コナラ-アベマキ林（コナラ優占林）

【群落階層模式図】

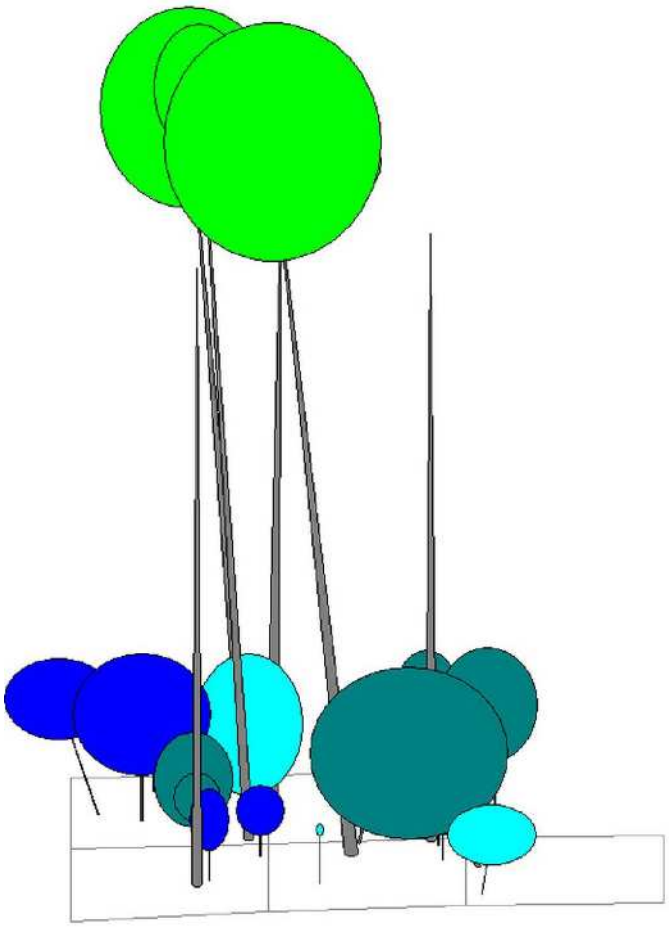


【樹冠投影図】

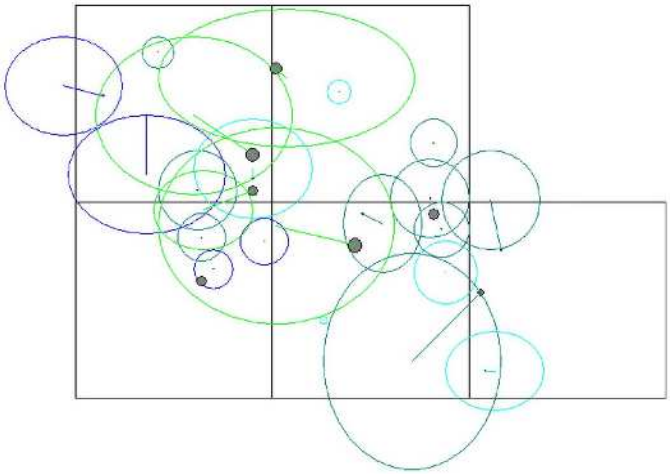


調査地点 NO.9　コナラ-アベマキ林（コナラ優占林）

【群落階層模式図】

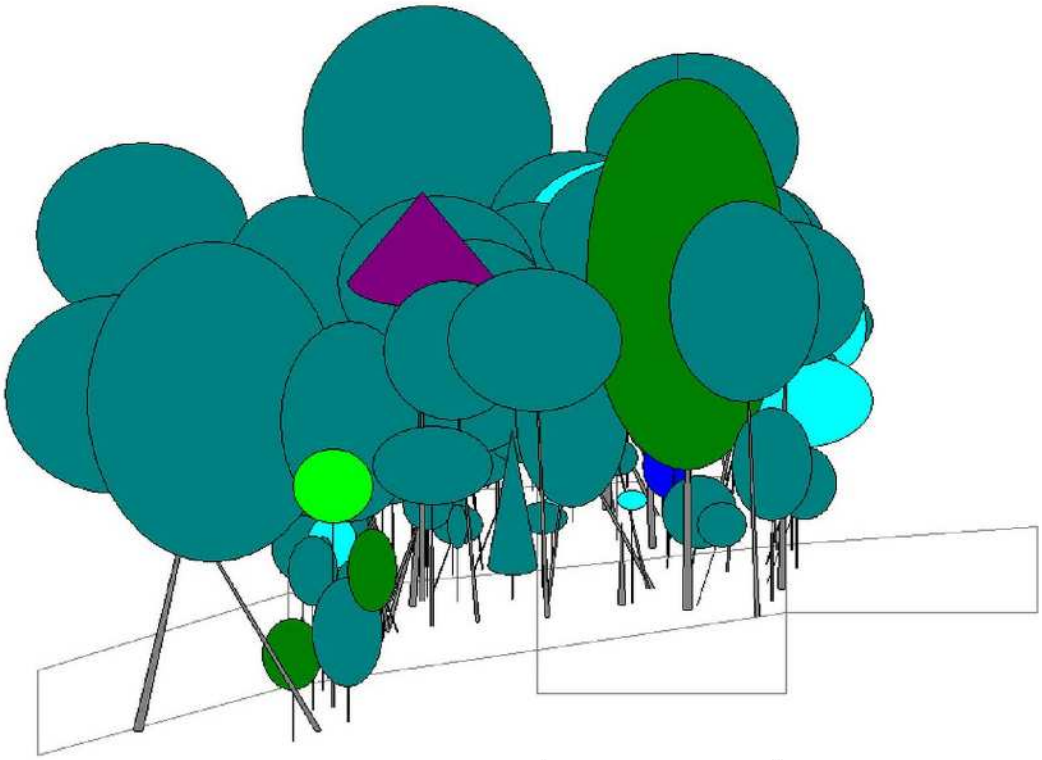


【樹冠投影図】

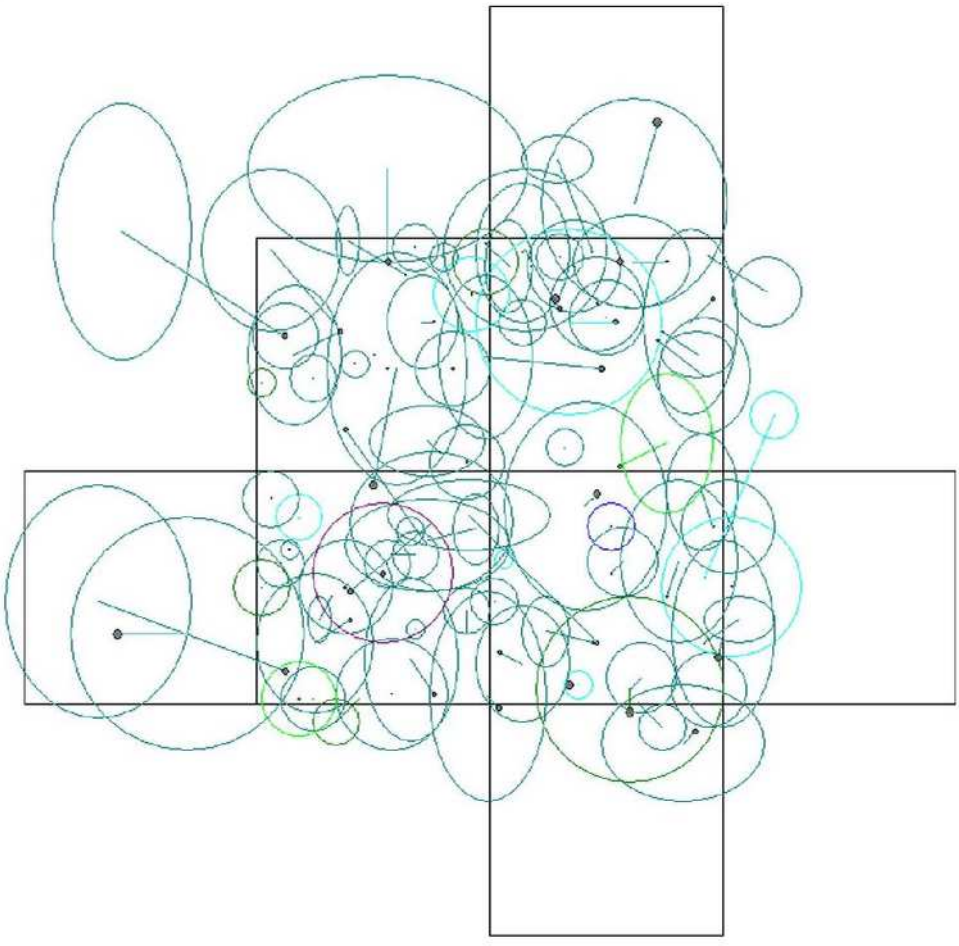


調査地点 NO.10　マツ枯れ跡地林

【群落階層模式図】

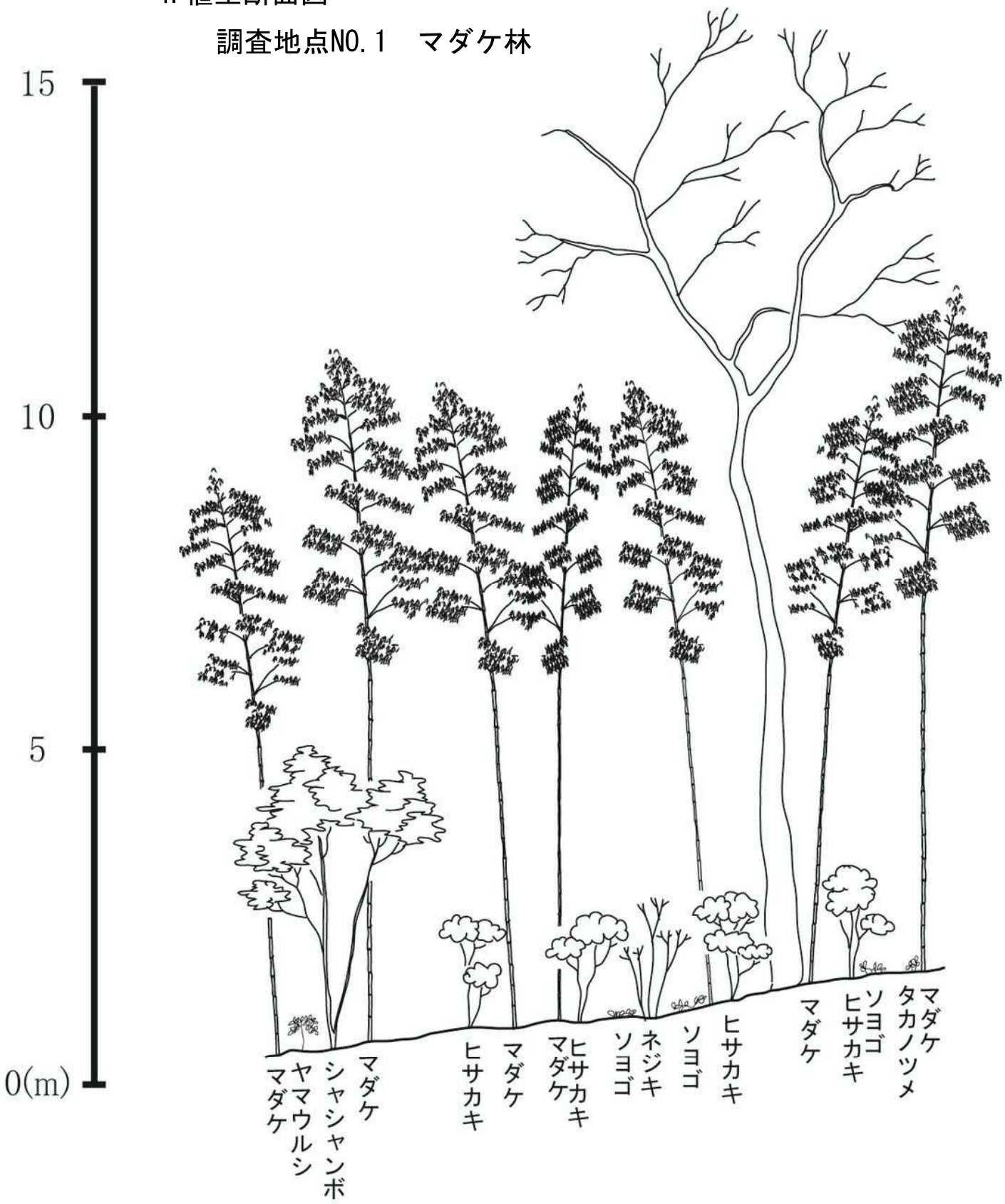


【樹冠投影図】

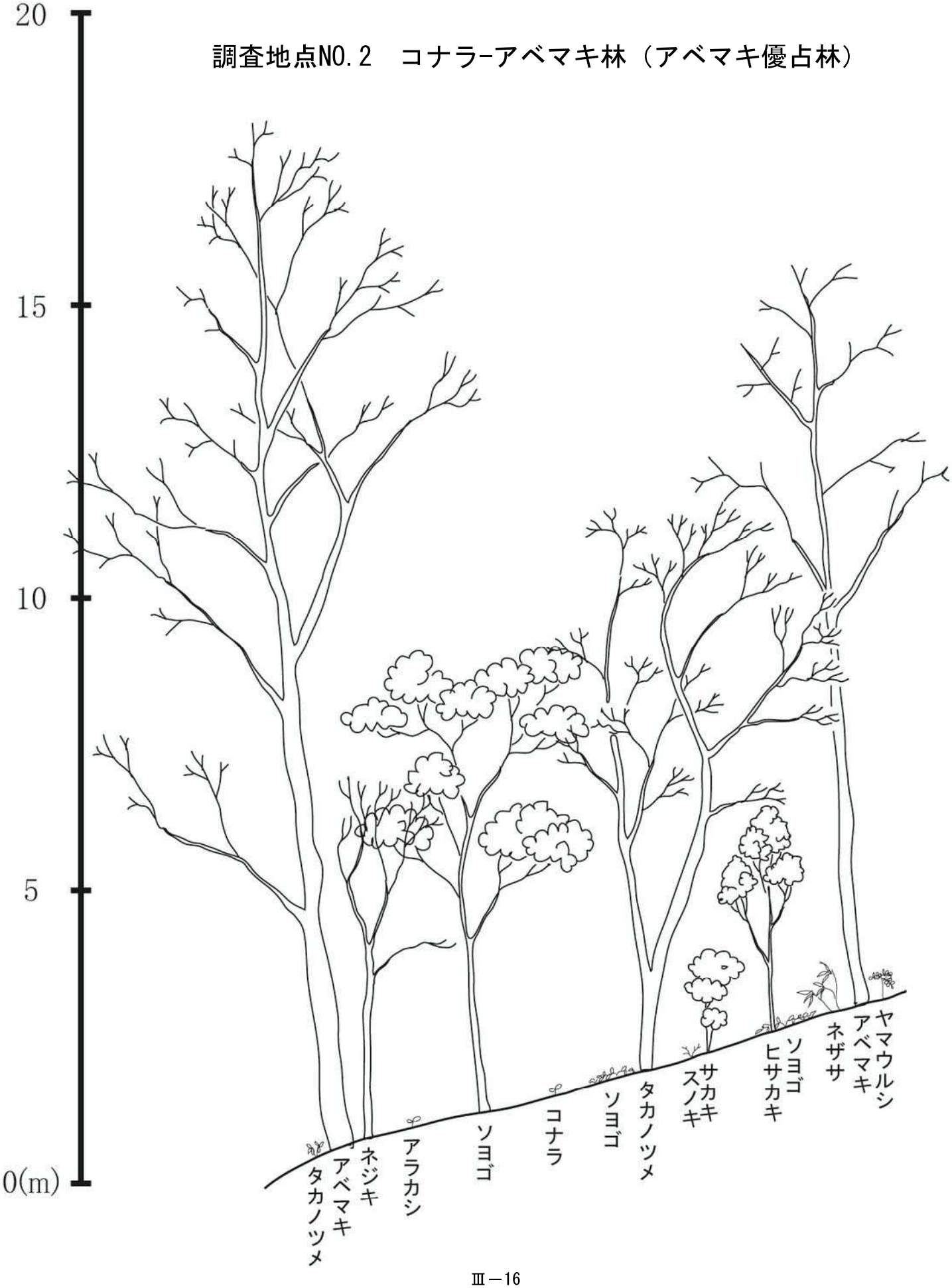


4.植生断面図

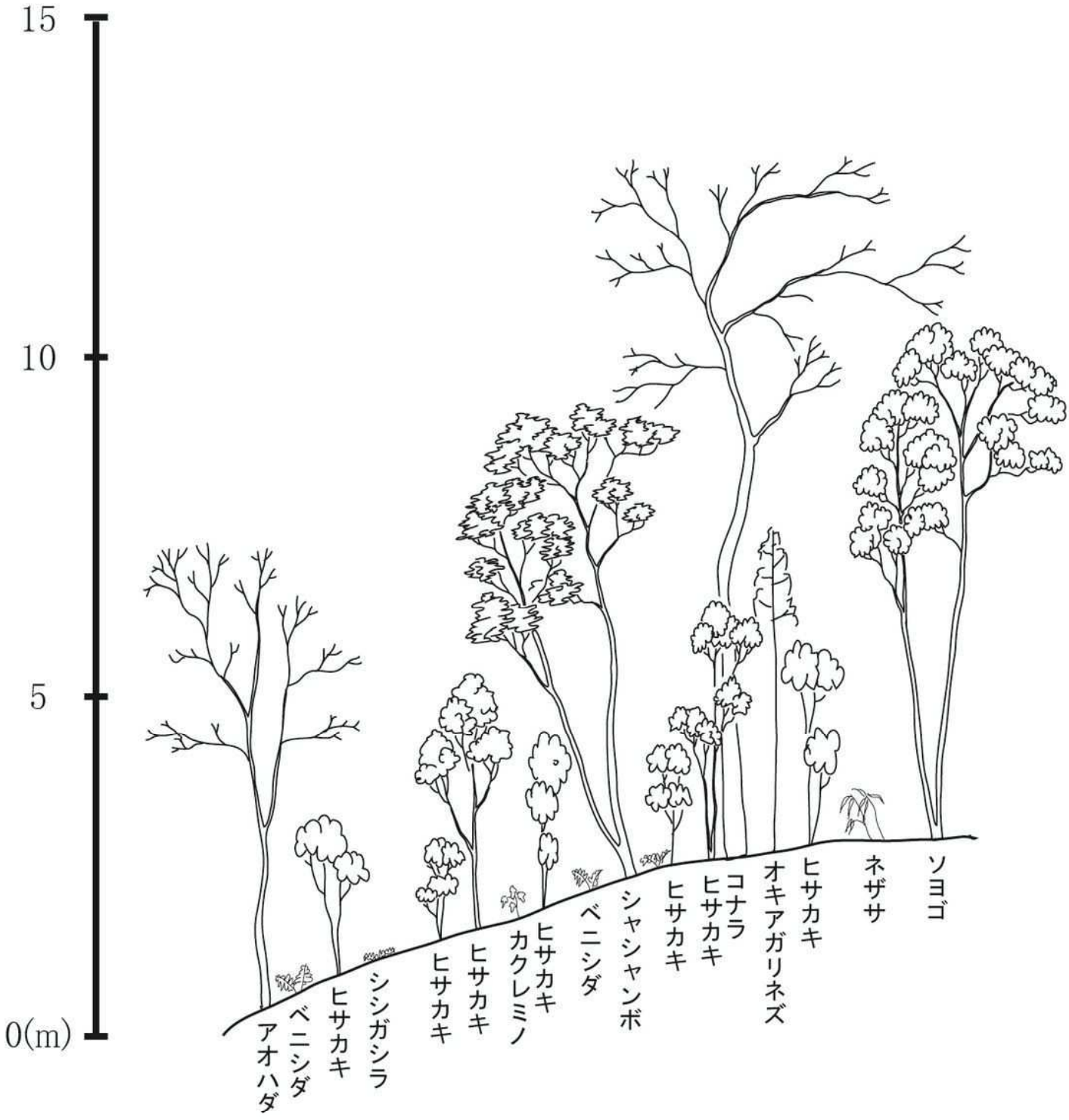
調査地点NO.1　マダケ林



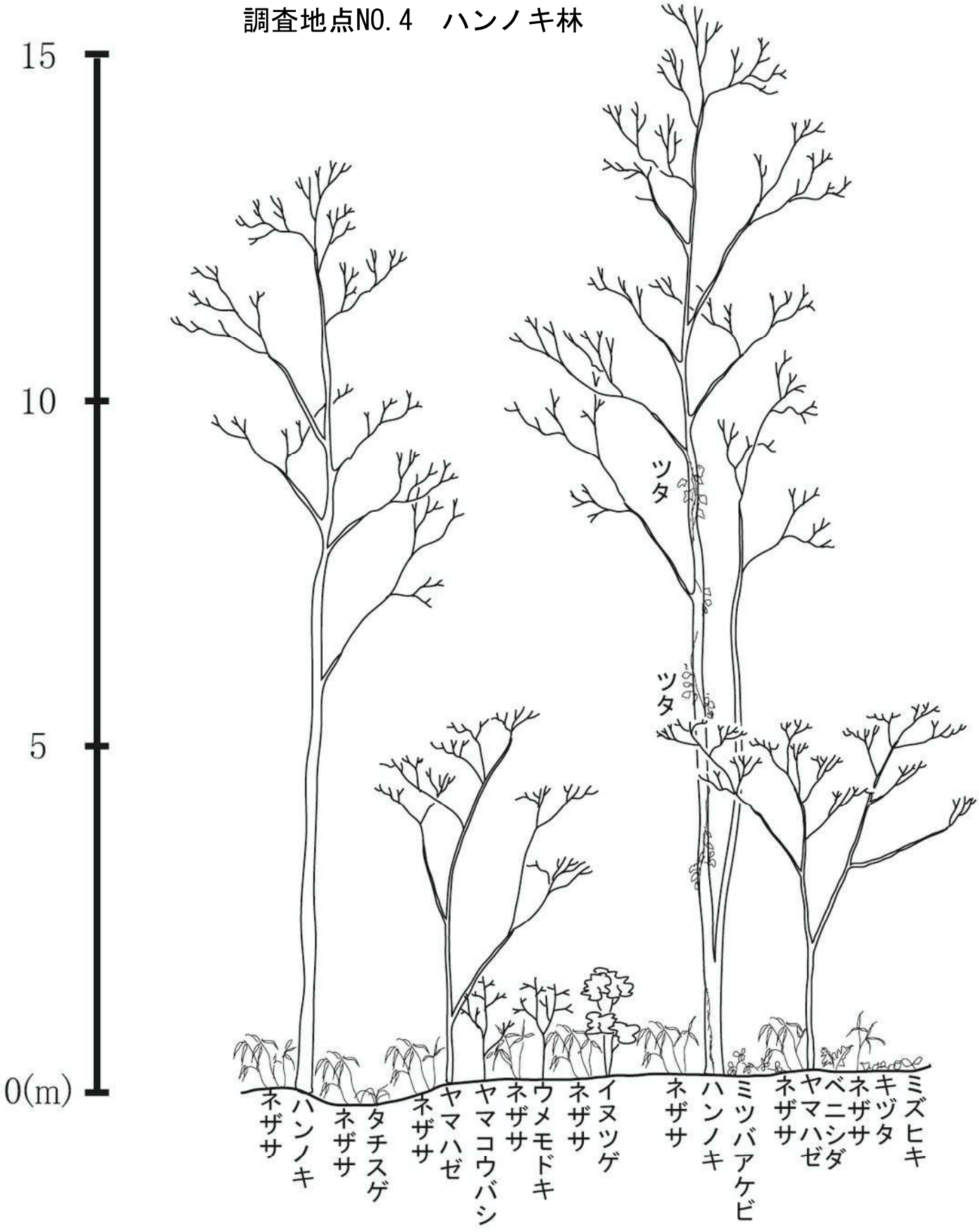
調査地点NO.2　コナラ-アベマキ林（アベマキ優占林）



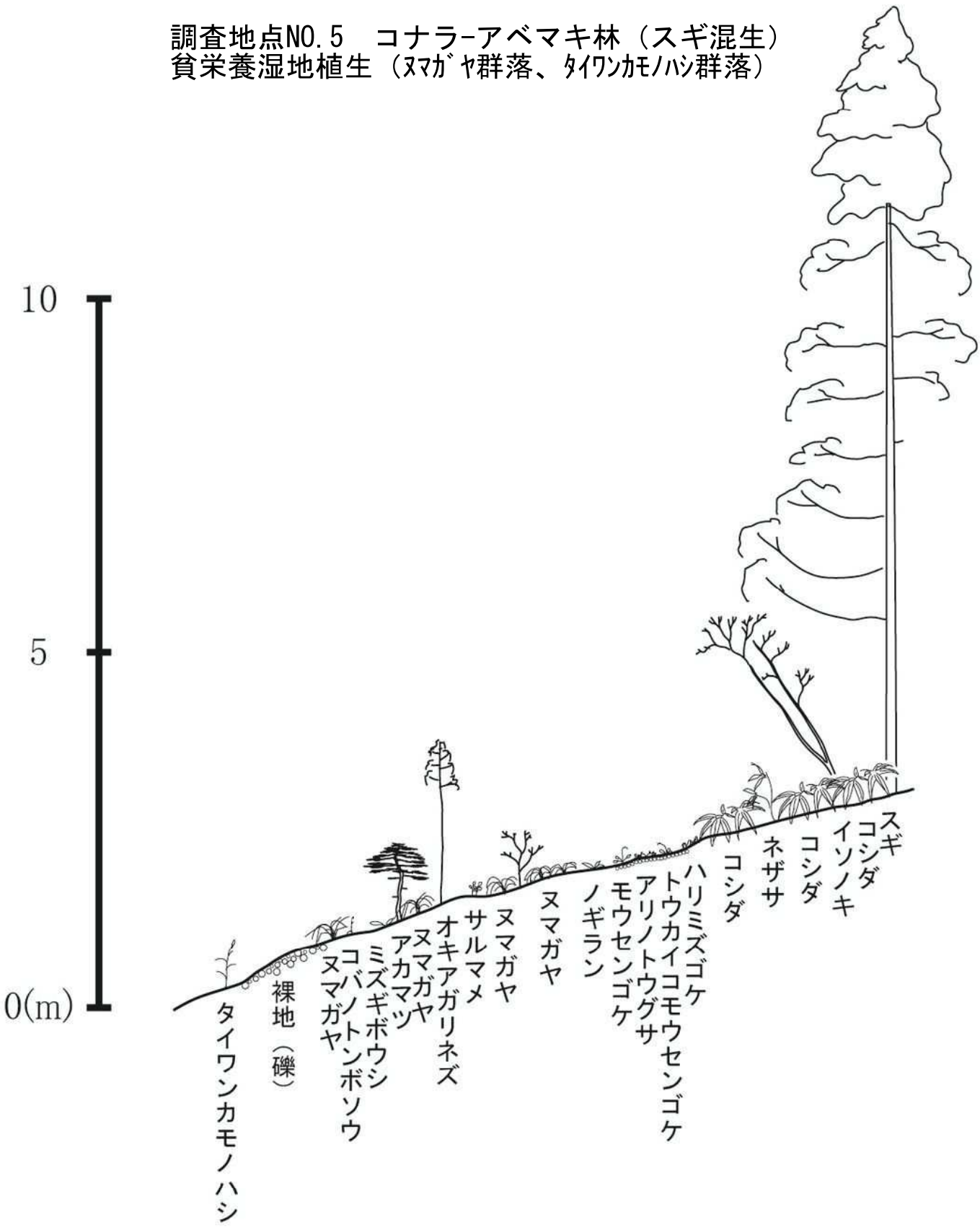
調査地点NO.3　コナラ-アベマキ林（コナラ優占林）



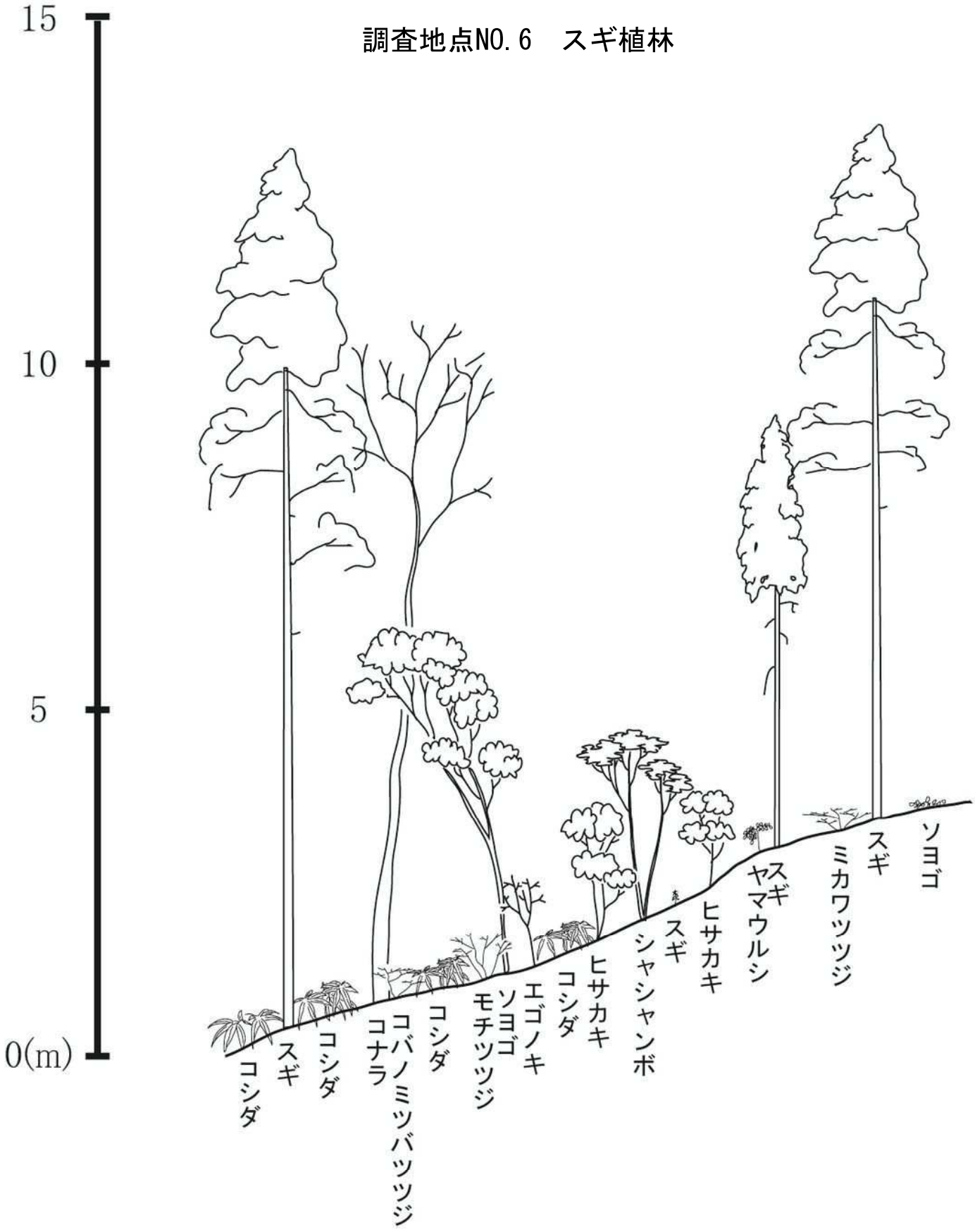
調査地点NO.4　ハンノキ林



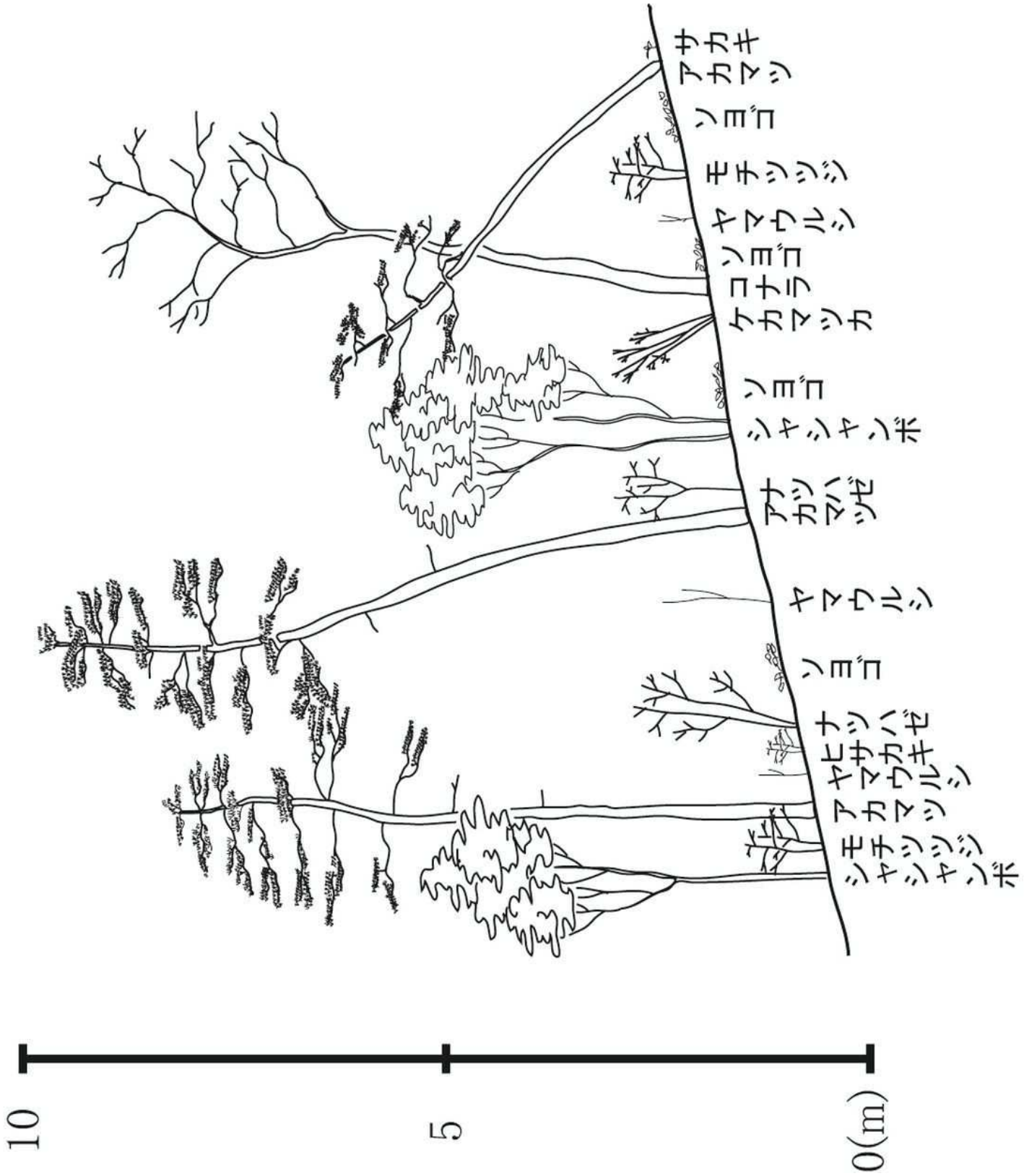
調査地点NO.5　コナラ-アベマキ林（スギ混生）
貧栄養湿地植生（ﾇﾏｶﾞﾔ群落、ﾀｲﾜﾝｶﾓﾉﾊｼ群落）



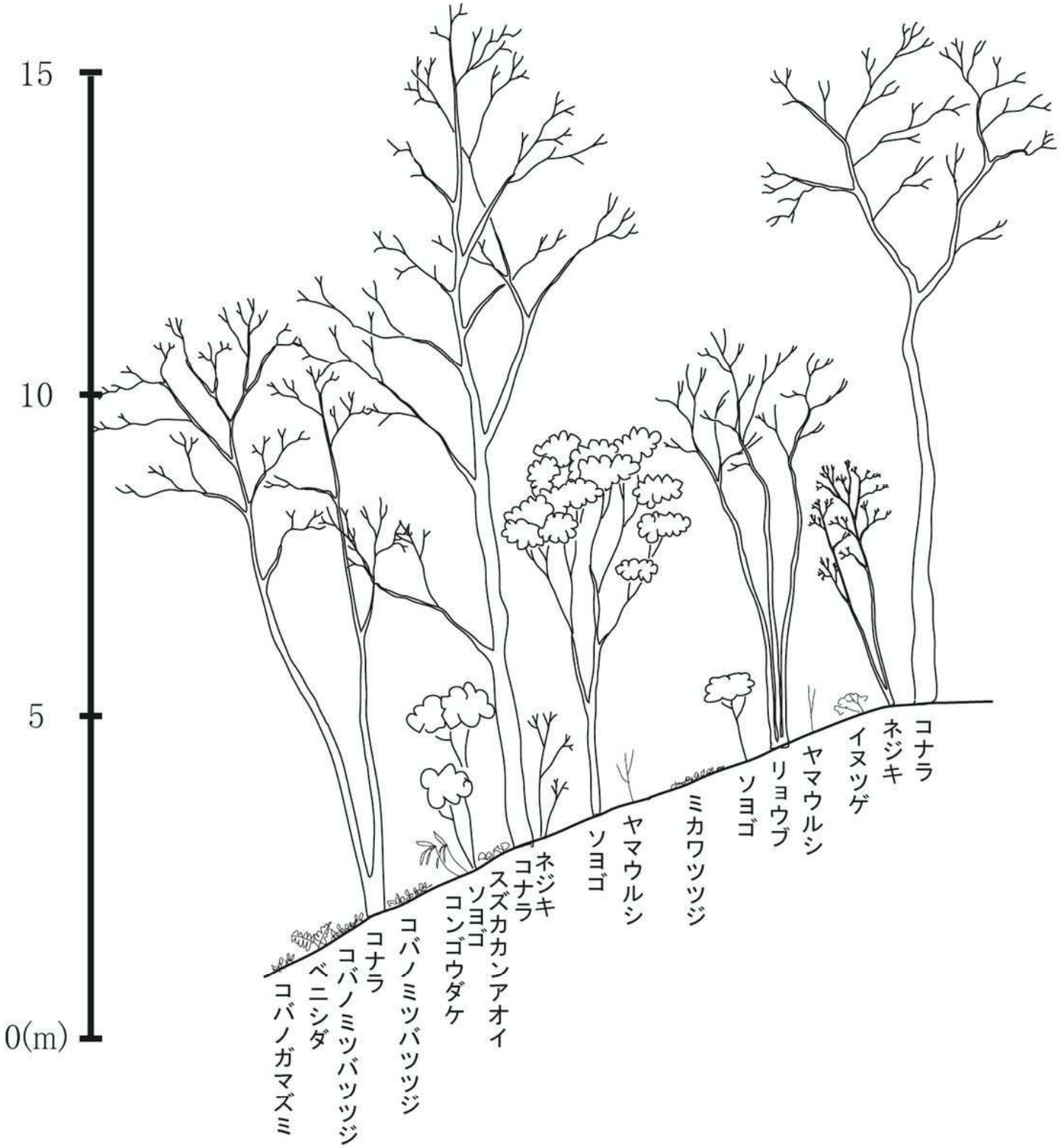
調査地点NO.6　スギ植林

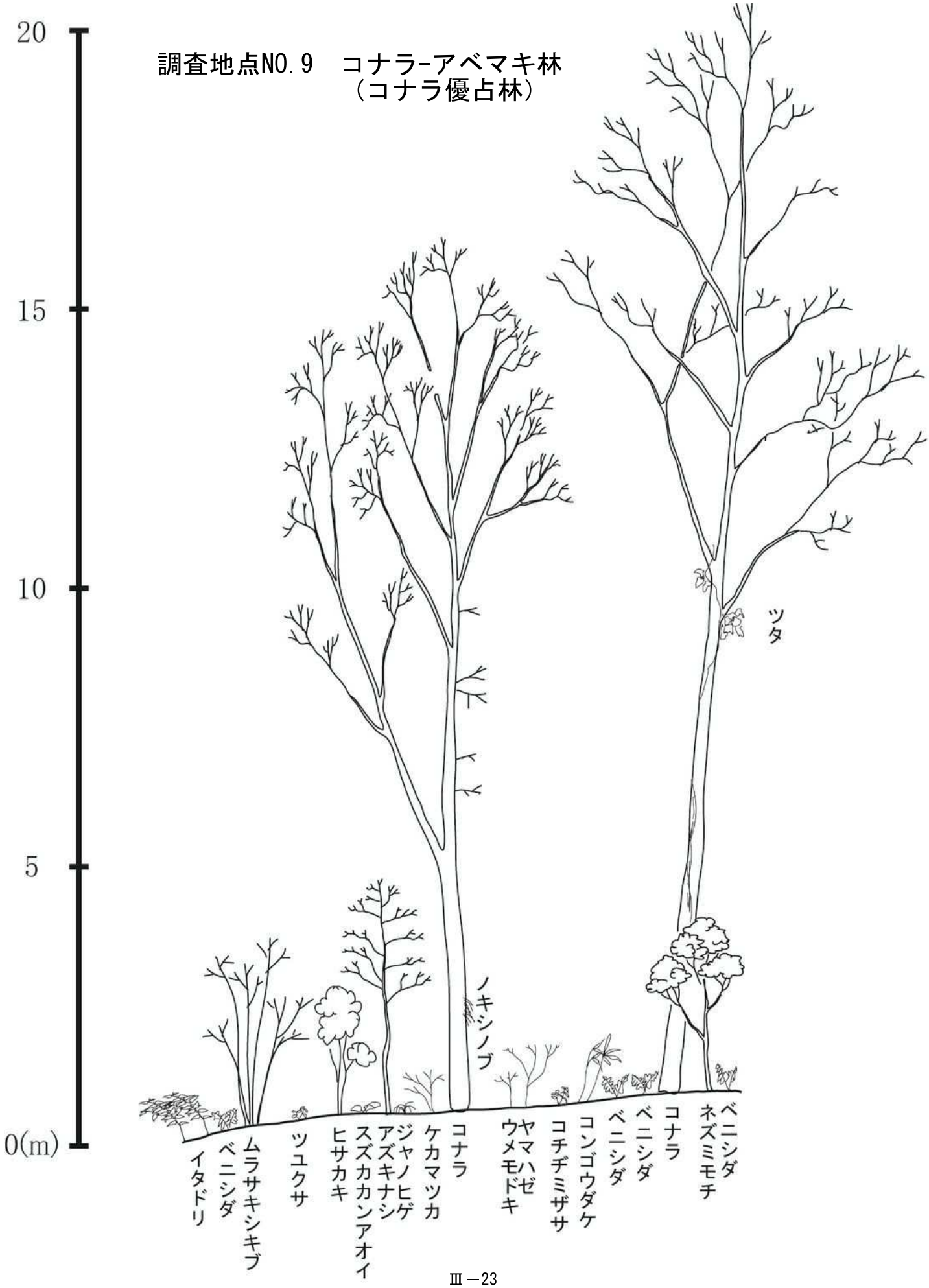


調査地点NO.7　アカマツ林（高木林）

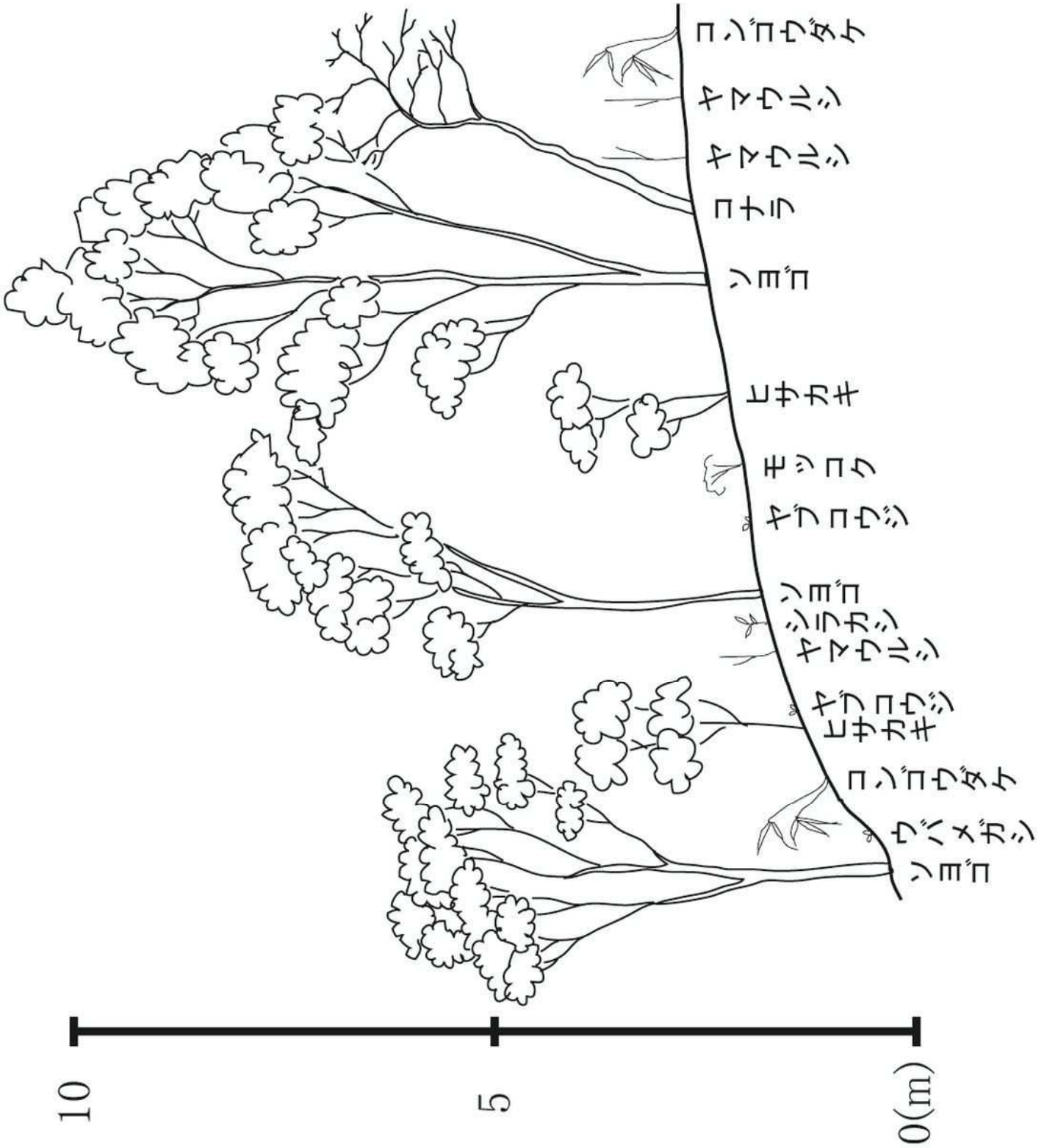


調査地点NO.8　コナラ-アベマキ林（コナラ優占林）




調査地点NO.9　コナラ-アベマキ林
（コナラ優占林）
20
15
10
5
0(m)
ツタ
ノキシノブ
ベニシダ
ネズミモチ
コナラ
ベニシダ
ベニシダ
コンゴウダケ
コチヂミザサ
ヤマハゼ
ウメモドキ
コナラ
ケカマツカ
ジャノヒゲ
アズキナシ
スズカカンアオイ
ヒサカキ
ツユクサ
ムラサキシキブ
ベニシダ
イタドリ

調査地点NO.10　マツ枯れ跡地林



植生調査地点写真 【地点1】春季

Sp01-1

Sp01-2

Sp01-3

Sp01-4

Sp01-5

Sp01-6

Sp01-7

Sp01-8

植生調査地点写真 【地点2】春季

Sp02-1

Sp02-2

Sp02-3

Sp02-4

Sp02-5

Sp02-6

Sp02-7

Sp02-8

植生調査地点写真 【地点3】春季

Sp03-1

Sp03-2

Sp03-3

Sp03-4

Sp03-5

Sp03-6

Sp03-7

Sp03-8

植生調査地点写真 【地点4】春季

Sp04-1

Sp04-2

Sp04-3

Sp04-4

Sp04-5

Sp04-6

Sp04-7

Sp04-8

植生調査地点写真 【地点5】春季

Sp05-1

Sp05-2

Sp05-3

Sp05-4

Sp05-5

Sp05-6

Sp05-7

Sp05-8

植生調査地点写真 【地点6】春季

Sp06-1

Sp06-2

Sp06-3

Sp06-4

Sp06-5

Sp06-6

Sp06-7

Sp06-8

植生調査地点写真 【地点7】春季

Sp07-1

Sp07-2

Sp07-3

Sp07-4

Sp07-5

Sp07-6

Sp07-7

Sp07-8

植生調査地点写真 【地点8】春季

Sp08-1

Sp08-2

Sp08-3

Sp08-4

Sp08-5

Sp08-6

Sp08-7

Sp08-8

植生調査地点写真 【地点9】春季

Sp09-1

Sp09-2

Sp09-3

Sp09-4

Sp09-5

Sp09-6

Sp09-7

Sp09-8

植生調査地点写真 【地点10】春季

Sp10-1

Sp10-2

Sp10-3

Sp10-4

Sp10-5

Sp10-6

Sp10-7

Sp10-8

植生調査地点写真 【地点1】夏季

Su01-1

Su01-2

Su01-3

Su01-4

Su01-5

Su01-6

Su01-7

Su01-8

植生調査地点写真 【地点2】夏季

Su02-1

Su02-2

Su02-3

Su02-4

Su02-5

Su02-6

Su02-7

Su02-8

植生調査地点写真 【地点3】夏季

Su03-1

Su03-2

Su03-3

Su03-4

Su03-5

Su03-6

Su03-7

Su03-8

植生調査地点写真 【地点4】夏季

Su04-1

Su04-2

Su04-3

Su04-4

Su04-5

Su04-6

Su04-7

Su04-8

植生調査地点写真 【地点5】夏季

Su05-1

Su05-2

Su05-3

Su05-4

Su05-5

Su05-6

Su05-7

Su05-8

植生調査地点写真 【地点6】夏季

Su06-1

Su06-2

Su06-3

Su06-4

Su06-5

Su06-6

Su06-7

Su06-8

植生調査地点写真 【地点7】夏季

Su07-1

Su07-2

Su07-3

Su07-4

Su07-5

Su07-6

Su07-7

Su07-8

植生調査地点写真 【地点8】夏季

Su08-1

Su08-2

Su08-3

Su08-4

Su08-5

Su08-6

Su08-7

Su08-8

植生調査地点写真 【地点9】夏季

Su09-1

Su09-2

Su09-3

Su09-4

Su09-5

Su09-6

Su09-7

Su09-8

植生調査地点写真 【地点10】夏季

Su10-1

Su10-2

Su10-3

Su10-4

Su10-5

Su10-6

Su10-7

Su10-8

植生調査地点写真 【地点1】秋季

Au01-1

Au01-2

Au01-3

Au01-4

Au01-5

Au01-6

Au01-7

Au01-8

植生調査地点写真 【地点2】秋季

Au02-1

Au02-2

Au02-3

Au02-4

Au02-5

Au02-6

Au02-7

Au02-8

植生調査地点写真 【地点3】秋季

Au03-1

Au03-2

Au03-3

Au03-4

Au03-5

Au03-6

Au03-7

Au03-8

植生調査地点写真 【地点4】秋季

Au04-1

Au04-2

Au04-3

Au04-4

Au04-5

Au04-6

Au04-7

Au04-8

植生調査地点写真 【地点5】秋季

Au05-1

Au05-2

Au05-3

Au05-4

Au05-5

Au05-6

Au05-7

Au05-8

植生調査地点写真 【地点6】秋季

Au06-1

Au06-2

Au06-3

Au06-4

Au06-5

Au06-6

Au06-7

Au06-8

植生調査地点写真 【地点7】秋季

Au07-1

Au07-2

Au07-3

Au07-4

Au07-5

Au07-6

Au07-7

Au07-8

植生調査地点写真 【地点8】秋季

Au08-1

Au08-2

Au08-3

Au08-4

Au08-5

Au08-6

Au08-7

Au08-8

植生調査地点写真 【地点9】秋季

Au09-1

Au09-2

Au09-3

Au09-4

Au09-5

Au09-6

Au09-7

Au09-8

植生調査地点写真 【地点10】秋季

Au10-1

Au10-2

Au10-3

Au10-4

Au10-5

Au10-6

Au10-7

Au10-8

植生調査票 （調査地点No.1）

調査日 ： 平成23年6月16日

調査地: 愛知郡長久手町大字岩作

群落名: マダケ林

＜土地の概況＞

（地形）谷	（位置）下	（標高） 92m
（斜面方位）N68W	（傾斜）12°	（土壌）褐色森林土
（土湿）適	（風当り）中	（日当り）陽

＜植生概況＞

（階　層）		（優占種）	（高さm）	（植被率%）	（胸高直径cm）	（種数）
T1	高木層	ｺﾅﾗ	12.0～ 16.0	40	23	2
T2	亜高木層	ﾏﾀﾞｹ	7.0～ 11.0	90	6	3
S1	低木層１	ﾋｻｶｷ	2.0～ 6.0	60	3	5
H1	草本層１	ｿﾖｺﾞ	～ 0.8	15		23

種数合計：25種

S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S
T1	ｺﾅﾗ	3･3	H1	ﾀｶﾉﾂﾒ	1･1			
	ﾏﾀﾞｹ	1･1		ｺﾅﾗ	1･1			
				ﾐｶﾜﾂﾂｼﾞ	+･2			
				ｳﾒﾓﾄﾞｷ	+			
				ﾈｼﾞｷ	+			
T2	ﾏﾀﾞｹ	5･4		ﾔﾌﾞｺｳｼﾞ	+			
	ｺﾅﾗ	1･1		ｻﾜﾌﾀｷﾞ	+			
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	+		ﾈｽﾞﾐﾓﾁ	+			
				ﾏﾝﾘｮｳ	+			
				ﾔﾏﾊｾﾞ	+			
S1	ﾋｻｶｷ	3･3		ｱﾗｶｼ	+			
	ﾈｼﾞｷ	1･1		ﾔﾏｺｳﾊﾞｼ	+			
	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	1･1		ｶｷﾉｷ	+			
	ｿﾖｺﾞ	+		ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	+			
	ｻｶｷ	+		ｲﾇﾂｹﾞ	+			
				ｻﾙﾏﾒ	+			
				ｻｶｷ	+			
				ｸｽﾉｷ	+			
H1	ｿﾖｺﾞ	2･2						
	ｺﾊﾞﾉﾐﾂﾊﾞﾂﾂｼﾞ	1･2						
	ｽﾉｷ	1･2						
	ﾋｻｶｷ	1･1						
	ﾔﾏｳﾙｼ	1･1						

植生調査票 （調査地点No.2）

調査日 ： 平成23年6月16日

調査地: 愛知郡長久手町大字岩作

群落名: コナラーアベマキ林(アベマキ優占林)

＜土地の概況＞

（地形）斜面	（位置）下	（標高）102m
（斜面方位）N6E	（傾斜）22°	（土壌）褐色森林土
（土湿）適	（風当り）中	（日当り）陽

＜植生概況＞

（階　層）		（優占種）	（高さm）	（植被率%）	（胸高直径cm）	（種数）
T1	高木層	ｱﾍﾞﾏｷ	12.0～ 18.0	90	30	2
T2	亜高木層	ｿﾖｺﾞ	6.0～ 11.0	60	15	6
S1	低木層１	ﾋｻｶｷ	2.0～ 5.0	30	4	9
H1	草本層１	ﾀｶﾉﾂﾒ	～ 0.7	20		22

種数合計：25種

S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S
T1	ｱﾍﾞﾏｷ	5･4	H1	ﾀｶﾉﾂﾒ	2･2			
	ｺﾅﾗ	1･1		ﾔﾌﾞｺｳｼﾞ	1･2			
				ﾐｶﾜﾂﾂｼﾞ	+･2			
				ｺﾊﾞﾉﾐﾂﾊﾞﾂﾂｼﾞ	+･2			
				ｼﾉﾌﾞ	+･2			
T2	ｿﾖｺﾞ	3･3		ｽﾉｷ	+･2			
	ﾀｶﾉﾂﾒ	2･2		ｶｷﾉｷ	+･2			
	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	1･1		ﾈｻﾞｻ	+･2			
	ﾈｼﾞｷ	1･1		ﾓﾁﾂﾂｼﾞ	+･2			
	ｱﾍﾞﾏｷ	1･1		ｱﾗｶｼ	+			
	ﾔﾏｳﾙｼ	+		ｺﾅﾗ	+			
				ﾔﾏｳﾙｼ	+			
				ｱﾍﾞﾏｷ	+			
				ﾐﾔﾏｶﾞﾏｽﾞﾐ	+			
				ﾋｻｶｷ	+			
S1	ﾋｻｶｷ	2･2		ｸﾛｶﾞﾈﾓﾁ	+			
	ｿﾖｺﾞ	1･1		ｲﾇﾂｹﾞ	+			
	ﾈｼﾞｷ	1･1		ｿﾖｺﾞ	+			
	ﾀｶﾉﾂﾒ	1･1		ﾈｼﾞｷ	+			
	ｼﾉﾌﾞ	+･2		ﾏﾝﾘｮｳ	+			
	ﾐﾔﾏｶﾞﾏｽﾞﾐ	+		ｻｶｷ	+			
	ｻｶｷ	+		ｼｼｶﾞｼﾗ	+			
	ｹｶﾏﾂｶ	+						
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	+						

植生調査票 （調査地点No.3）

調査日 ： 平成23年6月16日

調査地: 愛知郡長久手町大字岩作

群落名: コナラーアベマキ林(コナラ優占林)

＜土地の概況＞

（地形）斜面	（位置）上	（標高）103m
（斜面方位）N14E	（傾斜）20°	（土壌）褐色森林土
（土湿）適	（風当り）中	（日当り）陽

＜植生概況＞

（階　層）	（優占種）	（高さm）	（植被率%）	（胸高直径cm）	（種数）
T1 高木層	ｺﾅﾗ	10.0～ 13.0	60	22	1
T2 亜高木層	ｿﾖｺﾞ	6.0～ 10.0	70	13	9
S1 低木層１	ﾋｻｶｷ	2.0～ 5.0	90	3	8
H1 草本層１	ﾍﾞﾆｼﾀﾞ	～ 0.7	20		25

種数合計：31種

S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S
T1	ｺﾅﾗ	4･4	H1	ﾍﾞﾆｼﾀﾞ	2･2			
				ﾈｻﾞｻ	1･2			
				ﾀｶﾉﾂﾒ	1･1			
				ﾋｻｶｷ	1･1			
				ﾔﾜﾗｼﾀﾞ	+･2			
T2	ｿﾖｺﾞ	3･3		ﾈｼﾞｷ	+			
	ｱﾍﾞﾏｷ	1･1		ｻﾙﾏﾒ	+			
	ｺﾅﾗ	1･1		ｼｬﾘﾝﾊﾞｲ	+			
	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	1･1		ｽﾀﾞｼﾞｲ	+			
	ｱｵﾊﾀﾞ	1･1		ｶｸﾚﾐﾉ	+			
	ﾀｶﾉﾂﾒ	+		ﾏﾃﾊﾞｼｲ	+			
	ﾈｼﾞｷ	+		ﾏﾝﾘｮｳ	+			
	ﾋｻｶｷ	+		ｷｼﾞﾉｵｼﾀﾞ	+			
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	+		ｴｺﾞﾉｷ	+			
				ｻｶｷ	+			
S1	ﾋｻｶｷ	5･5		ｼﾗｶｼ	+			
	ｿﾖｺﾞ	1･1		ｺﾊﾞﾉﾐﾂﾊﾞﾂﾂｼﾞ	+			
	ｶｸﾚﾐﾉ	+		ﾏﾙﾊﾞﾍﾞﾆｼﾀﾞ	+			
	ﾔﾏｳﾙｼ	+		ﾊﾘｶﾞﾈﾜﾗﾋﾞ	+			
	ﾈｼﾞｷ	+		ｼｼｶﾞｼﾗ	+			
	ｶｽﾐｻﾞｸﾗ	+		ｺｼﾀﾞ	+			
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	+		ｵｵﾍﾞﾆｼﾀﾞ	+			
	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	+		ｿﾖｺﾞ	+			
				ﾔﾌﾞｺｳｼﾞ	+			
				ｺﾅﾗ	+			

植生調査票 （調査地点No.4）

調査日 ： 平成23年6月14日

調査地: 愛知郡長久手町大字前熊

群落名: ハンノキ林

＜土地の概況＞

（地形）平地	（位置）	（標高）97m
（斜面方位）	（傾斜）0°	（土壌）沖積土
（土湿）適～湿(一部過湿)	（風当り）中	（日当り）陽

＜植生概況＞

（階　層）		（優占種）	（高さm）	（植被率%）	（胸高直径cm）	（種数）
T1	高木層	ﾊﾝﾉｷ	11.0～ 17.0	85	25	3
T2	亜高木層	ﾔﾏﾊｾﾞ	4.0～ 8.0	50	10	8
S1	低木層１	ｳﾒﾓﾄﾞｷ	1.2～ 3.0	20	1	10
H1	草本層１	ﾈｻﾞｻ	～ 1.2	95		37

種数合計：44種

S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S
T1	ﾊﾝﾉｷ	4･4	H1	ﾈｻﾞｻ	5･5	H1	ﾑﾗｻｷｼｷﾌﾞ	+
	ｺﾅﾗ	2･1		ﾍﾞﾆｼﾀﾞ	2･2		ﾌﾓﾄｼﾀﾞ	+
	ﾂﾀ	+･2		ｺﾁﾁﾞﾐｻﾞｻ	2･2		ﾔﾏﾉｲﾓ	+
				ﾂﾀ	1･2		ｱｶﾒｶﾞｼﾜ	+
				ﾍｸｿｶｽﾞﾗ	1･2		ﾐｽﾞﾋｷ	+
T2	ﾔﾏﾊｾﾞ	3･3		ﾐﾂﾊﾞｱｹﾋﾞ	1･2		ﾀﾁｽｹﾞ	+
	ｱｶﾒｶﾞｼﾜ	1･1		ﾀｶﾉﾂﾒ	1･1		ｺﾏﾕﾐ	+
	ｺﾅﾗ	1･1		ｿﾖｺﾞ	1･1		ﾔﾌﾞﾍﾋﾞｲﾁｺﾞ	+
	ﾂﾀ	+･2		ｲﾇﾂｹﾞ	1･1		ﾏﾕﾐ	+
	ﾐﾂﾊﾞｱｹﾋﾞ	+･2		ﾊﾘｶﾞﾈﾜﾗﾋﾞ	1･1		ﾊﾝﾉｷ	+
	ｲｿﾉｷ	+		ｲﾎﾞﾀﾉｷ	1･1		ｶﾞﾏｽﾞﾐ	+
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	+		ﾐﾔｺｲﾊﾞﾗ	1･1		ﾔﾜﾗｼﾀﾞ	+
	ﾋｻｶｷ	+		ﾂﾙｳﾒﾓﾄﾞｷ	+･2			
				ｷﾂﾞﾀ	+･2			
				ﾉｷｼﾉﾌﾞ	+･2			
S1	ｳﾒﾓﾄﾞｷ	1･1		ｱｵﾂﾂﾞﾗﾌｼﾞ	+･2			
	ﾋｻｶｷ	1･1		ﾉｲﾊﾞﾗ	+			
	ﾑﾗｻｷｼｷﾌﾞ	1･1		ｻﾙﾏﾒ	+			
	ﾐﾂﾊﾞｱｹﾋﾞ	+･2		ﾈｽﾞﾐﾓﾁ	+			
	ﾂﾀ	+･2		ｼﾞｬﾉﾋｹﾞ	+			
	ｸﾛｶﾞﾈﾓﾁ	+		ﾐｶﾜﾂﾂｼﾞ	+			
	ﾔﾏﾊｾﾞ	+		ｱｵｷ	+			
	ﾏﾕﾐ	+		ﾅｶﾞﾊﾞｼﾞｬﾉﾋｹﾞ	+			
	ｿﾖｺﾞ	+		ﾔﾏｺｳﾊﾞｼ	+			
	ﾔﾏｺｳﾊﾞｼ	+		ｹｶﾏﾂｶ	+			

植生調査票 （調査地点No.5-1）

調査日 ： 平成23年6月14日

調査地: 愛知郡長久手町大字前熊

群落名: コナラーアベマキ林(スギ混生)

＜土地の概況＞

（地形）斜面	（位置）下	（標高）101m
（斜面方位）N62W	（傾斜）10°	（土壌）褐色森林土
（土湿）適	（風当り）中	（日当り）陽

＜植生概況＞

（階　層）		（優占種）	（高さm）	（植被率%）	（胸高直径cm）	（種数）
T1	高木層	ｺﾅﾗ	7.0～ 12.0	65	15	3
T2	亜高木層					
S1	低木層１	ｲﾇﾂｹﾞ	1.5～ 5.0	70	2	15
H1	草本層１	ｺｼﾀﾞ	～ 0.8	90		21

種数合計：27種

S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S
T1	ｺﾅﾗ	3･3	H1	ｺｼﾀﾞ	5･4			
	ｽｷﾞ	2･2		ｳﾗｼﾞﾛ	2･2			
	ｿﾖｺﾞ	2･2		ｺﾊﾞﾉﾐﾂﾊﾞﾂﾂｼﾞ	1･2			
				ﾉｷﾞﾗﾝ	1･2			
				ﾇﾏｶﾞﾔ	1･2			
S1	ｲﾇﾂｹﾞ	3･3		ﾈｻﾞｻ	1･2			
	ﾋｻｶｷ	2･2		ｻﾙﾏﾒ	1･1			
	ｿﾖｺﾞ	1･1		ｸｻｽｹﾞ	+･2			
	ｽｷﾞ	1･1		ｲｿﾉｷ	+			
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	1･1		ﾔﾏｻﾞｸﾗ	+			
	ｺﾅﾗ	1･1		ﾅﾂﾊｾﾞ	+			
	ｳﾒﾓﾄﾞｷ	1･1		ﾔﾏｳﾙｼ	+			
	ｲｿﾉｷ	+		ｺﾝｺﾞｳﾀﾞｹ	+			
	ﾈｼﾞｷ	+		ｽｷﾞ	+			
	ｱｶﾏﾂ	+		ｳﾒﾓﾄﾞｷ	+			
	ﾅﾂﾊｾﾞ	+		ｿﾖｺﾞ	+			
	ｱﾍﾞﾏｷ	+		ｲﾇﾂｹﾞ	+			
	ﾔﾏｳﾙｼ	+		ﾋｻｶｷ	+			
	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	+		ﾈｼﾞｷ	+			
	ﾊﾞｯｺﾔﾅｷﾞ	+		ﾀｶﾉﾂﾒ	+			
				ﾐｶﾜﾂﾂｼﾞ	+			

植生調査票 （調査地点No.5-2）

調査日 ： 平成23年6月14日

調査地: 愛知郡長久手町大字前熊

群落名: ヌマガヤ群落(貧栄養湿地植生)

＜土地の概況＞

（地形）斜面	（位置）下	（標高）101m
（斜面方位）N78W	（傾斜）15°	（土壌）未熟土
（土湿）湿	（風当り）中	（日当り）陽

＜植生概況＞

（階　層）		（優占種）	（高さm）	（植被率%）	（胸高直径cm）	（種数）
T1	高木層					
T2	亜高木層					
S1	低木層１	ｱｶﾏﾂ	～ 2.3	20		4
H1	草本層１	ﾇﾏｶﾞﾔ	～ 0.5	90		14

種数合計：17種

S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S
S1	ｱｶﾏﾂ	1･1						
	ｱﾍﾞﾏｷ	1･1						
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	1･1						
	ｳﾒﾓﾄﾞｷ	1･1						
H1	ﾇﾏｶﾞﾔ	5･5						
	ｻﾜｼﾛｷﾞｸ	1･2						
	ﾐｽﾞｷﾞﾎﾞｳｼ	1･2						
	ｻﾙﾏﾒ	1･1						
	ﾉｷﾞﾗﾝ	1･1						
	ﾊﾘﾐｽﾞｺﾞｹ	+･2						
	ﾄｳｶｲｺﾓｳｾﾝｺﾞｹ	+･2						
	ｺﾅﾗ	+						
	ﾋｻｶｷ	+						
	ｲｿﾉｷ	+						
	ｺﾊﾞﾉﾄﾝﾎﾞｿｳ	+						
	ｳﾒﾓﾄﾞｷ	+						
	ｲﾇﾂｹﾞ	+						
	ﾀｲﾜﾝｶﾓﾉﾊｼ	+						

植生調査票 （調査地点No.5-3）

調査日 ： 平成23年6月14日

調査地: 愛知郡長久手町大字前熊

群落名: タイワンカモノハシ群落(貧栄養湿地植生)

＜土地の概況＞

(地形) 斜面	(位置) 下	(標高) 101m
(斜面方位) N64W	(傾斜) 14°	(土壌) 未熟土
(土湿) 過湿	(風当り) 中	(日当り) 陽

＜植生概況＞

(階　層)	(優占種)	(高さm)	(植被率%)	(胸高直径cm)	(種数)
T1 高木層					
T2 亜高木層					
S1 低木層１					
H1 草本層１	ﾀｲﾜﾝｶﾓﾉﾊｼ	～ 0.2	20		9

種数合計：9種

S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S
H1	ﾀｲﾜﾝｶﾓﾉﾊｼ	2･2						
	ﾓｳｾﾝｺﾞｹ	1･2						
	ｱﾘﾉﾄｳｸﾞｻ	1･2						
	ﾄｳｶｲｺﾓｳｾﾝｺﾞｹ	+･2						
	ﾇﾏｶﾞﾔ	+･2						
	ｺｲﾇﾉﾊﾅﾋｹﾞ	+･2						
	ｼﾗﾀﾏﾎｼｸｻ	+･2						
	ﾐｽﾞｷﾞﾎﾞｳｼ	+						
	ｲﾇﾂｹﾞ	+						

植生調査票 （調査地点No.6）

調査日 ： 平成23年6月16日

調査地: 愛知郡長久手町大字前熊

群落名: スギ植林

＜土地の概況＞

（地形）斜面	（位置）中	（標高）113m
（斜面方位）S86W	（傾斜）22°	（土壌）褐色森林土
（土湿）適	（風当り）中	（日当り）陽

＜植生概況＞

（階　層）		（優占種）	（高さm）	（植被率%）	（胸高直径cm）	（種数）
T1	高木層	ｽｷﾞ	9.0～ 13.0	50	20	3
T2	亜高木層	ｽｷﾞ	5.0～ 8.0	30	10	5
S1	低木層１	ﾋｻｶｷ	2.0～ 4.0	40	3	10
H1	草本層１	ｺｼﾀﾞ	～ 1.0	90		24

種数合計：29種

S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S
T1	ｽｷﾞ	3･3	H1	ｺｼﾀﾞ	5･4			
	ｺﾅﾗ	2･2		ﾔﾏｳﾙｼ	2･2			
	ｿﾖｺﾞ	1･1		ﾐｶﾜﾂﾂｼﾞ	1･2			
				ﾀｶﾉﾂﾒ	1･1			
				ｿﾖｺﾞ	1･1			
T2	ｽｷﾞ	2･2		ﾋｻｶｷ	1･1			
	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	2･2		ｺﾊﾞﾉﾐﾂﾊﾞﾂﾂｼﾞ	+･2			
	ｺﾅﾗ	1･1		ｽｷﾞ	+･2			
	ｿﾖｺﾞ	1･1		ﾓﾁﾂﾂｼﾞ	+･2			
	ｻｶｷ	+		ｺﾝｺﾞｳﾀﾞｹ	+･2			
				ｻﾙﾏﾒ	+			
				ｳﾒﾓﾄﾞｷ	+			
				ﾜﾗﾋﾞ	+			
				ｲﾇﾂｹﾞ	+			
				ｲｿﾉｷ	+			
S1	ﾋｻｶｷ	3･3		ｴｺﾞﾉｷ	+			
	ﾈｼﾞｷ	1･1		ｽﾀﾞｼﾞｲ	+			
	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	1･1		ｳｽﾉｷ	+			
	ｻｶｷ	+		ｻﾙﾄﾘｲﾊﾞﾗ	+			
	ﾀｶﾉﾂﾒ	+		ﾏﾝﾘｮｳ	+			
	ﾔﾏｳﾙｼ	+		ﾏﾙﾊﾞｱｵﾀﾞﾓ	+			
	ｽﾞﾐ	+		ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	+			
	ｽｷﾞ	+		ｸﾛｶﾞﾈﾓﾁ	+			
	ｳﾒﾓﾄﾞｷ	+		ﾏﾃﾊﾞｼｲ	+			
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	+						

植生調査票 （調査地点No.7）

調査日 ： 平成23年6月15日

調査地: 愛知郡長久手町大字前熊

群落名: アカマツ林(高木林)

＜土地の概況＞

（地形）斜面	（位置）上	（標高）132m
（斜面方位）S60W	（傾斜）20°	（土壌）褐色森林土
（土湿）乾	（風当り）中	（日当り）陽

＜植生概況＞

（階　層）		（優占種）	（高さm）	（植被率%）	（胸高直径cm）	（種数）
T1	高木層	ｱｶﾏﾂ	7.0～ 9.0	40	16	3
T2	亜高木層	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	4.0～ 6.0	30	7	6
S1	低木層１	ﾋｻｶｷ	1.5～ 3.0	50	2	10
H1	草本層１	ｿﾖｺﾞ	～ 1.0	60		22

種数合計：25種

S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S
T1	ｱｶﾏﾂ	2･2	H1	ｿﾖｺﾞ	3･3			
	ｺﾅﾗ	2･2		ﾔﾏｳﾙｼ	3･3			
	ｿﾖｺﾞ	2･2		ﾓﾁﾂﾂｼﾞ	1･2			
				ﾜﾗﾋﾞ	1･1			
				ﾈｼﾞｷ	1･1			
T2	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	3･3		ｽｽｷ	+･2			
	ﾋｻｶｷ	1･1		ｺﾊﾞﾉﾐﾂﾊﾞﾂﾂｼﾞ	+･2			
	ｿﾖｺﾞ	1･1		ｺﾝｺﾞｳﾀﾞｹ	+･2			
	ﾅﾂﾊｾﾞ	1･1		ﾏﾝﾘｮｳ	+			
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	+		ﾀｶﾉﾂﾒ	+			
	ｱｶﾏﾂ	+		ｲｿﾉｷ	+			
				ｲﾇﾂｹﾞ	+			
				ｱｶﾏﾂ	+			
				ｼﾌﾞﾔｻﾞｻ	+			
				ｸｽﾉｷ	+			
S1	ﾋｻｶｷ	3･3		ｻｶｷ	+			
	ﾔﾏｳﾙｼ	2･2		ｻﾙﾄﾘｲﾊﾞﾗ	+			
	ﾓﾁﾂﾂｼﾞ	2･2		ﾋｻｶｷ	+			
	ｹｶﾏﾂｶ	1･1		ｴｺﾞﾉｷ	+			
	ｿﾖｺﾞ	1･1		ｺﾅﾗ	+			
	ﾅﾂﾊｾﾞ	1･1		ﾅﾂﾊｾﾞ	+			
	ｲｿﾉｷ	+		ｻﾙﾏﾒ	+			
	ｲﾇﾂｹﾞ	+						
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	+						
	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	+						

植生調査票 （調査地点No.8）

調査日 ： 平成23年6月15日

調査地: 愛知郡長久手町大字前熊

群落名: コナラーアベマキ林(コナラ優占林)

＜土地の概況＞

（地形）斜面	（位置）下	（標高）118m
（斜面方位）N8E	（傾斜）27°	（土壌）褐色森林土
（土湿）適	（風当り）中	（日当り）中陰

＜植生概況＞

（階　層）		（優占種）	（高さm）	（植被率%）	（胸高直径cm）	（種数）
T1	高木層	ｺﾅﾗ	9.0～ 13.0	85	18	3
T2	亜高木層	ｿﾖｺﾞ	5.5～ 8.0	65	8	4
S1	低木層１	ﾋｻｶｷ	1.5～ 5.0	35	3	6
H1	草本層１	ｺﾊﾞﾉﾐﾂﾊﾞﾂﾂｼﾞ	～ 0.6	35		29

種数合計：30種

S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S
T1	ｺﾅﾗ	4･4	H1	ｿﾖｺﾞ	1･1			
	ｿﾖｺﾞ	2･2		ｺﾊﾞﾉｶﾞﾏｽﾞﾐ	1･1			
	ﾘｮｳﾌﾞ	1･1		ﾋｻｶｷ	1･1			
				ｻﾙﾏﾒ	1･1			
				ﾐｶﾜﾂﾂｼﾞ	+･2			
T2	ｿﾖｺﾞ	4･4		ｱﾏﾂﾞﾙ	+･2			
	ﾘｮｳﾌﾞ	2･2		ﾉｷｼﾉﾌﾞ	+･2			
	ﾋｻｶｷ	2･2		ｺﾝｺﾞｳﾀﾞｹ	+･2			
	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	+		ﾀｶﾉﾂﾒ	+			
				ｲｿﾉｷ	+			
S1	ﾋｻｶｷ	3･3		ｺﾅﾗ	+			
	ﾈｼﾞｷ	2･2		ﾋｶｹﾞｽｹﾞ	+			
	ﾀｶﾉﾂﾒ	+		ｲﾇﾂｹﾞ	+			
	ｿﾖｺﾞ	+		ｳｽﾉｷ	+			
	ﾅﾂﾊｾﾞ	+		ﾏﾝﾘｮｳ	+			
	ｺﾊﾞﾉｶﾞﾏｽﾞﾐ	+		ｻﾜﾌﾀｷﾞ	+			
				ﾀﾁｼｵﾃﾞ	+			
				ﾔﾏﾉｲﾓ	+			
				ﾘｮｳﾌﾞ	+			
				ｻｶｷ	+			
H1	ﾔﾏｳﾙｼ	2･3		ﾈｼﾞｷ	+			
	ｺﾊﾞﾉﾐﾂﾊﾞﾂﾂｼﾞ	2･2		ｱｵﾊﾀﾞ	+			
	ｽｽﾞｶｶﾝｱｵｲ	1･2		ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	+			
	ﾍﾞﾆｼﾀﾞ	1･1		ﾊｼｺﾞｼﾀﾞ	+			
	ｼｼｶﾞｼﾗ	1･1						

植生調査票 （調査地点No.9）

調査日 ： 平成23年6月15日

調査地: 愛知郡長久手町大字前熊

群落名: コナラーアベマキ林(コナラ優占林)

＜土地の概況＞

（地形）谷	（位置）	（標高）94m
（斜面方位）N64E	（傾斜）5°	（土壌）褐色森林土
（土湿）適	（風当り）弱	（日当り）中陰

＜植生概況＞

（階　層）		（優占種）	（高さm）	（植被率%）	（胸高直径cm）	（種数）
T1	高木層	ｺﾅﾗ	16.0～ 22.0	50	30	2
T2	亜高木層					
S1	低木層１	ﾑﾗｻｷｼｷﾌﾞ	1.5～ 5.0	30	4	12
H1	草本層１	ﾍﾞﾆｼﾀﾞ	～ 1.0	95		39

種数合計：41種

S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S	S	Spp.	D･S
T1	ｺﾅﾗ	3･3	H1	ｼﾞｬﾉﾋｹﾞ	1･2	H1	ｺﾓﾁﾏﾝﾈﾝｸﾞｻ	+
	ﾂﾀ	+･2		ﾋｶｹﾞｲﾉｺｽﾞﾁ	1･2		ﾑﾗｻｷｼｷﾌﾞ	+
				ｺｳﾔﾎﾞｳｷ	1･2		ﾍﾋﾞｲﾁｺﾞ	+
				ｼｹｼﾀﾞ	1･1		ﾋｻｶｷ	+
				ｳﾒﾓﾄﾞｷ	1･1		ﾈｽﾞﾐﾓﾁ	+
S	ﾑﾗｻｷｼｷﾌﾞ	2･2		ｹｶﾏﾂｶ	1･1		ｲﾉﾃﾞ	+
	ﾈｽﾞﾐﾓﾁ	2･2		ｽｽﾞｶｶﾝｱｵｲ	1･1		ｷﾞﾌﾍﾞﾆｼﾀﾞ	+
	ｲﾀﾄﾞﾘ	1･2		ﾐﾂﾊﾞｱｹﾋﾞ	+･2		ｵｸﾏﾜﾗﾋﾞ	+
	ﾋｻｶｷ	1･1		ﾄｳﾊﾞﾅ	+･2		ｺﾅﾗ	+
	ｲﾇﾂｹﾞ	1･1		ﾓﾁﾂﾂｼﾞ	+･2			
	ﾓﾁﾂﾂｼﾞ	+･2		ﾉｷｼﾉﾌﾞ	+･2			
	ﾍｸｿｶｽﾞﾗ	+･2		ｷﾂﾞﾀ	+･2			
	ｱｽﾞｷﾅｼ	+		ﾐｶﾜﾂﾂｼﾞ	+･2			
	ﾀｶﾉﾂﾒ	+		ｲﾇﾂｹﾞ	+			
	ﾔﾏﾊｾﾞ	+		ﾄｳｺﾞｸｼﾀﾞ	+			
	ｳﾒﾓﾄﾞｷ	+		ﾔﾜﾗｼﾀﾞ	+			
	ｺﾊﾞﾉｶﾞﾏｽﾞﾐ	+		ﾍｸｿｶｽﾞﾗ	+			
				ﾊﾘｴﾝｼﾞｭ	+			
				ﾔﾏﾊｾﾞ	+			
				ﾄﾎﾞｼｶﾞﾗ	+			
H1	ｺﾁﾁﾞﾐｻﾞｻ	3･4		ﾂﾀ	+			
	ﾍﾞﾆｼﾀﾞ	3･3		ﾊﾘｶﾞﾈﾜﾗﾋﾞ	+			
	ｺﾝｺﾞｳﾀﾞｹ	2･3		ｺﾊﾞﾉｶﾞﾏｽﾞﾐ	+			
	ｲﾀﾄﾞﾘ	2･2		ﾔﾏﾉｲﾓ	+			
	ﾂﾕｸｻ	1･2		ｻﾜﾌﾀｷﾞ	+			

植生調査票 （調査地点No.10）

調査日 ： 平成23年6月15日

調査地: 愛知郡長久手町大字前熊

群落名: マツ枯れ跡地林

＜土地の概況＞

（地形）谷	（位置）上	（標高）122m
（斜面方位）S62W	（傾斜）16°	（土壌）褐色森林土
（土湿）適	（風当り）中	（日当り）陽

＜植生概況＞

（階　層）		（優占種）	（高さm）	（植被率%）	（胸高直径cm）	（種数）
T1	高木層					
T2	亜高木層	ｿﾖｺﾞ	6.0～ 10.0	90	15	8
S1	低木層１	ﾋｻｶｷ	2.0～ 5.5	60	3	15
H1	草本層１	ﾔﾌﾞｺｳｼﾞ	～ 0.5	35		32

種数合計：36種

S	Spp.	D・S	S	Spp.	D・S	S	Spp.	D・S
T2	ｿﾖｺﾞ	4・4	H1	ﾔﾌﾞｺｳｼﾞ	2・3	H1	ﾜﾗﾋﾞ	+
	ﾂﾌﾞﾗｼﾞｲ	+・2		ﾔﾏｳﾙｼ	2・2		ｶﾅﾒﾓﾁ	+
	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	1・1		ｺﾝｺﾞｳﾀﾞｹ	2・2		ｲﾇﾂｹﾞ	+
	ﾀｶﾉﾂﾒ	1・1		ﾀｶﾉﾂﾒ	1・1		ﾏﾝﾘｮｳ	+
	ｺﾅﾗ	+		ｽﾀﾞｼﾞｲ	1・1		ｺｼﾀﾞ	+
	ｱｶﾏﾂ	+		ｳﾊﾞﾒｶﾞｼ	1・1		ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	+
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	+		ﾋｻｶｷ	1・1		ｴｺﾞﾉｷ	+
	ﾋｻｶｷ	+		ﾂﾌﾞﾗｼﾞｲ	1・1			
				ｿﾖｺﾞ	1・1			
				ｻﾙﾏﾒ	1・1			
S1	ﾋｻｶｷ	3・3		ﾉｷｼﾉﾌﾞ	+・2			
	ﾓﾁﾂﾂｼﾞ	1・2		ｳﾗｼﾞﾛ	+・2			
	ﾔﾏﾊｾﾞ	1・1		ﾓﾁﾂﾂｼﾞ	+・2			
	ｿﾖｺﾞ	1・1		ｻﾙﾄﾘｲﾊﾞﾗ	+			
	ｵｷｱｶﾞﾘﾈｽﾞ	+		ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	+			
	ｳﾊﾞﾒｶﾞｼ	+		ﾀﾌﾞﾉｷ	+			
	ｽﾀﾞｼﾞｲ	+		ｱﾗｶｼ	+			
	ｼﾗｶｼ	+		ｺﾅﾗ	+			
	ﾔﾏｳﾙｼ	+		ｼｬﾘﾝﾊﾞｲ	+			
	ｺﾅﾗ	+		ｶｷﾉｷ	+			
	ｼｬｼｬﾝﾎﾞ	+		ﾓｯｺｸ	+			
	ｲｿﾉｷ	+		ｼﾗｶｼ	+			
	ｱｵﾊﾀﾞ	+		ｶｸﾚﾐﾉ	+			
	ｲﾇﾂｹﾞ	+		ｼｼｶﾞｼﾗ	+			
	ﾂﾌﾞﾗｼﾞｲ	+		ﾏﾃﾊﾞｼｲ	+			

樹木 詳細データ （植生調査地点No.1）

樹 種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
コナラ	16.0	10.3	2.5	1.0	3.0	5.0		23.5										
マダケ	14.7	7.3	1.0	1.0	1.0	1.0		5.8										
マダケ	14.1	7.1	1.0	1.0	1.0	1.0		6.5										
マダケ	13.9	7.0	1.0	1.0	1.0	1.0		6.2										
マダケ	13.7	6.8	1.0	1.0	1.0	1.0		7.0										
マダケ	13.7	6.8	1.0	1.0	1.0	1.0		6.5										
マダケ	13.5	6.7	1.0	1.0	1.0	1.0		5.7										
マダケ	13.0	6.2	1.0	1.0	1.0	1.0		5.9										
マダケ	13.0	6.5	1.0	1.0	1.0	1.0		5.5										
マダケ	12.9	6.5	1.0	1.0	1.0	1.0		4.7										
マダケ	12.8	6.4	1.0	1.0	1.0	1.0		6.5										
マダケ	12.8	6.4	1.0	1.0	1.0	1.0		6.4										
マダケ	12.3	6.2	1.0	1.0	1.0	1.0		4.6										
コナラ	12.2	9.0	1.0	4.0	5.0	2.0		18.8	5.4									
マダケ	12.2	6.1	1.0	1.0	1.0	1.0		6.6										
マダケ	12.1	6.0	1.0	1.0	1.0	1.0		4.8										
マダケ	12.1	6.0	1.0	1.0	1.0	1.0		6.0										
マダケ	11.8	5.9	1.0	1.0	1.0	1.0		6.7										
マダケ	11.7	5.8	1.0	1.0	1.0	1.0		6.1										
マダケ	11.5	5.7	1.0	1.0	1.0	1.0		4.1										
マダケ	11.5	5.7	1.0	1.0	1.0	1.0		5.5										
マダケ	11.3	5.6	1.0	1.0	1.0	1.0		5.0										
マダケ	11.3	5.6	1.0	1.0	1.0	1.0	○	6.8										
マダケ	11.2	5.6	1.0	1.0	1.0	1.0		6.1										
マダケ	11.1	5.6	1.0	1.0	1.0	1.0		5.5										
マダケ	11.0	5.5	1.0	1.0	1.0	1.0		6.0										
マダケ	11.0	5.5	1.0	1.0	1.0	1.0	○	6.2										
マダケ	10.9	5.4	1.0	1.0	1.0	1.0		4.9										
マダケ	10.9	5.4	1.0	1.0	1.0	1.0		6.0										
マダケ	10.9	5.4	1.0	1.0	1.0	1.0		5.3										
マダケ	10.8	4.7	1.0	1.0	1.0	1.0		4.7										
マダケ	10.8	5.4	1.0	1.0	1.0	1.0		6.0										
マダケ	10.7	5.7	1.0	1.0	1.0	1.0		5.6										
マダケ	10.7	5.3	1.0	1.0	1.0	1.0		5.2										
マダケ	10.6	4.2	1.0	1.0	1.0	1.0		5.4										
マダケ	10.6	5.3	1.0	1.0	1.0	1.0		4.2										
マダケ	10.6	5.3	1.0	1.0	1.0	1.0		4.2										
マダケ	10.5	5.2	1.0	1.0	1.0	1.0		5.7										
マダケ	10.3	5.1	1.0	1.0	1.0	1.0		5.8										
マダケ	10.2	5.1	1.0	1.0	1.0	1.0		5.7										
マダケ	10.1	5.3	1.0	1.0	1.0	1.0		5.0										
マダケ	10.1	5.0	1.0	1.0	1.0	1.0		5.8										
マダケ	10.0	5.9	1.0	1.0	1.0	1.0		6.3										
マダケ	9.8	4.9	1.0	1.0	1.0	1.0		5.2										
マダケ	9.7	4.8	1.0	1.0	1.0	1.0		4.6										
マダケ	9.7	4.8	1.0	1.0	1.0	1.0		4.0										
マダケ	9.6	5.8	1.0	1.0	1.0	1.0		5.1										
マダケ	9.6	4.1	1.0	1.0	1.0	1.0		4.2										
マダケ	9.6	4.8	1.0	1.0	1.0	1.0		4.2										
マダケ	9.5	4.7	1.0	1.0	1.0	1.0		5.0										

樹木　詳細データ（植生調査地点No.1）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
マダケ	9.4	4.7	1.0	1.0	1.0	1.0		4.6										
マダケ	9.4	4.7	1.0	1.0	1.0	1.0		5.2										
マダケ	9.4	4.7	1.0	1.0	1.0	1.0		5.7										
マダケ	9.4	4.7	1.0	1.0	1.0	1.0		5.4										
マダケ	9.3	4.6	1.0	1.0	1.0	1.0	○	5.2										
マダケ	9.2	5.5	1.0	1.0	1.0	1.0		5.2										
マダケ	9.1	4.5	1.0	1.0	1.0	1.0		5.4										
マダケ	9.0	4.5	1.0	1.0	1.0	1.0		4.0										
マダケ	9.0	4.5	1.0	1.0	1.0	1.0		5.2										
マダケ	9.0	4.5	1.0	1.0	1.0	1.0	○	4.8										
マダケ	8.9	4.5	1.0	1.0	1.0	1.0		4.7										
マダケ	8.9	4.5	1.0	1.0	1.0	1.0		5.2										
マダケ	8.9	4.5	1.0	1.0	1.0	1.0		5.2										
マダケ	8.8	4.4	1.0	1.0	1.0	1.0		6.0										
マダケ	8.8	4.4	1.0	1.0	1.0	1.0	○	5.0										
マダケ	8.7	5.2	1.0	1.0	1.0	1.0		5.4										
マダケ	8.5	4.3	1.0	1.0	1.0	1.0		6.6										
マダケ	8.5	4.3	1.0	1.0	1.0	1.0		5.2										
マダケ	8.4	4.2	1.0	1.0	1.0	1.0		5.1										
マダケ	8.2	4.1	1.0	1.0	1.0	1.0		4.9										
マダケ	8.2	4.1	1.0	1.0	1.0	1.0		4.7										
マダケ	8.2	4.1	1.0	1.0	1.0	1.0		4.3										
マダケ	8.1	4.0	1.0	1.0	1.0	1.0		6.2										
マダケ	8.0	5.0	1.0	1.0	1.0	1.0		6.5										
マダケ	8.0	4.0	1.0	1.0	1.0	1.0		6.0										
マダケ	7.9	4.0	1.0	1.0	1.0	1.0		5.2										
マダケ	7.8	3.9	1.0	1.0	1.0	1.0		5.2										
マダケ	7.7							4.1										枯れ
マダケ	7.6	3.8	1.0	1.0	1.0	1.0		4.3										
オキアガリネズ	7.5	5.4	0.8	0.8	0.8	0.8		6.5										
マダケ	7.5	3.7	1.0	1.0	1.0	1.0		3.8										
コナラ	7.1							7.1										枯れ
マダケ	7.0	3.5	1.0	1.0	1.0	1.0		4.5										
マダケ	7.0	3.5	1.0	1.0	1.0	1.0		5.4										
シャシャンボ	6.7	2.8	0.5	0.5	0.5	0.5		8.2	5.8									樹勢が低下している
マダケ	6.7							5.5										枯れ
シャシャンボ	6.5	5.1	1.5	1.0	0.5	1.0		9.0	5.8									又
不明	6.3							9.7										枯れ
オキアガリネズ	6.2							5.4										枯れ
シャシャンボ	6.0							4.2										枯れ
マダケ	6.0							4.4										枯れ
マダケ	5.9							5.6										枯れ
シャシャンボ	5.5							5.7										枯れ
マダケ	5.5							2.8										枯れ
ネジキ	5.3	3.5	1.0	1.0	2.0	1.5		6.4	2.4									又
ネジキ	4.6	2.8	2.0	2.0	-1.0	-1.0		5.2										
ヒサカキ	4.5	2.7	1.5	1.0	3.0	3.0		5.5	2.7	3.9	3.2							
ヒサカキ	4.4	3.0	1.5	1.0	1.0	2.0	○	6.3	6.2	2.1	1.5	0.5						
ネジキ	4.1	3.0	1.0	1.0	1.0	1.0		3.1										
ネジキ	4.0	2.4	1.5	1.5	0.0	0.0		2.8										

樹木　詳細データ（植生調査地点No.1）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
マダケ	4.0							6.6										枯れ
ヒサカキ	3.8	1.6	2.0	1.5	0.0	0.8		3.6	2.2									
ヒサカキ	3.7	2.8	1.5	1.0	1.5	2.0	○	5.2	4.2									
ネジキ	3.5							2.5										枯れ
ヒサカキ	3.3	2.5	0.0	1.0	1.0	0.5		2.9										
サカキ	3.2	1.8	0.8	0.8	0.8	0.8		2.4	2.2									
ヒサカキ	3.2	2.2	0.5	1.0	1.0	0.5		2.2	2.1									
ヒサカキ	3.2	2.6	1.0	1.5	0.5	1.0		3.0	2.7									
オキアガリネズ	3.0							3.6										枯れ
ネジキ	3.0							2.1										枯れ
ネジキ	3.0	1.8	0.5	1.0	1.0	0.5		3.0										
ヒサカキ	2.9	1.4	1.0	1.5	0.0	0.5	○	2.2	1.0	0.8	1.3							
ヒサカキ	2.8	1.6	1.0	1.0	1.0	1.5		2.5	2.3									
ヒサカキ	2.8	2.5	0.5	1.5	0.5	0.0		3.0										
ヒサカキ	2.8	2.0	0.5	0.5	0.5	0.5		1.8										
ネジキ	2.6	2.4	1.0	0.5	0.5	1.0		1.8										
ヒサカキ	2.6	2.5	1.5	1.0	0.5	0.5		3.0	2.9	1.8	1.8							
ヒサカキ	2.6	1.6	0.0	0.5	1.0	0.5		2.1	1.7									
ヒサカキ	2.5	2.1	0.5	0.5	0.5	1.0		2.1										
ヒサカキ	2.5	2.1	1.0	1.0	0.0	1.0		2.4										
ヒサカキ	2.5	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8		1.4										
ヒサカキ	2.5	1.4	2.0	0.5	1.0	1.5	○	1.9										
ネジキ	2.4							1.9										枯れ
ヒサカキ	2.4	1.8	1.0	1.0	0.0	0.0		1.6										
ヒサカキ	2.4	2.0	0.8	0.8	0.8	0.8		2.0										
ヒサカキ	2.4	1.5	-0.5	1.0	2.0	0.5		2.2										
ヒサカキ	2.4	1.8	0.0	0.5	1.5	1.0		2.8										
ヒサカキ	2.4	1.8	0.3	0.3	0.3	0.3		2.2										
オキアガリネズ	2.3							1.7										枯れ
ヒサカキ	2.2	2.0	0.5	0.0	0.0	0.5		1.9	1.1									
ヒサカキ	2.2	1.4	0.7	0.7	0.7	0.7		2.2										
オキアガリネズ	2.0							2.8										枯れ
ソヨゴ	2.0	1.0	0.3	0.3	0.3	0.3		0.4										
ヒサカキ	2.0	1.4	0.8	0.8	0.8	0.8		0.8										
ヒサカキ	1.9	1.1	0.8	0.8	0.8	0.8		0.7										
ネジキ	1.8	1.6	0.3	0.3	0.3	0.3		0.8										
オキアガリネズ	1.7							1.7										枯れ
サカキ	1.7	1.0	0.6	0.6	0.6	0.6	○	0.8										
ヒサカキ	1.7	0.8	0.3	0.3	0.3	0.3		0.6										
ヒサカキ	1.6	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7	○	0.5										
ヒサカキ	1.5	1.2	0.3	0.3	0.3	0.3		1.1										
ヒサカキ	1.5	1.3	0.2	0.2	0.2	0.2		1.2	1.1									又

樹木　詳細データ（植生調査地点No.2）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
アベマキ	17.7	11.6	6.0	3.5	8.0	7.0		43.0	37.5									
コナラ	16.5	12.0	5.0	3.0	5.0	3.5		28.8										
アベマキ	16.1	11.4	1.5	1.0	3.0	2.5		21.1										
アベマキ	15.3	11.4	3.5	3.0	2.5	2.5		22.8										
アベマキ	14.9	11.8	2.5	2.5	2.5	2.0		25.6										
アベマキ	14.8	12.0	3.5	3.0	3.0	2.0		26.5										
アベマキ	13.0	10.3	1.0	1.5	3.0	5.0		25.6										
アベマキ	12.1	9.4	4.0	5.0	0.0	-2.0		22.8	10.0									
アベマキ	11.5	5.4	3.5	4.0	1.5	0.0		25.5										
タカノツメ	10.8	3.8	5.0	6.0	2.0	3.0		26.1										
アベマキ	10.2	6.8	0.0	2.0	3.0	2.0		16.3										
ソヨゴ	9.9	6.9	3.0	3.5	3.5	3.5		15.7	11.3	2.5								
ソヨゴ	8.9	4.8	2.5	2.0	2.5	2.5	○	11.8	8.6	3.7								
シャシャンボ	8.7	5.7	1.0	2.0	2.0	1.0		11.8										
タカノツメ	8.3	3.0	1.0	1.0	2.5	2.0		7.8	3.8									
ヤマウルシ	7.3	5.1	0.0	1.5	1.5	0.5		3.5										
ソヨゴ	7.0	1.3	2.0	2.5	1.5	1.0		10.1	4.7	0.8								
タカノツメ	7.0	4.5	2.0	2.0	0.5	0.5		6.4										
ネジキ	6.4	3.2	1.5	1.0	1.5	2.0		7.8										
ネジキ	5.4	1.2	0.5	1.0	1.5	0.5	○	5.1	1.8	1.8								
ソヨゴ	5.0	3.6	0.5	2.5	0.5	0.0		4.0	1.5	1.6	0.8							
ネジキ	4.9	3.8	2.0	1.5	0.0	0.5		6.4										
ヒサカキ	4.9	1.8	1.5	1.5	0.0	0.0		3.6	1.8									
タカノツメ	4.8	3.5	1.0	2.0	1.0	0.5		3.9										
ネジキ	4.7	3.0	0.5	1.0	2.0	2.5		6.0										
アカマツ	4.6							15.3										枯れ
ソヨゴ	4.6	3.5	1.0	1.0	1.0	1.0		3.2										
オキアガリネズ	4.0							4.1										枯れ
ネジキ	4.0	2.2	0.5	0.5	0.5	0.5		2.2										樹勢が低下している
ヒサカキ	4.0	1.2	1.0	1.5	0.5	0.5		4.8										
タカノツメ	3.8	1.8	2.0	0.5	0.0	1.0	○	4.0										
ヒサカキ	3.8	1.4	0.0	2.0	1.0	1.0		4.4	3.5	3.2								
ヒサカキ	3.7	2.6	0.8	0.5	1.0	1.0		4.1	1.6	1.4	1.2							
ヒサカキ	3.4	1.8	0.0	1.0	1.5	1.0		3.6										
オキアガリネズ	3.3							2.2										枯れ
ネジキ	3.3							5.4										枯れ
オキアガリネズ	3.2							1.7										枯れ
ケカマツカ	3.2	2.2	0.5	0.5	0.5	0.0		1.2										
ヒサカキ	3.2	1.0	0.6	0.6	0.6	0.6		3.2	1.8	1.5	0.8	0.8						
オキアガリネズ	3.0							1.8										枯れ
ヒサカキ	3.0	2.4	0.0	0.5	1.0	1.0		2.6	1.4									
サカキ	2.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0		2.8										
ネジキ	2.8	1.6	0.5	0.5	0.0	0.0		2.4										
タカノツメ	2.6	1.8	0.5	1.0	0.0	0.0		1.4										
ヒサカキ	2.5	2.1	1.0	0.5	-0.5	0.5		1.7										
ネジキ	2.4	1.6	0.5	0.0	0.5	1.0		2.0										
ネジキ	2.2	1.4	0.5	0.0	0.0	0.5		1.2										
オキアガリネズ	2.0							1.8										枯れ
ソヨゴ	1.8	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6		0.5										樹勢が低下している
タカノツメ	1.8	1.1	0.0	0.5	1.0	0.5		1.0										

樹木 詳細データ （植生調査地点No.2）

樹 種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
タカノツメ	1.8	1.1	0.5	0.8	0.0	0.0		1.2										
ミヤマガマズミ	1.6	0.8	-0.5	0.5	1.0	0.0		0.5										

樹木　詳細データ（植生調査地点No.3）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
コナラ	13.2	8.2	2.5	2.0	2.5	3.0		22.5										
コナラ	12.4	8.0	1.5	1.5	3.5	3.0		21.5										
コナラ	10.2	7.7	2.0	2.0	5.0	3.0		26.5										樹勢は低下している
アベマキ	9.5	7.1	3.0	1.0	1.0	4.0		14.5										
ソヨゴ	9.4	6.0	5.5	3.0	3.0	2.0		13.5	12.0	13.5	6.8	13.0						
ソヨゴ	9.4	5.3	1.0	2.0	2.0	0.0	○	11.0										
ソヨゴ	9.0	6.3	2.5	1.5	1.0	1.0	○	12.0										
ソヨゴ	8.8	5.8	1.5	1.5	2.0	1.5	○	12.6										
タカノツメ	8.8	4.0	1.5	1.0	2.5	2.0	○	11.0										
ソヨゴ	7.8	4.5	2.0	1.5	1.0	1.5	○	12.0	8.5									
ネジキ	7.8	4.1	0.5	2.5	2.0	1.5		7.5	7.0	3.2								
カスミザクラ	7.3							13.5										胴吹き、ほとんど枯れ
ソヨゴ	7.2	5.9	0.0	1.5	3.5	2.5		17.0	1.8	1.2	1.5	1.5						
シャシャンボ	7.1	4.6	1.5	2.0	4.0	2.0		13.7	10.5	13.5								
シャシャンボ	6.9	4.8	0.5	0.0	1.0	2.5		5.5										
アオハダ	6.7	4.9	0.0	2.0	4.5	2.0		13.0	7.0									
ヒサカキ	6.7	4.4	0.6	0.6	0.6	0.6		3.6	2.0									
オキアガリネズ	6.5	4.8	0.7	0.7	0.7	0.7		7.3										
オキアガリネズ	6.3	5.2	0.6	0.6	0.6	0.6		5.8										
コナラ	6.3	4.8	-1.5	0.0	3.0	3.0		13.0										
シャシャンボ	6.0	3.5	1.0	1.5	1.5	1.5		7.0										
ネジキ	6.0	4.2	0.5	2.0	1.5	-1.0		5.6										
ヒサカキ	5.9	2.8	0.5	1.5	2.0	1.0		6.0	3.5	2.4	1.3	3.2	1.4	1.2	1.2	2.8		
ヒサカキ	5.8	3.9	1.0	1.5	1.0	1.0		4.3										
ヒサカキ	5.8	4.0	0.5	1.5	2.5	1.0		4.8	4.3									
ヒサカキ	5.8	4.4	1.0	1.5	3.0	1.0		5.0	3.5									
ヒサカキ	5.8	3.8	0.0	1.5	2.0	1.0		5.0	5.0	2.0								
ヤマウルシ	5.8	5.4	-2.0	1.5	3.0	1.0		5.0										
ネジキ	5.7	2.0	1.0	1.0	2.0	1.5		3.6	3.2									
ヒサカキ	5.5	3.8	1.2	1.2	1.2	1.2		4.2										
ヒサカキ	5.5	4.4	0.0	1.5	1.5	1.0		6.0										
ヤマウルシ	5.5							6.0										枯れ
ヒサカキ	5.3	3.4	0.0	1.5	1.5	1.5		5.3	3.6									
ヒサカキ	5.2	3.6	1.0	1.5	1.0	1.5		4.2	3.8	3.5								
ヒサカキ	5.2	3.6	0.5	1.5	1.5	1.0		3.4										
ヒサカキ	5.1	3.6	-0.5	2.5	2.0	-1.5		4.0										
ヒサカキ	5.0	4.0	0.0	1.0	2.0	1.0		5.0	3.5									又
ヒサカキ	4.9	2.7	-1.0	2.0	2.0	1.5		5.0	4.0	2.0	1.2							
ヒサカキ	4.8	4.2	1.0	2.0	0.0	2.0		3.8										
ヒサカキ	4.8	3.4	0.0	1.0	1.5	1.0		4.3	2.2									
ソヨゴ	4.7	3.4	0.0	2.0	4.0	2.0		9.3										
ヒサカキ	4.6	3.7	1.0	1.0	1.0	1.0		4.7										
ヒサカキ	4.6	4.1	0.0	2.0	2.0	0.0		3.9	1.3									
ヒサカキ	4.6	3.6	1.0	1.0	1.0	1.0		3.6	3.2	2.4								
ヒサカキ	4.6	3.3	1.2	1.2	1.2	1.2		3.2										
ヒサカキ	4.6	3.4	0.0	1.5	2.0	1.0		3.4										
カクレミノ	4.5	3.8	0.8	0.8	0.8	0.8		2.0										
ヒサカキ	4.4	2.8	1.5	1.0	1.5	1.0		2.4	1.8	2.2	1.2							
ヒサカキ	4.4	3.0	0.5	2.0	1.0	0.0		3.5										
ヒサカキ	4.4	2.7	-1.5	2.0	3.5	0.0		6.7	3.5	1.5	0.8							

樹木 詳細データ（植生調査地点No.3）

樹種	樹高(m)	枝下高(m)	樹冠の広がり(m)				調査区外	胸高直径(cm)										備考(株数、樹勢等)
			+Y	+X	−Y	−X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ヒサカキ	4.3	3.6	0.0	2.0	1.5	1.0		4.8										
ヒサカキ	4.2	2.4	0.5	0.5	1.5	1.0		3.4										
ヒサカキ	4.2	3.4	0.0	1.0	1.0	0.0		3.0										
ヒサカキ	4.2	2.9	0.5	1.0	1.0	0.5		3.2										
ヒサカキ	4.2	3.4	0.5	0.5	0.5	0.5		2.5										
ヒサカキ	4.2	3.4	0.0	1.0	2.0	0.5		3.7										
ヒサカキ	4.2	3.2	0.8	0.8	1.5	1.5		4.3	3.5	2.5	1.4	2.6						
オキアガリネズ	4.0							5.5	3.5									枯れ、又
サクラ属の一種	4.0							7.0										枯れ
ヒサカキ	4.0	2.5	0.5	0.5	0.5	1.0		3.0										
ヒサカキ	4.0	2.8	0.5	0.5	1.0	1.5		3.6	1.4									
ヒサカキ	3.9	3.0	0.0	1.5	1.0	1.5		3.5	2.2									
ヒサカキ	3.8	2.8	1.0	1.0	1.0	1.0		28.0	1.4									
ヒサカキ	3.8	3.0	0.5	1.0	1.5	2.0		3.5	1.4	1.3	1.0	1.3						
ヒサカキ	3.7	3.2	0.0	2.0	1.5	1.0		3.6										
オキアガリネズ	3.6							5.3										枯れ
ネジキ	3.6	2.4	0.5	0.5	0.5	0.5		3.0										
ヒサカキ	3.6	3.2	1.0	1.0	1.0	1.0		2.6										
ソヨゴ	3.5	1.6	1.2	1.2	1.2	1.2		3.0	2.5	0.8								
ヒサカキ	3.5	3.0	1.5	1.0	0.5	1.0		4.6										
ヒサカキ	3.5	3.0	0.8	0.8	0.8	0.8		2.4										
ヒサカキ	3.5	2.8	0.5	0.5	2.0	1.5		4.0	2.2									
ヒサカキ	3.5	2.8	−0.5	1.5	2.0	0.0		3.5										
ヒサカキ	3.5	2.0	1.0	0.5	0.5	1.0		3.5	1.8	2.4	2.0							
ネジキ	3.4							2.0										枯れ
ヒサカキ	3.4	2.6	1.5	0.5	1.0	1.5		3.4										
ヒサカキ	3.4	2.5	1.0	2.0	2.0	0.0		3.0	2.5	2.2	2.3	1.3						
ヒサカキ	3.4	2.8	0.0	0.5	1.5	1.5		3.0										
ヒサカキ	3.3	2.9	1.0	1.0	1.0	1.0		2.7										
ヒサカキ	3.3	2.2	1.0	1.5	1.0	0.5		2.8	2.5	1.8								
ヒサカキ	3.3	2.0	0.5	0.5	0.5	0.5		2.2										
ソヨゴ	3.2	2.4	1.0	2.5	−0.5	−1.5		2.8										
ヒサカキ	3.2	2.8	0.0	0.0	1.0	0.5		1.8										
ヒサカキ	3.2	1.8	0.0	1.5	1.0	0.0		2.4										
ヒサカキ	3.0	2.6	0.8	1.0	0.3	1.0		2.4										
ヒサカキ	3.0	2.6	1.0	1.0	1.0	1.0		2.5										
ヒサカキ	3.0	2.6	0.3	0.3	0.3	0.3		1.6										
ヒサカキ	3.0	2.6	1.0	−0.5	0.0	1.5		1.5	1.5									
ヒサカキ	3.0	2.4	0.5	0.5	0.5	0.5		2.0	1.5	1.5								
ヒサカキ	2.9	2.2	0.0	1.0	1.0	1.5	○	2.6										
ヒサカキ	2.8	2.0	1.0	0.8	0.3	0.5		2.0	2.0									
ヒサカキ	2.8	2.6	0.3	0.3	0.3	0.3		1.8										
ヒサカキ	2.8	2.5	0.0	1.0	1.5	1.0		3.0										
ヒサカキ	2.8	2.2	0.0	0.0	1.0	1.0		2.5										
ヒサカキ	2.8	2.6	0.8	0.8	0.8	0.8		3.2	2.8									
ヒサカキ	2.7	1.8	0.5	0.5	0.5	0.5		1.8	1.8	1.4								
ヒサカキ	2.6	2.0	0.5	0.5	0.5	0.5		2.2										
ヒサカキ	2.6	1.2	0.5	0.5	0.5	0.5		2.2										
ヒサカキ	2.5	2.4	0.0	0.0	0.5	0.5		1.8										
ヒサカキ	2.5	2.1	0.4	0.4	0.4	0.4		2.2										

樹木 詳細データ（植生調査地点No.3）

樹種	樹高(m)	枝下高(m)	樹冠の広がり(m)				調査区外	胸高直径(cm)										備考(株数、樹勢等)
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ネジキ	2.4							6.8										枯れ
ヒサカキ	2.4	2.0	1.0	1.0	0.5	0.5		1.8										
ヒサカキ	2.4	2.0	0.5	0.5	0.5	0.5		2.0										
ヒサカキ	2.4	1.6	0.0	0.0	0.5	1.0		3.2										
ヒサカキ	2.4	2.2	0.4	0.4	0.4	0.4		1.8	0.8									
ヒサカキ	2.4	1.8	0.3	0.3	0.3	0.3		1.2										
ヒサカキ	2.4	1.5	0.5	1.0	0.5	0.5		1.8	1.5	1.5								
ヒサカキ	2.4	2.0	0.3	0.3	0.3	0.3		1.5										
ヒサカキ	2.3	1.6	0.6	0.6	0.6	0.6		2.2										
ヒサカキ	2.2	1.4	0.5	0.5	0.5	0.5		1.2										
ヒサカキ	2.2	1.7	0.8	0.8	0.8	0.8		1.6										
ヒサカキ	2.2	1.2	0.4	0.4	0.4	0.4		1.2										
ヒサカキ	2.1	1.9	0.8	0.8	0.8	0.8		2.2										
ヒサカキ	2.0	1.8	0.5	0.5	0.5	0.5		1.2										
ヒサカキ	2.0	1.2	0.6	0.6	0.6	0.6		2.0	1.2	1.2	1.2							
ヒサカキ	1.9	1.6	0.6	0.6	0.6	0.6		1.8	1.8									
ヒサカキ	1.8	1.4	0.5	0.5	0.5	0.5		1.0										
ヒサカキ	1.7	1.5	0.6	0.6	0.6	0.6		1.8										
ヒサカキ	1.6	1.4	0.0	1.0	0.8	0.0		1.6										
ヒサカキ	1.6	1.0	0.0	0.8	0.5	0.0		1.5										
ヤマウルシ	1.6	1.5	0.3	0.3	0.3	0.3		0.5										
ヒサカキ	1.5	1.2	0.2	0.2	0.2	0.2		1.0										
ヒサカキ	1.5	1.0	0.6	0.6	0.6	0.6		1.4										
ヒサカキ	1.4	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7		1.4										
ヒサカキ	1.4	0.6	0.0	0.0	1.0	1.0		0.8										
ヒサカキ	1.4	1.2	0.3	0.3	0.3	0.3		1.2										

樹木　詳細データ（植生調査地点No.4）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ハンノキ	16.7	11.4	2.0	3.0	2.0	3.0		21.0	19.4									
ハンノキ	15.9	10.9	6.0	-1.0	0.0	5.0		30.5	16.3									
コナラ	15.5	11.7	5.0	5.0	4.0	6.0		36.3										
ハンノキ	15.4	12.5	2.0	0.0	1.0	2.0		21.0										
ハンノキ	15.0	11.5	5.0	3.0	0.5	3.0		29.5										
ハンノキ	14.7	10.1	4.0	4.5	1.0	2.0		23.5	21.5									
ハンノキ	14.5	9.5	1.0	3.3	2.0	2.5		19.7										
ハンノキ	10.9	7.4	4.0	0.0	2.0	4.0		16.7										
オキアガリネズ	7.8	3.1	1.5	1.0	0.5	1.5	○	10.0										
アカメガシワ	6.9	4.7	5.5	3.5	3.0	3.0	○	15.0										
イソノキ	6.1	4.2	4.0	2.5	0.0	1.0		9.8										
ヤマハゼ	6.0	5.1	1.5	0.0	2.5	2.0		4.8										
コナラ	5.8	3.0	1.0	2.0	3.5	0.5	○	8.1										
コナラ	5.5	2.5	3.0	2.3	2.5	1.5		8.0	6.2	4.2								
ヒサカキ	5.5	2.4	2.5	2.0	1.5	2.5		6.3	5.9	4.3	3.6							
ヤマハゼ	5.5	4.5	2.5	1.0	0.5	2.5		6.2										
ヤマハゼ	5.5	4.0	1.5	2.5	1.0	0.5	○	4.0										
アカメガシワ	4.5	2.9	6.0	3.0	-1.5	2.0	○	12.7										
コナラ	4.0	2.7	3.5	1.5	0.5	2.0		6.2										
ヒサカキ	4.0	1.6	1.5	1.5	1.0	1.0	○	5.0	4.3	2.9								
ヤマハゼ	4.0	2.8	-1.5	2.0	2.5	0.5		2.7										
ヒサカキ	3.3	1.7	1.5	2.0	1.0	1.5	○	7.0	3.4									
ウメモドキ	3.2	2.0	1.0	0.5	0.5	1.0		2.4	1.8	1.3	1.2	1.0						
マユミ	3.2	1.5	0.5	1.0	0.5	0.5		1.5										
ヤマハゼ	3.2	2.8	1.0	0.0	0.0	1.5		1.1										
ヤマハゼ	3.2	2.0	3.5	1.0	-2.0	0.5		3.0										
エゴノキ	3.0							3.6										枯れ
ムラサキシキブ	3.0	1.6	1.0	1.0	1.0	1.0		1.8	0.9	0.8	0.6							
クロガネモチ	2.6	2.1	0.5	0.5	0.5	1.0		1.1										
ウメモドキ	2.3	1.7	0.3	0.5	0.3	0.0		1.9	1.8									
ソヨゴ	2.2	1.6	1.0	1.0	0.0	0.5		3.0	1.1									
ヒサカキ	2.0	1.5	1.0	1.0	1.0	1.0	○	2.4										
ムラサキシキブ	2.0	1.2	0.0	0.5	1.0	0.2		1.0										
ヤマコウバシ	2.0	1.3	0.0	0.3	0.5	0.6		0.8										
ヤマハゼ	2.0	1.4	0.0	0.8	1.0	0.5		1.0										
ウメモドキ	1.8	1.2	0.3	0.3	0.3	0.3		0.9										
ヤマコウバシ	1.8	1.3	0.0	0.5	0.8	0.3		1.0										

樹木　詳細データ（植生調査地点No.5）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ソヨゴ	11.9	4.0	0.5	1.0	2.0	2.5		14.4										
スギ	11.0	1.2	1.5	3.0	2.0	1.5	○	17.2										
コナラ	10.6	5.4	0.0	1.0	4.0	5.0	○	15.0										
ソヨゴ	9.8	3.5	1.0	1.0	3.5	4.0	○	11.8										
コナラ	8.7	5.4	-1.5	3.0	4.5	1.0	○	13.5										
ソヨゴ	8.6	2.0	2.5	1.5	3.5	3.0		18.4	11.3	5.6	5.4							
コナラ	8.3	4.6	0.0	1.0	4.0	1.0	○	10.2										
スギ	8.3	6.1	1.0	0.0	1.0	2.0		7.7										
スギ	8.0	0.8	0.5	1.0	1.0	1.5		8.1										
スギ	7.5	1.6	0.5	0.5	0.5	0.5		6.6	2.1									
オキアガリネズ	5.5	3.3	0.3	1.0	1.0	0.0		3.7										
スギ	5.3	2.4	0.3	0.3	0.3	0.3		3.4										
オキアガリネズ	5.0	1.6	1.0	1.0	1.0	1.0		6.0										
スギ	5.0	3.5	-1.5	-1.5	2.5	2.5		4.2										
イヌツゲ	4.7	2.2	0.7	0.7	0.7	0.7		3.9										
コナラ	4.7	3.0	-1.0	1.0	3.0	1.5	○	6.8										
スギ	4.5	1.0	1.0	1.0	1.5	1.5		4.2										
アカマツ	4.2	2.2	0.0	2.5	1.5	-1.5	○	4.5										
ソヨゴ	3.8	2.0	-1.0	1.5	3.0	1.0	○	5.6										
イソノキ	3.6	3.2	-1.5	1.0	2.5	0.0	○	2.5										
イヌツゲ	3.5	1.7	0.0	0.8	1.0	1.0		3.3	2.5									
イヌツゲ	3.5	1.6	0.0	1.0	2.0	0.0	○	5.3	4.5	3.2	3.2	2.3	2.2	2.0				
ウメモドキ	3.5	2.5	-1.0	-1.5	3.0	2.5		2.1	2.1	1.7	0.6	1.6						
コナラ	3.5	1.6	-1.5	-2.0	4.0	3.5	○	10.2										
イヌツゲ	3.3	1.4	0.0	1.5	2.0	0.0		2.5	1.5	1.3								
イヌツゲ	3.3	2.3	0.5	1.0	1.0	1.0	○	1.8	1.7									
ヒサカキ	3.1	1.4	0.5	0.0	0.5	1.0	○	3.2										
イヌツゲ	3.0	2.0	0.3	0.3	0.3	0.3		2.6	0.9									
イヌツゲ	3.0	1.4	0.0	0.5	1.5	0.0		1.7	0.8									
コナラ	3.0	2.0	-3.5	0.5	4.5	2.0	○	6.0										
ソヨゴ	3.0	1.8	1.0	0.0	0.5	1.0		2.8										
ヒサカキ	3.0	1.6	0.6	0.6	0.6	0.6		1.7										
ヒサカキ	3.0	1.9	0.0	0.5	1.0	0.5		1.4										
イヌツゲ	2.9	1.5	0.0	0.5	1.0	0.0		1.9	1.8	1.5	1.1	0.9						
ネジキ	2.8	1.6	0.0	0.8	0.8	0.5	○	1.2	1.1									
ネジキ	2.6	1.8	-2.0	-1.0	3.5	2.5	○	7.0										
ヒサカキ	2.6	1.4	1.5	1.0	1.5	1.0	○	1.7	1.7	1.2								
ナツハゼ	2.5	1.7	0.0	1.0	1.0	0.5	○	1.3	1.2	0.5								
イヌツゲ	2.4	2.0	0.4	0.4	0.4	0.4		2.5										
イヌツゲ	2.4	1.7	0.5	1.0	1.0	0.0		1.6										
ウメモドキ	2.4	2.0	0.3	0.5	0.0	-0.3	○	1.1	0.8									
オキアガリネズ	2.4	0.5	0.2	0.2	0.2	0.2		1.3										
ヒサカキ	2.4	1.6	0.0	2.5	0.5	3.5	○	2.8										倒れている
ヒサカキ	2.4	1.6	0.8	0.8	0.8	1.0		1.9										
アベマキ	2.3	1.4	0.5	0.0	0.0	1.0		2.0										
イヌツゲ	2.3							1.4										ほとんど枯れ
スギ	2.3	1.0	0.5	0.0	0.5	1.0		1.8										
イヌツゲ	2.2	1.4	0.0	0.8	1.5	0.0		2.1										
ウメモドキ	2.2	1.6	0.3	0.0	0.3	0.8		1.1	0.7	0.5	0.6							
ヒサカキ	2.2	1.2	0.3	0.3	0.3	0.3		1.0										

樹木　詳細データ（植生調査地点No.5）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ヒサカキ	2.2	1.2	0.3	0.3	0.3	0.3		1.5	1.5	1.0								
オキアガリネズ	2.0	1.0	−0.5	−0.5	1.5	1.5		1.4										
ネジキ	2.0	1.0	0.3	0.0	0.3	0.5		0.6										
オキアガリネズ	1.9	1.6	0.2	0.2	0.2	0.2		0.6										
アカマツ	1.8	0.8	−1.0	−0.5	2.0	1.5		2.3	0.9									
ヒサカキ	1.8	1.0	0.5	0.5	0.5	1.0		1.2										
ヒサカキ	1.8	1.3	0.2	0.2	0.2	0.2		0.5										
ヒサカキ	1.8	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	○	1.4	0.9									
ヤマウルシ	1.8	1.6	0.2	0.2	0.2	0.2		0.5										
アカマツ	1.7	0.4	0.5	0.5	0.5	0.5		1.2										
ネジキ	1.7	1.1	0.3	0.3	0.3	0.3		1.1										
ヒサカキ	1.7	1.0	0.0	0.3	0.5	0.5		1.2										
ヤマウルシ	1.6	1.4	0.3	0.3	0.3	0.3		1.2										
シャシャンボ	1.5	1.0	0.5	1.5	0.0	0.0	○	1.7										
バッコヤナギ	1.2	0.8	0.5	−0.1	0.0	2.0		2.6										

樹木　詳細データ（植生調査地点No.6）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
コナラ	12.9	6.9	3.0	2.0	4.0	3.5	○	27.0										
スギ	12.6	5.8	1.5	1.5	1.5	2.0	○	23.0										
スギ	11.8	6.1	2.0	2.0	2.0	2.0		18.0										
コナラ	11.7	5.4	4.0	3.5	3.5	2.5	○	21.0										
コナラ	9.9	6.6	1.5	2.0	1.0	0.0		14.1										
スギ	9.8	1.8	1.0	2.0	2.0	1.5		15.5	7.8									
スギ	9.6	5.5	1.0	2.0	2.0	1.5		15.0										
ソヨゴ	9.3	4.0	2.0	3.5	2.5	2.5	○	13.2										
スギ	9.0	3.5	1.5	1.5	1.5	1.5		12.7	2.0									
スギ	8.8	3.0	0.5	1.0	2.0	1.5		13.5										
スギ	8.8	2.8	1.0	1.0	1.0	1.0		9.0										
コナラ	8.0							8.8										枯れ
スギ	7.9	4.4	0.5	2.0	2.0	1.5		13.0										
ソヨゴ	7.5	4.7	1.0	3.0	2.5	2.0		9.8	1.5	0.9								
ソヨゴ	7.4	1.6	0.0	2.0	5.0	1.5		12.3										
スギ	7.1	3.5	1.0	1.0	1.0	1.0		8.0										
アカマツ	7.0							17.0										枯れ
スギ	6.9	3.8	0.8	0.8	0.8	0.8		4.4										
シャシャンボ	6.8	4.1	2.0	3.0	3.5	2.5		9.4	8.0	8.7								
アカマツ	6.5							8.0										枯れ
シャシャンボ	6.3	4.7	1.0	2.0	1.0	2.0		7.5	6.0	3.0								
スギ	5.8	5.0	0.7	0.7	0.7	0.7		5.0										
ソヨゴ	5.4	1.8	-1.5	3.0	3.5	0.0		7.0										
コナラ	5.2	2.4	0.0	0.0	1.5	3.0		13.0										樹勢が低下している
スギ	5.2	2.4	0.3	0.3	0.3	0.3		2.9										
サカキ	5.0	1.8	1.5	1.5	2.0	2.0		11.3	10.8									
シャシャンボ	5.0	4.0	0.0	0.5	2.5	0.5		7.0										
スギ	5.0							3.8										枯れ
スギ	4.8	3.0	0.5	0.5	1.0	1.0		4.6										
シャシャンボ	4.5	3.2	0.0	-1.0	1.5	2.0		6.0										
スギ	4.5	2.4	0.5	0.5	1.0	0.0		3.8										
シャシャンボ	4.3	3.5	1.5	0.0	0.0	1.5		4.8	2.8									
ズミ	4.0	3.8	0.0	0.0	1.5	1.5	○	1.8										
ヒサカキ	3.8	2.4	0.0	1.5	1.0	0.5		3.4	2.3									
ヒサカキ	3.6	2.8	0.5	1.0	0.5	1.0		2.6										
スギ	3.5	1.0	0.5	0.5	5.0	0.5		2.2										
ヒサカキ	3.5	2.4	0.1	0.1	0.1	0.1		2.7	1.0									樹勢が低下している
ネジキ	3.4	2.4	0.5	1.0	2.0	0.5	○	3.6										
ヒサカキ	3.4	3.2	0.5	0.5	1.0	0.5		2.8	2.6	1.5	1.2							
ヒサカキ	3.4	2.0	0.2	0.3	1.0	0.5		3.2	2.8	1.8	1.0	1.4						
シャシャンボ	3.3	3.1	0.0	0.0	0.1	0.0		4.0										樹勢が低下している
ヒサカキ	3.3	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5		4.0	2.8	2.0	1.6	1.2						
ヒサカキ	3.3	1.8	0.5	0.5	0.5	0.5		2.6	2.2	2.1								
ウメモドキ	3.2	2.4	0.0	0.3	0.3	0.5		1.2										
サカキ	3.2	1.3	1.0	1.0	1.0	1.0	○	2.7										
ヒサカキ	3.2	2.6	0.0	1.0	1.5	1.0		2.9										
ヒサカキ	3.2	1.4	1.5	1.5	2.0	1.0		5.5	4.0	1.6	4.3	3.0	4.3	3.2	4.7	2.6	4.4	
ヒサカキ	3.2	2.4	0.0	0.5	1.0	1.0	○	2.9										
オキアガリネズ	3.0	2.2	-0.5	-0.8	2.0	2.0	○	4.5										樹勢が低下している
ヒサカキ	3.0	1.7	0.3	0.3	0.3	0.3		1.7	1.5									

樹木 詳細データ（植生調査地点No.6）

樹種	樹高(m)	枝下高(m)	樹冠の広がり(m)				調査区外	胸高直径(cm)										備考(株数、樹勢等)
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ヒサカキ	3.0	2.0	0.0	0.0	1.0	1.0		2.3	1.8	2.0	1.9							
ヤマウルシ	3.0	2.7	−0.7	0.0	2.0	1.5		2.0										
ヒサカキ	2.9	2.3	0.5	1.0	1.5	0.5		3.6	2.3									
ネジキ	2.8	1.6	0.0	1.0	1.0	0.5		4.2	2.4	2.1								
スギ	2.6							1.6										枯れ
ヒサカキ	2.5	1.8	0.5	0.5	0.5	0.5		2.1	1.8									
ヒサカキ	2.5	2.0	0.3	0.8	0.8	1.0		3.1	2.8									
ネジキ	2.4	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	○	2.4	1.0	0.8								
ヒサカキ	2.4	1.4	0.3	0.3	0.3	0.3		1.2										
ネジキ	2.2	1.2	0.5	0.5	0.5	0.5		1.5	1.1									
ヒサカキ	2.2	1.7	0.7	0.7	0.7	0.7		1.9										
タカノツメ	2.0	1.2	0.0	0.0	0.5	0.5		0.5	0.4	0.4								
ヒサカキ	2.0	1.2	0.5	1.0	1.0	0.3		2.0										
ヒサカキ	2.0	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5	○	1.5										
ヒサカキ	1.9	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5		1.2	1.2									
アカマツ	1.8							26.0										枯れ
オキアガリネズ	1.8							3.5	3.4									枯れ
ヒサカキ	1.7	1.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0.8										
スギ	1.6							2.9										枯れ
ヒサカキ	1.6	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5		1.3										

樹木　詳細データ（植生調査地点No.7）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
コナラ	9.4	6.6	1.0	2.0	3.0	4.0		21.0										
ソヨゴ	9.2	5.5	0.0	1.5	2.5	1.3		13.3										
アカマツ	9.1	6.2	1.5	1.5	0.5	2.0		16.5										
ソヨゴ	9.0	6.1	2.0	2.5	2.0	2.0	○	13.3	12.7	5.8	11.1							
コナラ	7.9	4.7	0.5	2.0	3.5	3.5	○	16.2										
アカマツ	7.8	6.0	0.0	0.0	2.0	1.5		14.7										
アカマツ	7.5							21.0										枯れ
アカマツ	7.3	5.0	0.0	3.0	4.0	3.5		16.7	14.7									又
コナラ	7.0	5.8	1.5	2.5	2.5	2.0		15.5										
アカマツ	6.8							16.1	11.5									枯れ
シャシャンボ	6.6	3.2	1.0	0.5	1.0	2.0		6.3	6.0									
ソヨゴ	6.2	4.5	−0.5	3.0	2.5	0.0		8.0										
ソヨゴ	6.1	4.0	1.5	2.0	2.5	1.5		9.1	1.0									
アカマツ	6.0							8.0										枯れ
シャシャンボ	5.8	4.3	2.5	2.0	0.0	0.5	○	7.1										
シャシャンボ	5.4	3.2	2.5	1.5	3.0	3.0		15.0	11.2									
シャシャンボ	5.0	3.0	0.0	−1.0	1.5	2.0		6.7										
アカマツ	4.9	3.8	−4.0	4.0	5.5	−3.0	○	15.0										
シャシャンボ	4.6	3.4	1.5	2.0	3.0	1.0		7.5	4.3	4.5	4.8	5.5	3.0	2.8	4.8	3.0	6.4	
アカマツ	4.5	3.5	−3.0	−2.0	5.0	4.0		7.2										
シャシャンボ	4.3	3.2	0.0	0.5	1.5	1.5		4.2	3.7									樹勢が低下している
シャシャンボ	4.3	2.3	1.0	1.0	1.0	1.5		4.9	4.0	4.3								
ナツハゼ	3.6	2.5	0.0	1.5	1.5	1.0		2.0										
ヒサカキ	3.6	1.8	1.5	2.5	1.0	1.5		5.0	3.0	4.2	4.1	3.5	2.8	3.0				
アカマツ	3.5							13.5										枯れ
ナツハゼ	3.5	2.2	1.0	1.5	2.5	2.5		3.8	3.6									葉が虫食い
オキアガリネズ	3.4	2.0	0.5	0.5	0.5	0.5		2.5										
シャシャンボ	3.4	2.6	0.0	1.5	1.0	0.5		4.2										
ナツハゼ	3.3	2.5	0.5	1.0	2.5	1.0		3.0	1.7									
ヒサカキ	3.2	0.4	0.6	0.6	0.6	0.6		3.2	1.8									
オキアガリネズ	3.0							1.2										枯れ
ナツハゼ	3.0	2.0	−1.0	1.0	2.0	1.0		2.7										
アカマツ	2.8							9.5										枯れ
シャシャンボ	2.8	2.0	0.0	0.0	0.5	1.0		4.3	3.7	3.0								樹勢が低下している
ナツハゼ	2.8	2.0	0.0	0.5	1.5	1.0		2.1										
ヒサカキ	2.8	2.3	0.3	0.3	0.3	0.3		2.0										
ケカマツカ	2.6	1.4	1.0	1.0	0.0	0.5		1.8	1.6	1.3								
ナツハゼ	2.6	2.0	0.5	−0.5	0.5	1.5		1.6										
ケカマツカ	2.5	1.3	0.0	1.5	1.0	2.0		1.8	1.6	1.3								
シャシャンボ	2.5	2.0	0.0	0.0	1.0	0.8		2.5										
ヒサカキ	2.5	1.4	0.3	0.3	0.3	0.3		2.2										
ソヨゴ	2.4	1.6	0.5	0.5	0.5	0.5		2.1										
ナツハゼ	2.4	1.8	0.0	0.0	0.5	1.0		2.2										
モチツツジ	2.4	1.0	0.4	0.4	0.4	0.4		1.0	0.9	0.9	0.6	0.6	0.6					葉が虫食い
ヒサカキ	2.3	1.5	0.3	0.3	0.3	0.3		1.1	1.0									
ヤマウルシ	2.3	2.0	0.5	0.5	0.5	0.5		1.1										
アカマツ	2.2							12.5										枯れ
ヒサカキ	2.2	1.2	0.5	0.5	0.5	0.5		1.6	1.5									
モチツツジ	2.2							2.3										枯れ
ヤマウルシ	2.2	1.5	0.5	0.5	0.5	0.5		1.1	0.8									

樹木　詳細データ（植生調査地点No.7）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ヤマウルシ	2.2	2.0	0.3	0.3	0.3	0.3		0.7										
ヤマウルシ	2.2	1.6	0.0	0.5	1.0	0.5		0.9										
モチツツジ	2.1	1.3	0.5	0.0	0.5	0.5		0.9	0.6									
ソヨゴ	2.0	0.8	0.4	0.4	0.4	0.4		0.7										
モチツツジ	2.0	0.8	0.0	0.0	0.5	0.5		1.3	0.8	0.7	0.7							
モチツツジ	2.0	1.5	0.3	0.3	0.3	0.3		0.9										樹勢が低下している
アカマツ	1.9							14.3										枯れ、幹折れ
モチツツジ	1.8	1.2	0.3	0.3	0.3	0.3		0.5										葉が虫食い
ヤマウルシ	1.8	1.6	0.3	0.3	0.3	0.3		0.9										
ソヨゴ	1.7	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6		0.8										
ソヨゴ	1.7	0.1	0.3	0.3	0.3	0.3		0.8										
ヒサカキ	1.7	1.0	0.0	0.0	1.0	1.0		1.7										
モチツツジ	1.7							0.8										枯れ
モチツツジ	1.7							1.0										枯れ
ヤマウルシ	1.7	1.4	0.3	0.3	0.3	0.3		0.6										
オキアガリネズ	1.6	1.0	0.0	0.5	0.5	0.0		1.4										
オキアガリネズ	1.6							2.0										枯れ、幹折れ
モチツツジ	1.6	1.1	0.3	0.3	0.3	0.3		0.6										
モチツツジ	1.6	0.8	0.4	0.4	0.4	0.4		0.7	0.6	0.6	0.5							
ヤマウルシ	1.6	1.4	0.3	0.3	0.3	0.3		0.4										
ヤマウルシ	1.6	1.3	0.5	0.5	0.5	0.5		1.3										
イソノキ	1.5	0.8	0.3	0.3	0.3	0.3		0.4										
イヌツゲ	1.5	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3		0.7										
オキアガリネズ	1.5	1.0	0.1	0.1	0.1	0.1		0.8										
ソヨゴ	1.5	1.1	0.3	0.3	0.3	0.3		0.6										
ヒサカキ	1.5	1.2	0.0	0.5	1.0	0.5		1.7										
ヤマウルシ	1.5	1.4	0.2	0.2	0.2	0.2		0.5										
ヤマウルシ	1.5	1.3	0.2	0.2	0.2	0.2		0.4										
ナツハゼ	1.4	1.2	0.3	0.3	0.3	0.3		0.7										

樹木　詳細データ（植生調査地点No.8）

樹　種	樹高(m)	枝下高(m)	樹冠の広がり(m)				調査区外	胸高直径(cm)										備考(株数、樹勢等)
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
コナラ	12.7	9.0	1.0	2.5	4.0	5.0		17.6	16.9									又
コナラ	12.6	9.3	2.0	2.0	4.0	1.5		19.5										
コナラ	12.5	7.5	3.0	3.0	4.0	2.0		20.5										
コナラ	11.8	9.0	1.5	2.5	1.5	1.0	○	15.4										
ソヨゴ	10.5	5.0	0.5	2.5	2.0	3.0		13.6										
ソヨゴ	10.3	6.0	1.0	2.5	2.5	1.5	○	17.7										
コナラ	10.0	7.7	-1.0	1.5	5.0	3.0		18.5										
コナラ	9.7	6.7	-1.0	7.0	5.0	4.0		23.0	18.0									又
リョウブ	9.7	4.7	2.0	2.0	3.5	2.0		12.8	12.0	9.8	9.7							
ソヨゴ	9.6	6.2	3.0	3.0	3.5	3.5		17.8	17.0	14.0								
コナラ	9.3	7.9	0.0	2.0	3.0	0.0		13.0										
ソヨゴ	9.1	6.2	2.5	2.5	3.0	3.0	○	17.0										
リョウブ	9.1	6.0	1.0	4.5	5.0	2.5	○	16.0	9.3	10.1	8.5							
ソヨゴ	8.8	6.1	0.0	1.0	2.0	1.5	○	11.7										
ソヨゴ	7.5	4.9	0.0	2.0	2.5	1.5		5.8										
ソヨゴ	7.3	4.6	-1.5	-1.0	4.0	2.5	○	8.4										
リョウブ	7.3	5.5	-0.5	1.0	1.0	1.0		7.5										
リョウブ	7.2	6.0	0.5	1.5	2.5	2.0		9.6										
ヒサカキ	6.3	4.7	1.5	1.0	0.5	1.0		4.8										
ヒサカキ	6.2	3.2	1.0	1.5	1.0	1.0		5.0										
ソヨゴ	6.1	4.6	1.5	0.5	3.5	2.0		9.1										
ソヨゴ	6.0	4.1	-1.0	-0.5	2.5	2.0		4.4										
リョウブ	5.9	4.7	-0.5	2.5	1.0	0.0	○	6.5										
ヒサカキ	5.6	3.4	0.8	1.5	1.5	1.0	○	5.3	3.6	3.1								
シャシャンボ	5.5	3.7	-1.5	-1.0	2.5	3.0		3.8										樹勢が低下している
ヒサカキ	5.4	2.5	0.0	1.0	1.5	1.5		4.2	2.0									
ヒサカキ	5.4	3.5	0.0	1.5	2.0	0.5	○	2.9										
ネジキ	5.0	4.2	0.5	1.5	1.5	0.5	○	4.4										
ヒサカキ	5.0	3.4	1.5	1.5	1.5	1.5		3.5										
タカノツメ	4.7	3.0	0.0	1.0	1.5	1.0		2.9										
ソヨゴ	4.4	3.4	0.5	1.5	2.0	0.0		4.8										
ヒサカキ	4.4	3.0	0.8	0.8	0.8	0.8		3.5										
タカノツメ	4.2	2.7	2.0	1.5	0.5	1.0	○	4.5										
ヒサカキ	4.2	2.8	0.5	1.5	1.5	1.5		4.6	2.2									
ヒサカキ	4.2	3.0	0.0	1.5	2.0	2.0	○	6.1										
ヒサカキ	4.0	3.0	1.0	1.0	0.5	0.5		3.0										
ヒサカキ	4.0	3.0	0.5	0.5	0.5	0.5		2.0										
ヒサカキ	3.5	1.8	0.4	0.4	0.4	0.4		2.6	1.9									
ネジキ	3.4	2.5	-0.5	-1.0	1.5	2.0	○	2.7										
ヒサカキ	3.4	2.5	1.0	1.0	1.0	1.0		2.8	2.5									
ヒサカキ	3.4	1.6	0.8	0.8	0.8	0.8		4.0										
ナツハゼ	3.0	2.7	0.0	2.0	1.0	-0.5		2.9										
ナツハゼ	3.0	2.4	0.0	0.5	1.0	1.0		1.7										
ヒサカキ	3.0	1.3	0.6	0.6	0.6	0.6		2.6	1.7	1.5	1.2							
ヒサカキ	3.0	2.4	0.8	0.8	0.8	0.8		2.8										
ネジキ	2.6	2.0	0.4	0.4	0.4	0.4		2.1										
タカノツメ	2.5	2.0	0.0	1.5	1.5	1.5		2.5										
ネジキ	2.4	2.0	0.3	0.3	0.3	0.3		1.1										
ネジキ	2.3	1.5	0.6	0.6	0.6	0.6		2.5										
コバノガマズミ	2.2	1.6	0.0	0.5	0.5	0.0		0.9										

樹木 詳細データ （植生調査地点No.8）

樹 種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ネジキ	2.2	1.7	0.4	0.4	0.4	0.4		1.6										
ヒサカキ	2.2	1.6	0.0	0.8	0.8	0.5		1.5										
ネジキ	1.8	1.4	0.3	0.3	0.3	0.3		0.9										
ヒサカキ	1.8	1.4	0.0	0.0	1.0	1.0		1.5										
タカノツメ	1.6	1.0	−0.5	1.0	1.5	0.0		0.8										
ソヨゴ	1.5	0.9	0.2	0.2	0.2	0.2		0.5										
ネジキ	1.5	1.0	0.2	0.2	0.2	0.2		1.2										

樹木 詳細データ（植生調査地点No.9）

樹 種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
コナラ	21.7	19.1	0.0	1.5	2.5	0.5		24.0										樹勢低下（カシナガ被害木）胴吹き
コナラ	21.2	16.8	1.0	2.0	5.0	3.0		35.0										樹勢低下（カシナガ被害木）
コナラ	20.9	17.1	1.0	1.0	4.0	3.0		30.0										樹勢低下（カシナガ被害木）胴吹き
コナラ	17.8	16.4	3.5	2.0	3.0	1.5		29.5										
コナラ	16.6							24.2										枯れ（カシナガ被害木）
コナラ	16.3							28.0										枯れ（カシナガ被害木）
イヌツゲ	5.1	2.3	0.5	4.5	4.0	1.0	○	12.5	9.9									
ネズミモチ	4.6	1.4	1.0	1.0	1.0	1.0		3.9	2.9	2.0								
ネズミモチ	4.6	2.4	1.0	0.0	1.5	2.5	○	5.7										
ムラサキシキブ	4.4	2.4	2.0	3.0	2.0	0.0		3.6	3.0	2.4								
アズキナシ	4.3	1.5	1.5	1.0	1.5	1.5		4.9										
ヒサカキ	3.8	1.4	1.5	1.5	0.5	1.0		4.5										
ムラサキシキブ	3.6	2.4	0.5	1.0	2.5	1.5		3.6	3.5	2.3	2.4	2.1	0.8	0.7				
ネズミモチ	3.0	2.7	0.7	0.7	0.7	0.7		2.6										幹折れ
ネズミモチ	2.8	1.0	0.6	0.6	0.6	0.6		1.9										
ヒサカキ	2.6	0.8	1.0	1.0	1.0	1.0		3.1										
ウメモドキ	2.4	1.8	0.4	0.4	0.4	0.4		1.8										
ヒサカキ	2.4	1.5	0.6	0.6	0.6	0.6		1.8										
コバノガマズミ	2.3	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5		1.0	0.7	0.7								
タカノツメ	2.1	1.0	0.8	0.8	0.8	0.8		0.8										
タカノツメ	2.0	1.2	1.5	1.0	1.0	1.0	○	2.0										
モチツツジ	1.7	0.8	0.6	0.6	0.6	0.6		0.9										
ヤマハゼ	1.6	1.1	0.3	0.3	0.3	0.3		0.9										
ヤマハゼ	1.6	1.3	0.1	0.1	0.1	0.1		0.8										

樹木　詳細データ（植生調査地点№10）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ツブラジイ	10.4	3.5	2.0	1.5	2.0	2.5	○	18.8										
ソヨゴ	9.5	4.5	4.0	2.5	1.0	2.5	○	18.5										
アカマツ	9.2							12.3										枯れ
アカマツ	8.7	6.8	1.5	1.5	1.5	1.5		9.5										
ソヨゴ	8.7	4.9	3.0	0.0	3.0	4.0		14.0	11.5									
ソヨゴ	8.4	5.2	1.5	1.5	2.0	1.0	○	10.1										
ソヨゴ	7.9	5.3	-2.0	1.0	6.0	4.0		13.0										
ソヨゴ	7.6	6.0	1.5	2.5	2.0	2.0		15.6										
ソヨゴ	7.4	5.2	1.5	4.0	2.5	0.5	○	20.0										
ソヨゴ	7.2	5.0	3.5	0.0	0.0	3.0		11.0										
ソヨゴ	7.1	5.1	1.2	1.5	1.0	2.5		14.4										
ソヨゴ	7.1	4.9	2.0	0.0	1.0	5.0		15.3										
オキアガリネズ	6.8	3.6	0.8	0.8	0.8	0.8		6.5										
ソヨゴ	6.8	4.4	-2.0	0.5	5.0	5.0		12.0										
タカノツメ	6.8	5.1	1.0	2.0	3.0	2.0		9.6	7.5									又
シャシャンボ	6.7	4.9	1.0	2.0	1.5	2.5	○	10.2	9.4									
ソヨゴ	6.7	4.9	3.5	3.5	0.0	-1.5		7.2										
ヒサカキ	6.7	3.4	2.0	2.0	0.0	0.5		5.8										
コナラ	6.6	4.7	2.0	1.0	0.0	2.0		7.6										
シャシャンボ	6.6	4.6	1.0	0.5	2.5	3.0		10.2										
ソヨゴ	6.5	4.5	0.5	1.0	1.5	2.5		9.4	3.9									
シャシャンボ	6.3	4.5	0.5	2.5	1.5	1.5		6.1	5.5									
ソヨゴ	6.3	3.0	0.5	2.0	2.0	1.0		8.0	7.0									
ソヨゴ	6.1	4.5	-1.5	1.5	3.5	2.0		10.7										
ヒサカキ	6.1	3.4	0.8	0.8	0.8	0.8		5.0	4.8									
ソヨゴ	6.0	3.0	0.0	0.0	3.0	3.5		8.5	5.6									
アカマツ	5.8							17.4										枯れ
ヒサカキ	5.5	2.5	1.5	1.5	0.5	1.0		7.0	5.3	2.6	3.4	1.9						
ヤマウルシ	5.3	4.3	0.8	0.8	0.8	0.8		3.0										
コナラ	5.2	4.2	0.8	0.8	0.8	0.8		4.9										
ソヨゴ	5.2	3.8	-0.5	0.5	1.5	1.0		5.0										
ヒサカキ	5.2	3.9	0.0	-1.5	1.5	2.5		3.0										
ソヨゴ	4.9	3.8	-1.0	-2.0	4.5	3.5		10.2										
シャシャンボ	4.7	2.8	1.0	0.5	0.5	1.0		3.6										
ヒサカキ	4.7	3.2	1.5	1.0	1.0	2.5		5.8										
ヒサカキ	4.6	3.0	0.5	1.0	2.0	1.0		3.4	1.8	1.5								
イソノキ	4.5	3.1	2.0	-3.0	-1.0	4.0		2.5										
ヒサカキ	4.4	3.4	-1.0	0.0	1.5	1.5		1.9										
ソヨゴ	4.3	3.4	1.5	1.0	0.0	0.0		1.5										
シャシャンボ	4.2	2.4	1.0	1.0	1.0	1.0		5.1	4.9	3.1								又
ヒサカキ	4.2	3.2	1.0	1.0	1.0	1.0		2.8										
ヒサカキ	4.1	3.4	1.0	1.0	1.0	1.0	○	2.6										
アオハダ	4.0	3.1	1.5	1.5	1.5	1.5	○	3.3										
シャシャンボ	4.0	3.2	1.0	1.0	1.0	1.0		4.9	3.0									
ヒサカキ	4.0	3.2	2.0	1.5	-0.5	0.0		3.1										
ヒサカキ	4.0	3.4	1.0	1.5	1.0	1.5		3.4										
ソヨゴ	3.9	2.2	0.0	2.0	2.0	1.0		3.2										
ヒサカキ	3.8	2.0	0.8	0.8	0.8	0.8		2.6										
ヒサカキ	3.8	3.0	1.2	1.2	1.2	1.2		4.3										
ヒサカキ	3.7	2.6	0.5	0.5	1.0	2.0		3.3										

樹木　詳細データ（植生調査地点No.10）

樹　種	樹高（m）	枝下高（m）	樹冠の広がり（m）				調査区外	胸高直径（cm）										備考（株数、樹勢等）
			＋Y	＋X	－Y	－X		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
ヒサカキ	3.5	2.4	0.5	0.5	0.5	0.5		2.4										
オキアガリネズ	3.4	0.5	0.5	0.0	0.5	1.0		3.0										
ヒサカキ	3.4	2.4	0.6	0.6	0.6	0.6		2.6										
イヌツゲ	3.2	1.4	0.8	0.8	0.8	0.8		1.9	1.7	1.2								
ヒサカキ	3.2	0.9	0.3	0.3	0.3	0.3		1.5	1.1									
ヒサカキ	3.2	2.3	0.5	1.0	1.0	1.0		2.7										
ヒサカキ	3.2	2.6	0.2	0.2	0.2	0.2		2.1										
ヤマハゼ	3.2	2.4	0.5	0.5	0.5	0.5		1.1	0.8									
オキアガリネズ	3.0							3.4										枯れ
ソヨゴ	3.0	1.4	0.7	0.7	0.7	0.7		1.5	1.4	1.4	1.4							
ヒサカキ	3.0	2.0	1.0	0.5	1.5	1.0		2.7	2.6	2.3	1.4							
ヒサカキ	3.0							3.4										枯れ
ヒサカキ	3.0	2.4	0.5	0.5	0.5	0.5		2.2										
ヒサカキ	2.8	2.5	1.5	0.5	-0.5	1.0		2.1	1.5	1.2								
ヒサカキ	2.8	1.0	0.7	0.7	0.7	0.7		2.1	1.8	1.6								
ヒサカキ	2.6	1.0	0.5	0.5	0.5	0.5		1.2										
ヒサカキ	2.5	1.4	1.5	0.0	0.0	1.0		1.8										
ヒサカキ	2.5	1.6	0.3	0.3	0.3	0.3		1.2										
スダジイ	2.4	1.3	0.6	0.6	0.6	0.6		1.0										
ヒサカキ	2.4	1.4	1.0	0.5	0.5	1.0		1.8										
ヒサカキ	2.4	1.8	0.0	1.0	0.5	0.0		1.8										
モチツツジ	2.4	1.4	0.5	0.5	0.5	0.5		1.2	0.8									
ヒサカキ	2.3	1.4	0.5	0.5	0.5	0.5		1.5										
ヒサカキ	2.3	1.6	0.5	0.5	0.5	0.5		1.3										
ヤマハゼ	2.3	2.1	0.3	0.3	0.3	0.3		1.0										
スダジイ	2.2	0.8	0.0	1.0	1.0	0.0		1.1										
ヒサカキ	2.2	1.6	1.0	1.0	0.0	0.0		1.3										
ヒサカキ	2.2	1.8	0.3	0.3	0.3	0.3		1.0										
シラカシ	2.1	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3		0.6										
ツブラジイ	2.1	0.8	0.7	0.7	0.7	0.7		0.6										
ウバメガシ	2.0	1.2	0.2	0.2	0.2	0.2		0.7										
ヒサカキ	2.0	1.5	0.4	0.4	0.4	0.4		1.3										
ヒサカキ	2.0	1.2	1.0	1.5	0.0	0.5		1.9										
オキアガリネズ	1.8							2.8										枯れ
アカマツ	1.7							16.0										枯れ、幹折れ
ヒサカキ	1.7	1.2	1.0	0.5	0.0	0.5		1.3										
ヒサカキ	1.6	1.3	0.5	0.5	0.5	0.5		0.5										
ヒサカキ	1.6	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5		1.0	0.7									
ヤマウルシ	1.6	1.4	0.2	0.2	0.2	0.2		0.4										

Ⅵ. 樹林管理計画および活用計画の検討

１．大学関係者の現地確認の記録

今後、大学構内樹林地の管理計画および活用計画の検討を勧めていくために、本調査において大学関係者ならびに(財)学生、大学院生による各種の実地活動を行い、植生状況の把握や森への理解を深めた。現地調査への同行４回、有識者の立会いへの同行１回、学外での演習参加１回、の計６回の実地活動を行った。

■NO. １

【目　　的】コドラート調査の立会い
【場　　所】愛知県立芸術大学構内
【開 催 日】平成 23 年 4 月 6 日（水）
【時　　間】集合：9:00（管理棟前）
【出 席 者】(愛知県立芸術大学)
　　愛知県立芸術大学准教授　水津　功先生
　　管理課課長補佐　高瀬　正俊氏
　(㈱オオバ名古屋支店)
　　調査員３名
【内　　容】・コドラート調査地点の設置にあたり、予定する調査内容を説明し、了解を得た。

■NO. ２

【目　　的】春季調査（1/2)
【場　　所】愛知県立芸術大学構内（西域、北域）
【開 催 日】平成 23 年 4 月 22 日（金）
【時　　間】集合：9:00（管理棟前）
　　調査：9:00～12:00
【出 席 者】(愛知県立芸術大学)
　　愛知県立芸術大学准教授　水津　功先生
　　在学生、大学院生　３名
　(㈱オオバ名古屋支店)
　　調査員３名
【内　　容】・春季調査の第１日目の午前中の調査に同行し学内の植生状況を確認した。

■NO. ３

【目　　的】春季調査（2/2)
【場　　所】愛知県立芸術大学構内（東域、南域）
【開 催 日】平成 23 年 4 月 25 日（月）
【時　　間】集合：9:00（管理棟前）
　　調査：9:00～12:00
【出 席 者】(愛知県立芸術大学)
　　愛知県立芸術大学准教授　水津　功先生
　　在学生、大学院生　２名
　(㈱オオバ名古屋支店)
　　調査員３名
【内　　容】・春季調査の第１日目の午前中の調査に同行し学内の植生状況を確認した。

■NO. 4

【目　　的】有識者現地立会い（岐阜大学名誉教授　林　進先生）
【場　　所】愛知県立芸術大学構内
【開 催 日】平成 23 年 6 月 13 日（水）
【時　　間】集合：10:00（管理棟前）
挨拶、概要説明 10:00～10:30（会議室）
現地立会い：10:30～15:30

【出 席 者】（有識者）
岐阜大学名誉教授　林　進先生
（愛知県立芸術大学）
愛知県立芸術大学准教授　水津　功先生
在学生、大学院生　2 名
（㈱オオバ名古屋支店）
調査員 3 名
【内　　容】・新音楽棟付近の植生状況、学内の植生状況を確認し、助言・指導を頂いた。

→詳細は「2.専門家の助言・指導の記録」参照

■NO. 5

【目　　的】夏季調査（1/3）
【場　　所】愛知県立芸術大学構内
【開 催 日】平成 23 年 7 月 6 日（月）
【時　　間】集合：9:00（管理棟前）
調査：9:00～12:00

【出 席 者】（愛知県立芸術大学）
愛知県立芸術大学准教授　水津　功先生
在学生、大学院生　2 名
（㈱オオバ名古屋支店）
調査員 3 名
【内　　容】・夏季調査の第 1 日目の午前中の調査に同行し、学内の植生状況を確認した。

■NO. 6

【目　　的】森林の保全活動の講習と実習「森づくり演習」
【場　　所】内ヶ谷山林（岐阜県郡上市内ヶ谷）
【開 催 日】平成 23 年 11 月 20 日（日）
【時　　間】集合：8:00（管理棟前）
講習・実習：10:00～16:00

【出 席 者】**（有識者）**
岐阜大学名誉教授　林　進先生
（中部電力）
環境部寺田様、他 2 名
（中部不動産）
伊藤様、他 2 名
（愛知県立芸術大学）
愛知県立芸術大学准教授　水津　功先生
在学生、大学院生　2 名
（㈱オオバ名古屋支店）
小林高浩
【内　　容】・里山を取り巻く現状の課題を学ぶとともに、森林保全活動が行われている現場の見学と実習を行った。

→詳細は「3.森づくり演習の記録」参照

2. 専門家の助言･指導の記録

【目　　的】大学構内の植生状況の確認
【場　　所】　現地確認：構内全域
　　意見交換：愛知県立芸術大学　管理棟
【開 催 日】平成 23 年 6 月 13 日（月）
【時　　間】午前１０時～午後４時
【出 席 者】（監修者）
　　岐阜大学名誉教授　林　進　先生
（愛知県立芸術大学）
　　愛知県立芸術大学准教授　水津　功　先生
　　事務局長　竹内　弘明氏
　　管理部長兼管理課長　佐伯　剛志氏
　　管理部管理課課長補佐　高瀬　正俊氏
　　在学生　３名（午前１名、午後２名）
（調査受託者）
　　㈱オオバ名古屋支店　小林高浩　他２名

概要説明（会議室）

【午前】

1. 挨拶（竹内事務局長）

2. 概況説明（水津准教授）

・愛知県立芸術大学「ビジョン報告書」の概要説明

～現地に移動～

3. 構内の特徴的な植生、コドラート位置の確認

【①キャンパス東】新音楽棟予定地～寺田池下流(No.4,5,6)
（新音楽棟付近）

・ここの場所のカンアオイは分布域が限定的である。林内の暗い光環境が分布を抑制している。
　カンアオイとギフチョウの関係など、環境面で貴重性を捉えることが重要である。風の設計、森の中の植生の構造など、感覚的な視点と数量的な視点の両面から環境をデザインすることが重要。
・健全な木は表面温度が低い。放射温度計を使用すれば計測は可能である。
・新音楽棟の建設による樹林への影響を抑えるには、調整池を建物下に設けて木炭等で浄化した水を地下浸透させて下流の水路に放流する手法が良い。
・放流先の小川の流速が速いため、浸透水は合流地点でブロックされ徐々に混じり合っていくため、ストレートには余り影響しない。水温が違う水はすぐには交じり合わない。徐々に平準化されていく。
・工事エリアの水がオーバーフローしないようにするには浸透し

カンアオイ（新音楽棟付近）

地形･樹林の確認
（新音楽棟付近）

て流すことが有効。丸砂利の水路で流すことが良い。管を通そうとしても管の周りを流れてしまう。表流水を流さないでゆっくり変化させた方が良い。

環境配慮手法の確認
（新音楽棟付近）

（氾濫湿地）

・このあたりは下刈り管理が必要。ツツジは花を咲かせるには光合成が必要。
・ササは環境を暗くすれば後退する。ササには陽地型と陰地型がある。同じ種内でも分化する。この場所は陽地型である。気温と光条件は互換性がある。
・意図的、計画的に森を動かすこと、活発に更新させることは可能。3 年経てば森の姿を変化させられる。

ツツジの自生（微高地）

（微高地）

・このあたりはツツジの自生地であるが林内が暗くて生育が悪い。このあたりではツツジは 3 種類生育できる、ミツバツツジ、モチツツジ、ヤマツツジ。
・カンアオイの増殖は、林床を明るくする代償措置によって生長繁殖する。

（コドラート No.4：ハンノキ林）

・この場所は景観施業を行うと良い。樹林景観を際立たせる樹木を選んでその木を中心に施行を考える。複数の樹木をブロック状に残したり、独立樹形を際立たせたりする。景観的に垂直のラインを活かす、樹木相互の高低の組み合わせを調整するなどの施行を行うと良い。
・樹勢が悪い時は、枯れ枝の少し下を切るとそこから芽が出る。株立ち樹形とできるのはコナラだと 40 年生までの若い樹木。ヤマザクラは株立ちにしてほうき状に仕立てると良い。

コナラの株立ち樹形
（ハンノキ林付近）

（コドラート No.5：貧栄養湿地植生）

・周伊勢湾要素植物のトウカイコモウセンゴケ、モウセンゴケなど貴重な植生が分布している。周囲から湿地に侵入しているササ、コシダは刈り取ると良い。

湿地の確認（貧栄養湿地植生）

（コドラート No.6：スギ植林）

・スギは比較的湿った土壌を求める。湿地の上流部に位置しているが伐採しなければならないものではない

（コドラート No.7：アカマツ林（高木））

・アカマツの松枯れはこの場所に限ったことではない。更新を促すに水平方向に帯状に地掻きると良い

（コドラート No.8：コナラーアベマキ林③）

・2 階建ての更新林の形態となっているが、高木の枝張りが無く弱弱しい樹形である。林内を明るくすると樹勢が回復するが、風通しが良くなることで乱気流が発生して倒木が出る可能性があるため注意して施業する必要がある。

・コナラやリョウブを根際で切って株立ち林を形成することも有効。

・林内に見られる窪地は陶器の素焼き窯の跡である。江戸時代（近世）から明治にかけて炭焼きや陶器の素焼きの生産地として雑木林が形成されてきた。雑木林の姿をよみがえらせるには人為的に手を加えることが必要。

湿地の確認（谷部樹林内）

（谷部樹林内の湿地）

・ショウジョウバカマ、トキランなどの湿地植物が生育している。イヌツゲなどの低木を伐採して明るくした方が良い。

【②キャンパス南】スズカカンアオイ群生地～(No.9)～農総試境界部(No.10)

（スズカカンアオイ群生地）

・これだけの群落は名古屋市内を含めて数箇所ある大群落の一つといっていい。学内のスズカカンアオイの分布の中心は新音楽棟周辺でないことは明らかであり、中心的なこれらの分布地をしっかり保全していくことが大切。

樹林の様子
（スズカカンアオイ群生地）

（コドラート No.9：コナラ－アベマキ林④）

・ツツジとススキは共生関係にあるため、ツツジの捕植に合わせてススキを植えると活着率が高まる。

（コドラート No.10：マツ枯れ跡地）

・亜高木層を、丸みのある樹形に整えるなど、立体的な森の形成を図れば一気に変化する可能性がある。その際、一律に施業をするのではなく、地形要因に伴う樹高や樹種構成の変化をダイナミックに取り入れると良い。

・場所ごとに「森をいかに読み込むか」が重要。多様性の形成とはそういうことである。

・樹林の現状を図化、数量化することが大切。時間軸など数量化しないと見えないものがある。

・素朴な自然に接することで芸術の発想が生まれる。

樹林の様子
（マツ枯れ跡地）

【③キャンパス西】旧職員住宅一帯（No.3）～長鶴池跡

（職員住宅付近：コナラ－アベマキ林）

・このあたりの樹林は成長限界に達している。皆伐して更新する時期に来ている。

（コドラート No.3：コナラ－アベマキ林②）

・高木層が無い。博士課程の教室が目の前にあることから、樹高を低く抑えて「見せる森」とすると良い。学生が森に接することで感性と知性を磨くことができる。芸術大学のキャンパスに森があることの存在価値は大きい。

【④キャンパス北】竹林（No.1）～境界部湿地～コナラ－アベマキ林(No.2)

（コドラート No.1：竹林）

・竹の生育は良くない。竹林として維持する価値は少ない。

（コドラート No.2：コナラ－アベマキ林①）

・傾斜があり、横方向から光が差し込むことから下枝もあり、比較的健全な樹林である。

～会議室に移動～

4. 意見交換

■樹林の保全・育成手法について

・芸術大学のキャンパスにこれだけの森が存在すること自体に意味がある。全ての学問の源が多様な生物を育む森にあるということから、ドイツでは全ての学問の根幹として森が位置づけられている。

・東京芸術大学は上野の森に置かれた。これは全国から人材が集まる時代から学生が首都圏出身者のみとなった時、自然が想像力をかき立てることとなることを意図している。

・自然のカタチは全ての学問の根源である。ボタニカルアートは見たままを描く、ボタニカルイラストレーションは植物学的に描く。しっかり自分の目で見て写しとること。それには森が一番よい。

・物事をどこまで見抜けるか、そこから学問のアプローチが始まる。森の中にはすべての学問が含まれている。訓練の場がこの身近な森の中にある。

・学生が気軽に森に入っていけることになればキャンパス全体を活かし切ることができる。大学ができて半世紀となった今、この森は人材育成の重要な拠点となすることができる。自分がキャンパスを造るということ、まさに「命をつないでいく森」、時を経るごとに価値を発揮するのが森である。

・学生の潜在能力をかき立てていく森の存在は重要である。体を刺激することは精神的にも良い訓練となる。

以上

3. 森づくり演習の記録

【目　　的】森林の保全活動の講習と実習

【場　　所】　内ヶ谷山林（岐阜県郡上市内ヶ谷）

【開 催 日】平成 23 年 11 月 20 日（日）

【時間･場所】集合：8:00（愛知県立芸術大学）

～移動（バス）～

講習：10:00～12:00（内ヶ谷山荘）

～昼食（火起し体験）～

実習：13:00～16:00（内ヶ谷山林）

～移動（バス）～

解散：18:00（愛知県立芸術大学）

【出 席 者】（監修者）

岐阜大学名誉教授　林　進　先生

（中部電力㈱）

環境部　寺田様、他 1 名

（中電不動産㈱：現地指導）

伊藤様、宇野様、中島様

（愛知県立芸術大学）

愛知県立芸術大学准教授　水津　功　先生

在学生、大学院生　6 名

（㈱オオバ名古屋支店）

小林高浩

※このほか、日本 NUS(プログラム評価者)1 名、運転手 1 名

講義(林先生)

実習(伊藤様)

マイクロバスで移動（寺田様）

【集合･移動】

・バスの社内で、寺田氏より「内ヶ谷山林を中心とした森林活動『森への招待状』について」（配布資料）の説明を受けた。

※詳細は別紙資料参照

到着

亀尾島川を渡る

内ヶ谷山荘

【講習】

1. 挨拶（寺田様）

・本日は、内ヶ谷山林においでいただきありがとうございます。午前は指導を頂いています林先生に講習をしていただきます。昼食の後、午後は実際に内ヶ谷山林の現場に入り、山林の見学と実習を行う予定です。

挨拶（寺田様）

2. 挨拶（水津先生）

・私は現在、モリコロパークでサトラボという活動を行っていて、山の管理のことを少し勉強する機会となっています。そして、愛知県立芸術大学の構内においてもキャンパスの再整備を機に、これまで放置されてきた森の管理に取り組むこととしています。

・そうした機運の中、今回林先生のご助言もあり中部電力さんに今回の講習を企画していただきました。

・今日の場所は、モリコロパークや大学構内に比べても本格的な日本の森です。今日本の森がどうなっているのかを学びたいと思います。

・大学構内の森については、植生調査と動物調査を現在行っていますが、森の姿は常に変化していることがわかってきました。将来の森の姿をどうするのか、考えなければならない時期に来ています。今日の講習を機会に森と人間の関係を考えて生きたいと思います。

挨拶（水津先生）

3. 内ヶ谷山林における中部電力の取り組みについて（寺田氏）

・中部電力㈱は大正 3 年に内ヶ谷山林を取得しました。当時は電柱は木を使っていましたから、自前で電柱用の柱の材料となる針葉樹木を育てるために買ったようです。

・従来自生していた広葉樹を伐採してスギの植林が行われ、全体で 1,100ha あるうちの約 7 割が針葉樹林となりました。しかし、その後電柱はコンクリート製へと変わり、針葉樹を育てる必要性が無くなりました。かつて中部電力㈱は木材販売をしていましたが、赤字となるため今は行っていません。

・植林時に密に植えられた苗木は、生長と共に間伐（間引き）をして太くまっすぐな幹としていく必要がありますが、手付かずで林床植生が少ない暗い森になっていました。

・中部電力㈱の責任として針葉樹の間伐を行い森の手入れを行っているのです。針葉樹が主体であった植林地を広葉樹林が混在する多様性のある森へと転換を図っています。

・内ヶ谷は平家の落人が暮らしていた歴史のある場所です。この場所で日本の森の現状を見て考えてください。

・中部電力㈱が取り組む「森への招待状」の活動は、資金を投入して環境保全活動を行うことで地域や社会に貢献することを目的に行っています。また、そのフィールドを市民に提供することや、中電不動産が培ってきた森林保全技術の継承も目的としています。

4. 参加者自己紹介

（水津先生）

・今回の見学･体験会の参加者募集は大学の全学を対象に行いました。参加者は森に興味があって自主的に申し込みした学生です。

（伊藤望理香さん）

・大学構内の植生調査で水津先生の紹介で２度森に入りました。元々造形的に植物が好きですが、生態的な観点で森を見ることが新鮮に感じています。

（渡辺広美さん）

・森の力を肌で感じたいと思います。

（平澤佑果さん）

・デザインの勉強をしていく上で、自然と人の関わりについて普段から気をつけています。

（石井理実さん）

・授業でこの企画を知りました。自然のことは知らないことが多いので、体験することを通じて自然のことを知りたい。

（置塩ゆかりさん）

・水が好きで、水溜りから環境のことを考えたいと考えている。自然が好きなことが関心のきっかけです。

（赤星周さん）

・大学とは違う森を見たくて参加しました。

自己紹介

5. 講義（林先生）

■人と森の関係について

・愛知県立芸術大学の森については一度現地に入り確認しました。植生調査を担当している小林さんから話を聞いたことがきっかけで縁が出来ました。

・愛知県立芸術大学の里山林と、この岐阜県の森林帯の違いを見ていただくのも有意義ではないかと考えて、今回の企画となりました。私は金沢芸術工芸大学で講義を行っており、芸大と縁が無いわけではありません。

講義の様子

・「森をどうみるか」については、様々なアプローチがあります。実際に自然に接しないと本当の感性は磨けません。東京藝術大学が上野の森に置かれたことには意味があります。将来、東京藝術大学の学生が都会出身者だけになったとき、自然を捉える感性を持っていないと感性が育まれないとの危惧から、森の近くに大学が置かれたのです。その意味から愛知県立芸術大学は大変恵まれた環境にあるといえます。

・内ヶ谷の森は紅葉が大変きれいです。それは土壌水分が多いこと、湿度が高く温度が低いことが関係しています。

・普段都市に住んでいるとテレビや本からの情報は得られるが、森の大切さを実感すること

が出来ない。森林への関心は高まっているが、森がある地域の林業への理解は深まっていない。木を切ることが悪いことと誤解している人は結構多い。

・森には人間が「関わって管理する森」と、人が「関わらない森とが」あります。「人間が関わって管理する森」は人間が関わってこそ豊かになります。人間と森との関係を持続する、人と森とをつなぐ接点が林業なのです。この関係を絶つと森と人は良い関係を保てません。

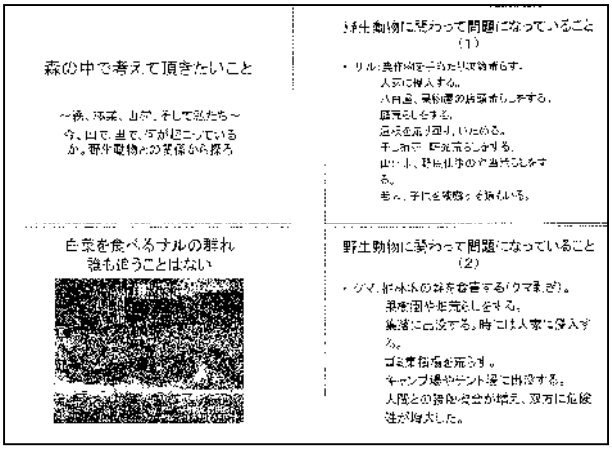
・今日は、森、林業、山村の課題について「野生動物との関係」に焦点を当てて説明します。

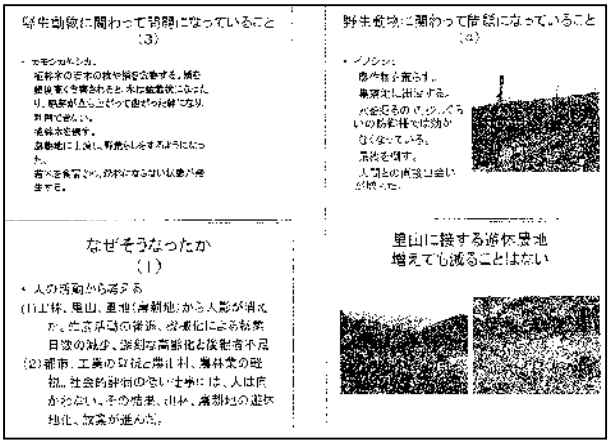
■森の中で考えて頂きたいこと（パワーポイント）

～森、林業、山村、そして私たち～
今、山で、里で、何が起きているか。野生動物との関係から探る

講義の様子

パワーポイントによる説明





・クマハギとは熊が木の皮をはいで食べることで木が枯れる原因の一つです。

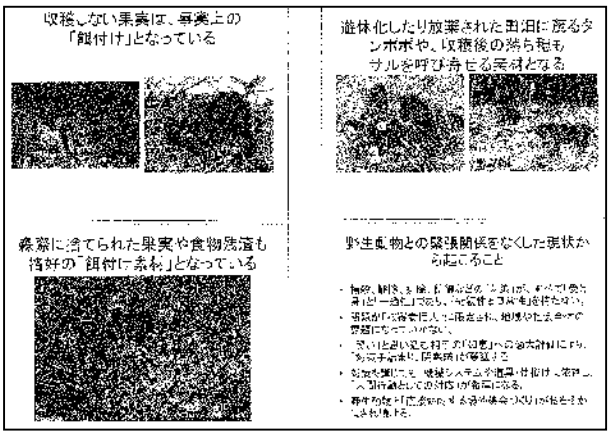
・カモシカは絶滅の危機は脱しているが、それほど個体数が増えることは無い。

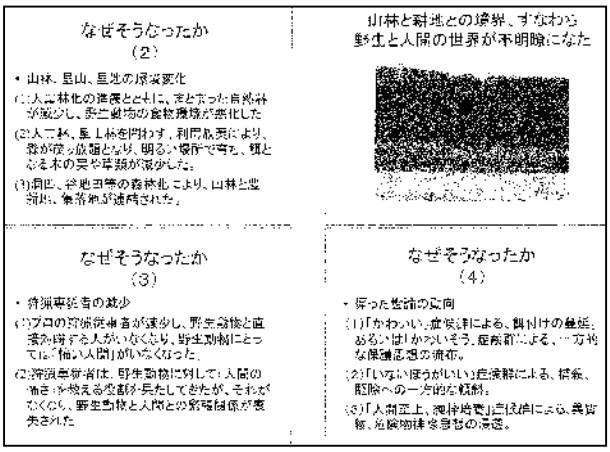
・一方、シカは圧倒的に増えることがあります。シカは群れで移動して縄張りを持ちます。シカの食害に遭うと森林に育ちません。

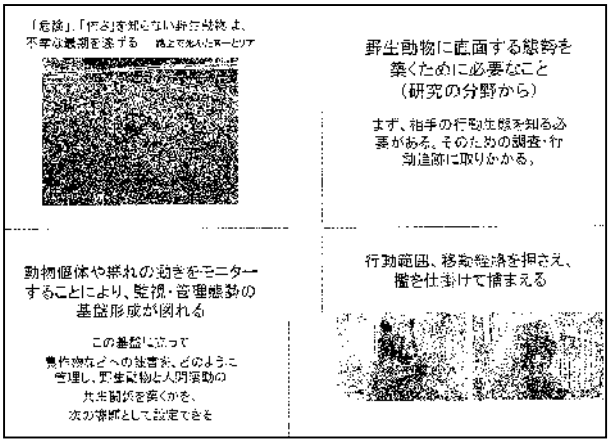
・イノシシは都市近郊で多くなっています。

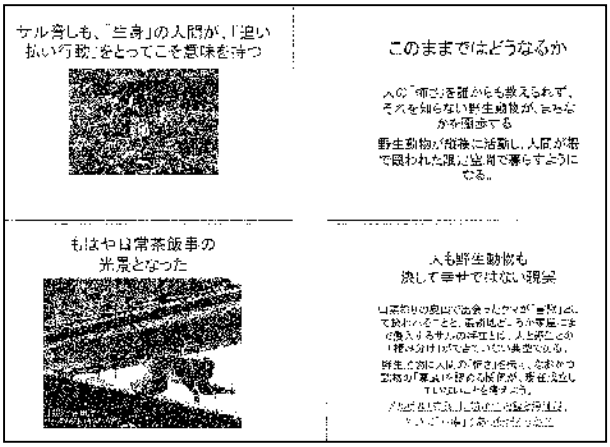
・山村を離れる人は、家を棄てて村を離れる時に木を植えていきます。また戻ってきた時に木が育っていれば、その木で家を立てることが出来ると考えてのことです。しかし、山村であった場所が森になることで、人の生活と野生生物の生息場所との領域が不明瞭となってしまいました。

・かつては、家 → 農地 → 里山 → 自然林
でしたが現在では家 → 放棄地 → 自然林
となり、野生生物の生息領域が放棄地にまで迫っているのです。

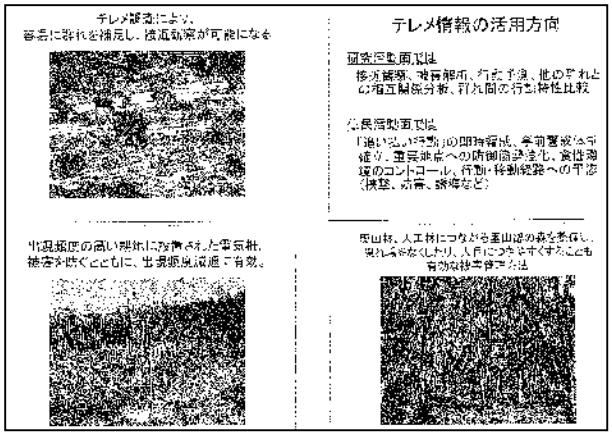








・放棄地にはクズ、アザミ、ツキミソウなどが生え、野生生物がこれを食べに来ます。
・山の実りは豊作、不作を繰り返します。それによって野生動物の生存環境が変動します。
・狩猟専従者の高齢化と後継者不足も野生動物の増加の要因の一つです。
・野生動物との緊張関係を無くした現状から起こることとして「人が森の中に入らなくなっている」ことがあります。
・このままではどうなってしまうか。「野生生物が人を怖がらない」山村では「人が柵の中で暮らすようになる」のです。
・野生動物に人間の怖さを伝え、他方人間が動物の尊厳を認める関係が成立しなくなっています。
・森の恵みを人間が採り尽くしてしまわないモラルのことを「三界萬霊等」といいます。生物益は山里の暮らしを支え、良い環境は人も動物も幸せにします。
・かつては整備された森と水辺が豊かな生命を育んでいました。野生の命を得ることはその尊厳を身中に投入することであったのです。
・身近な森に関わったり、造作のための資源として活用したりすることで、森の環境管理を行う日常的なライフスタイルを築いていくことが必要なのです。



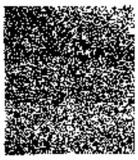
しかし、現実はどうか・・・

電気柵設置は部分的、柵も更新されず欠陥をさらしている。
そして森は荒り放題にされる。
人工林も密生したままで、「間伐手遅れ林」となっている。

山から人が去り、定住集落が減じ、
荒れ果てた「元」耕地が広がるだけの環境は、
野生動物も住みにくいのではないか。

里地・里山が美しく、豊かであった頃は、
野生動物と人間とは、上手に棲み分けていた。

里庭の場・人の世界と野生の場とは、人手の入った里山が緩衝帯の役を果たし、はっきりと区分されていた。



人々は、自然の恵みに祈りを捧げ、それを動物と分け合っていた。「取り尽くさない」モラルが、
自然の場に働いていた。

奥の森、それはタブーであり、野生の領でもあった。
そこを侵さないことが、ヒトと野生の平穏さへの
担保であった。

整備された森と水辺が、豊かで多様な生命を育んでいた。

山や里の暮らし：それは「生物益」にもつながるライフスタイルであった。

人工林や里山の「放置」と「無関心」とが一体化したとき、人間は都市の場で「人間益」のみ追い求め、「生物益」を育む心を忘れ去った。

麻酔をかけて、
追跡調査の準備をする

ラジオテレメトリー（電波発信機、テレメと略称）を取り付けて、日常的に行動範囲や生態を探る調査を行う

準備完了、山へ戻す
まだ目が覚めていないが・・・

行動調査の目的
「被害管理」に関わって

- 群れ個体、群れなどの行動範囲（行動圏、テリトリー）を押さえ、群れをなす動物なら、群れの行動範囲、他の群れとの関係、群れの大きさ、群れ行動の季節などを把握する。
- 電波受信により、位置確認が可能になり、接近情報を得やすくなる。
- 追跡と観察により、食性行動を把握することができる。
- 行動パターンがわかれば、防御や追い払いのための事前態勢を固めることができる。

テレメ調査により、
容易に群れを補足し、接近観察が可能になる

テレメ情報の活用方向

研究活動面では
接近観察、生息環境、行動予測、他の群れとの相互関係分析、群れ間の行動特性比較

住民活動面では
「追い払い行動」の即時編成、事前育成体制確立、重要地点への防御態勢強化、食性環境のコントロール、行動・移動経路への干渉（捕獲、防害、誘導など）

出現頻度の高い農地に設置された電気柵。
被害を防ぐとともに、出現頻度減少に有効

奥山林、人工林につながる里山の森を整備し、
隠れ場をなくしたり、人目につきやすくすることも
有効な被害管理方法

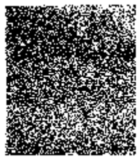
しかし、現実はどうか・・・

電気柵設置は部分的、柵も更新されず欠陥をさらしている。
そして森は荒り放題にされる。
人工林も密生したままで、「間伐手遅れ林」となっている。

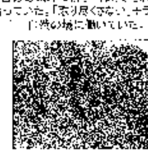
山から人が去り、定住集落が減じ、
荒れ果てた「元」耕地が広がるだけの環境は、
野生動物も住みにくいのではないか。

里地・里山が美しく、豊かであった頃は、
野生動物と人間とは、上手に棲み分けていた。

里庭の場・人の世界と野生の場とは、人手の入った里山が緩衝帯の役を果たし、はっきりと区分されていた。



人々は、自然の恵みに祈りを捧げ、それを動物と分け合っていた。「取り尽くさない」モラルが、
自然の場に働いていた。



奥の森、それはタブーであり、野生の領でもあった。
そこを侵さないことが、ヒトと野生の平穏さへの
担保であった。

整備された森と水辺が、豊かで多様な生命を育んでいた。

山や里の暮らし：それは「生物益」にもつながるライフスタイルであった。

人工林や里山の「放置」と「無関心」とが一体化したとき、人間は都市の場で「人間益」のみ追い求め、「生物益」を育む心を忘れ去った。

「置き忘れてきたもの」
それは何だったのだろうか？

サルやクマ、あるいは人の暮らしに
深く関わってくる野生動物たちは、
ひょっとしたら「忘れ物」を、私たちに
届けにきているのでは？

生物多様性を支えるライフスタイル

日本は、バラエティに富んだ自然環境が広がり、それぞれの環境で多様な生き物たちが暮らしてきた国でした。

しかし、今、日本の生物多様性に大きく損なわれています。それは、私たちの暮らし方の変化が大きく関わっています。

（日本の生物多様性）

私たちの暮らし方が変わり

そして・・・
野生動物の暮らし方も
変わった

人の世界と野生の世界をつなぐ場
＝森林が
「機能不全」に陥ったなら

クマやシカが里山を通過し、やがてまちなかを闊歩し、
人家を逗宿とするようにならないか。クマが冷蔵庫を開けたという話を聞くと、真実めいてくる。

いい環境は、人も動物も
幸せにする

幸せに生きるものは、「場所の
使い方」を区別し、
それぞれの場の役割を
損なわないように配慮する。

白菜をあさるサル、集落内の柿の木に登るクマ

決して美しい姿ではないし、
「野生の尊厳さ」を感じさせることもない。

それを見逃し、正面から対峙しない人間はどうか？

野生への感性をなくし、自らの暮らしを守るすべすら知ろうとしない
存在となっている。

東北地方の「マタギ」は、狩猟業の中で野生動物に「人間の怖さ」を教え続けてきた

野生のいのちを得ることは、その尊厳さを身に投入することであった。
各地に伝わる「クマ祭り」（イヨマンテ）は、人と野生が共生してきた象徴である。

マタギの心をどう伝えるか

身近にある森に関わったり、生活のための資源として活用したり、あるいは森の保護管理を行う日常的なライフスタイルを通じて、次代に伝えることができるのではないか。
このことは、まちで暮らしていても十分にできることではないだろうか。

森の未来を、皆さんに
そう訴えています。

ご清聴ありがとうございました

■芸大キャンパスにおける共生のイメージ（水津先生）

・構内はハクビシン、アライグマ、ブルーギルなどの外来種が多い。

・構内にある寺田池ではブルーギルとホトケドジョウが共に生息している。人の関わりによって生態を実験してみることも良いのではないか。また、野生動物の夜の動きを調べて見たい。

・人との関係を築く相手のことを知ることが必要。池を底ざらいして、ブルーギルの年齢構成を調べることもしてみたい。ブルーギルは 4 年までは千個体レベルであったのが、5 年以降は万単位に増えると聞いている。「共食い」をするために数が増えるという「共食い生態系」の成立が背景にあるとも聞いている。

意見交換の様子

・県芸大の敷地は尾張藩の御用林であったものが伐採され禿山となった、いわば「一度壊れた森」である。それがゆえに植生を自分たちの手で誘導することが可能だと考えている。

～昼食～

～午後～

■火起し体験

・枯れ枝や落葉を集めて火起しを体験した。

マキ拾い

火起し

ビニールシートで雨よけ

暖を取りながらの昼食

昼食風景

6. 実習（伊藤氏）

■樹林管理活動の概要

・人工林の間伐作業は毎年約 35ha の面積を行っている。作業時期は 5 月中旬～11 月中旬までの約 6 ヶ月間。

・作業スタッフは正社員 7 名と委託先の専門業者。

雨上がりの森

森の解説

橋を渡り森へ

実習地に向かう

亀尾島川の流れ

ウツボグサの実

実習地に到着

■チェーンソーによる間伐実演

・作業スタッフによるスギの間伐実演を見学した。

・まず周囲の状況を把握し、伐倒方向を決める。

・作業時の安全性確保のため、プロテクター、ゴーグル、耳あて、手袋などを必ず装着して作業する。

チェーンソーの説明

作業の装備

装備品の試着

防護服の確認

【間伐実演】

受け口

追い口

予定していた方向に伐倒

■ノコギリを使った丸太切断実習

・切り株の年輪数から、樹齢は約 20 年生であることが分かった。

・伐倒したスギ（直径約 15cm）をノコギリで切る作業を体験した。

・切断した丸太（長さ約 2m）は、許可を得て大学に持ち帰ることとした。

年輪を数える

ノコギリで切る

樹木についての説明

丸太の搬出

間伐された人工林

沢筋の落葉広葉樹林

内ヶ谷山林

亀尾島川に架かる橋

■焼き芋

・昼食時に起こした焚き火を利用してスタッフの方が焼き芋つくっていたので、全員で食して休憩した。

内ヶ谷山荘

焼き芋

焚き火で暖をとる

ハリガネムシ

【移動･解散】

・バスで大学まで戻り、解散した。

バスに乗り込む

林先生（左奥）とスタッフの皆様

以上

Ⅴ.現状の分析

2 ヵ年（平成 23，24 年度）の調査によって、大学構内の樹林はコナラを主体とする夏緑広葉樹二次林が大半を占め、尾根筋に僅かにアカマツ林やマツ枯れ跡地の常緑針葉樹二次林が残る状況にあることが分かった。また、大学構内の東域には地域特有の植生が残されていることが分かった。

文献や樹林の状況から、大学建設当時（昭和４０年代初頭）は治山事業によって植栽されたアイグロマツ人工林が優占していたこと、その後マツ枯れや植生の遷移などによってマツが衰退し現在見られるコナラ林に移行したことが確認できた。しかし低木層に生育していたソヨゴ、ヒサカキ、シャシャンボなどが亜高木層に達して、樹冠を覆うことでコナラ林への転換が妨げられ、高木欠損林の様相を呈する樹林形態も多く見られる。こうした樹林内では相対照度が一年を通じて低いままで推移し、陽樹の実生や林床植生の生育が妨げられている状況が確認された。このまま高木欠損林を放置した場合は、長期的には植生遷移によってシイ、カシ、クスノキなどの常緑高木林へと転換されていくことが予測される。

大学が立地する三ヶ峰丘陵は、矢田川累層の砂礫とシルト層の互層をなす地質で構成されており、谷筋には崩壊地に出現する湧水湿地も存在し、名古屋東部丘陵特有の多様な動植物を育む貴重な自然環境としての価値が認められる。この地域では炭焼きや陶器づくりなど、古くから山林資源の活用も盛んであった。貧栄養の地質とアカマツやコナラの明るい二次林の存在が、貧栄養の丘陵地特有の特徴ある植生を育んできた。しかし人為的に植栽された多くの樹林が放置されたままとなっている現在、こうした地域特有の希少な動植物が生育・生息できる自然環境が失われつつある。

今回の植生調査によって明らかになった植生管理上の課題事項を以下に整理する

●高木欠損林（マツ枯れ跡地林）の対処方針

●コナラ－アベマキ林の植生管理が必要な場所の選定と対処方針

●コナラ－アベマキ林の更新が必要な場所の選定と対処方針

●寺田池下流部の平地林の景観施業

●タケの生育範囲の拡大抑制

●内外との連携による植物保全の取組み

など

↓

個別の対処方針を検討するには、樹林全体の
管理･活用の基本方針を明確にする必要がある

↓

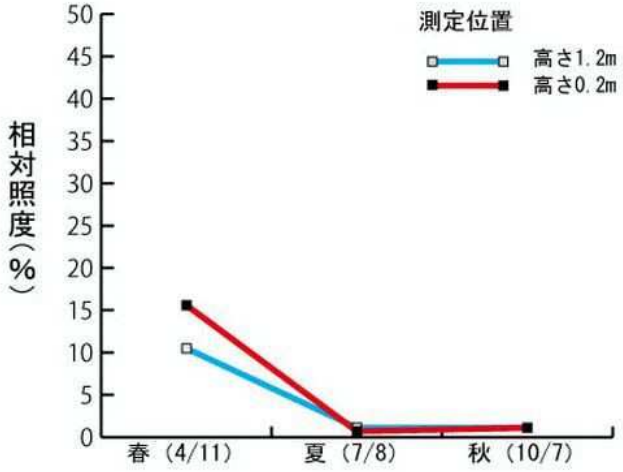
「樹林管理計画・樹林活用計画」

Ⅳ. 照度調査

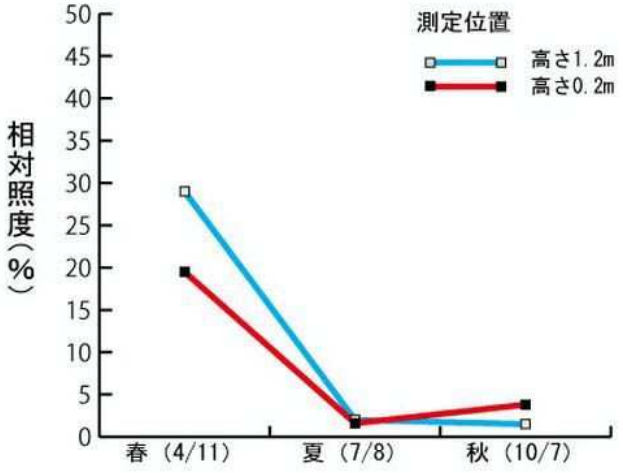
1. 照度調査結果の概要

- 照度調査は春（4/11）、夏（7/8）、秋（10/7）の 3 季にわたって実施した。
- いずれの地点も森林の利用価値の低下とともに管理放棄となって、立木密度が高い林分構造となっており、相対照度は極めて低い水準にあった。
- 一般にコナラーアベマキ林の相対照度は、春季に最も高く、夏季に激減し、秋季ではほぼ横ばいとなるパターンを示している。しかし同じコナラーアベマキ林であっても、構成樹種（特に常緑樹と落葉樹の割合）や各階層の植被率の違いにより、相対照度に相違が認められた。すなわち、植生調査地点№3 のように、亜高木層から低木層にかけて常緑樹が優占するような林分構造を持つ場合には、全体に相対照度は低く、しかも季節的な変動も少なかった。また植生調査地点№9 ではナラ枯れにより、林冠構成種の樹勢の低下や枯死により、林冠が強度に開放されたため、夏・秋の相対照度はやや高い数値を示していた。
- 植生調査地点№7 のアカマツ高木林は、各階層の植被率が低いため、相対照度が高く、春の相対照度は 30～35％あり、モチツツジ、コバノミツバツツジ等のツツジ類の生育には十分な陽光が確保されていた。
- マダケ林、スギ植林、マツ枯れ跡地林など上層に常緑樹が優勢な調査地点では、いずれも相対照度は低い。植生調査地点№1（マダケ林）は亜高木層にマダケが密生するため、夏・秋の相対照度は 1％程度と非常に低いが、竹の葉は寿命が 2 年とされているため、落葉期にあたる春の相対照度は 10～15％とやや高かった。植生調査地点№6（スギ植林）は、林冠層のスギの被度は低く、落葉樹が混生しているため、春の相対照度は 5～14％とやや高かった。植生調査地点№10（松枯れ跡地林）は常緑樹のソヨゴの優占度が高いため、季節を通じて相対照度が低い。そのため、林内には陽光を必要とするツツジ類はほとんど見られず、常緑樹が多かった。
- 多くの地点では、林床と低木層の相対照度にあまり相違がなく、管理放棄によって密林化しているため、草本層の発達が悪いことを示している。その一方で、植生調査地点№4 のハンノキ林では、草本層にネザサが全面に繁茂していたため、測定位置の違いによって、林内照度は 15％程度の差が認められた。

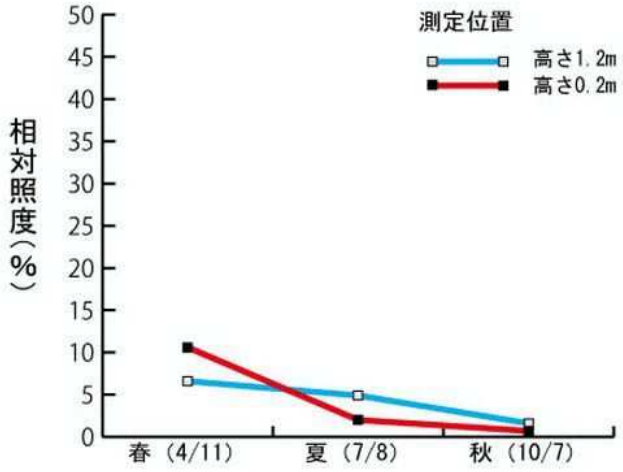
2.照度グラフ



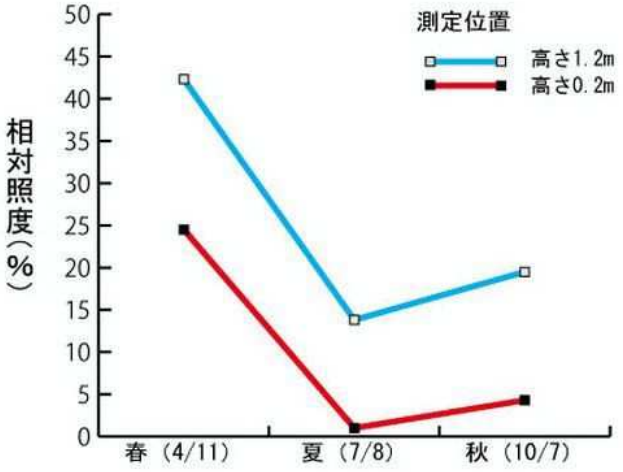
植生調査地点No.1
マダケ林



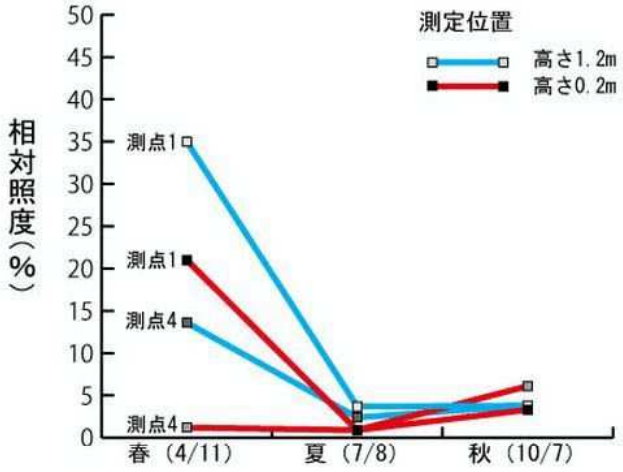
植生調査地点No.2
コナラ－アベマキ林（アベマキ優占林）



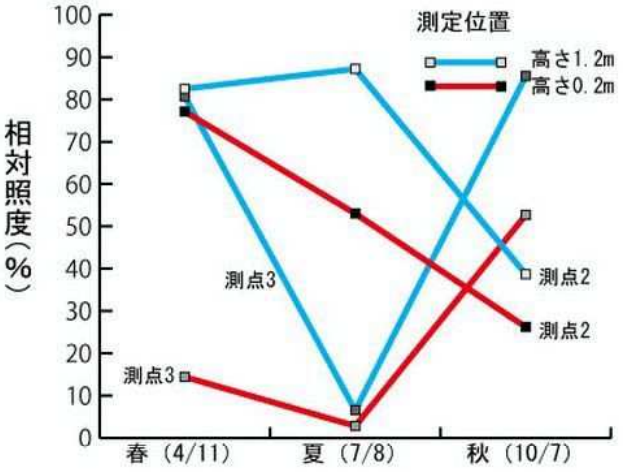
植生調査地点No.3
コナラ－アベマキ林（コナラ優占林）



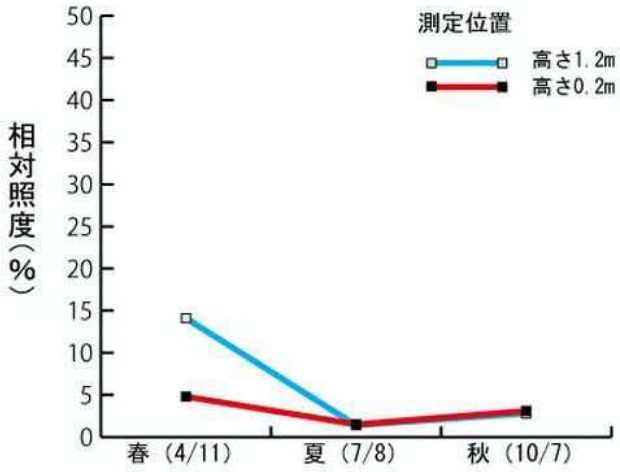
植生調査地点No.4
ハンノキ林



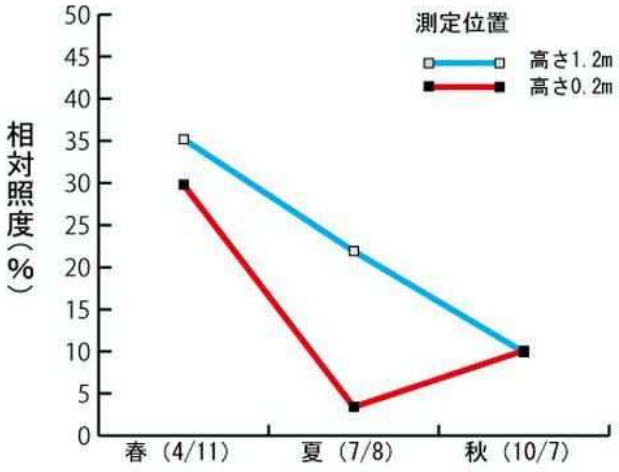
植生調査地点No.5-測点1,4
コナラ－アベマキ林（スギ混生）



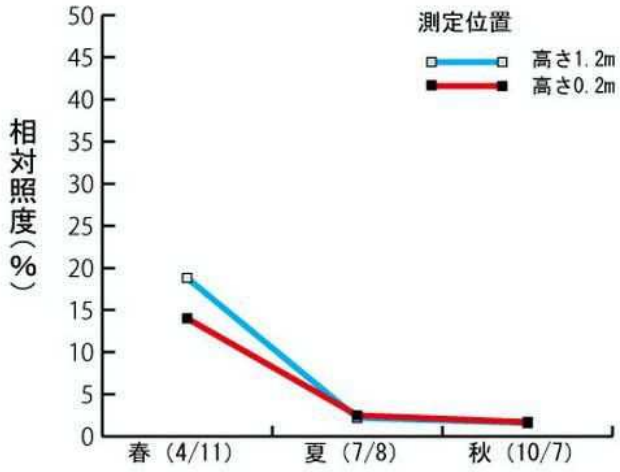
植生調査地点No.5-測点2,3
貧栄養湿地植生



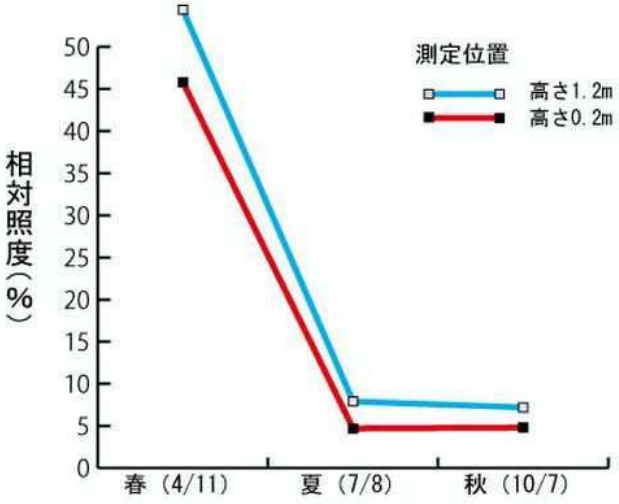
植生調査地点No.6
スギ植林



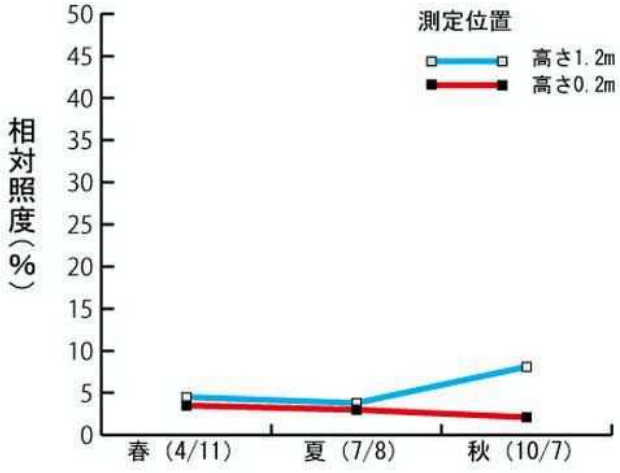
植生調査地点No.7
アカマツ林（高木林）



植生調査地点No.8
コナラーアベマキ林（コナラ優占林）



植生調査地点No.9
コナラーアベマキ林（コナラ優占林）



植生調査地点No.10
マツ枯れ跡地林

3. 照度調査データ

照度測定　集計結果

植生調査地点No.	林床（高さ0.2m）の相対照度（%）			低木層（高さ1.2m）の相対照度(%)			植生
	春	夏	秋	春	夏	秋	
1	15.6	0.7	1.1	10.5	1.1	1.1	マダケ林
2	19.5	1.6	3.8	29.0	2.0	1.5	コナラーアベマキ林
3	10.6	2.0	0.7	6.6	4.9	1.6	コナラーアベマキ林
4	24.5	1.0	4.3	42.3	13.8	19.5	ハンノキ林
5	28.4	14.4	22.1	53.0	25.0	33.0	貧栄養湿地植生、コナラーアベマキ林
6	4.8	1.5	3.1	14.1	1.4	2.8	スギ植林
7	29.8	3.4	10.1	35.2	21.9	9.9	アカマツ林（高木林）
8	14.0	2.5	1.7	18.8	2.2	1.6	コナラーアベマキ林
9	45.8	4.7	4.8	54.4	7.9	7.2	コナラーアベマキ林
10	3.5	3.0	2.1	4.5	3.8	8.1	松枯れ跡地植生

照度測定結果（植生調査地点No.1）

季節	測点No.	林床（高さ0.2m）（lx）		低木層（高さ1.2m）（lx）		全測定相対照度(%)		測点別相対照度(%)		地点別相対照度(%)	
		対照区	林　内	対照区	林　内	林床	低木層	林床	低木層	林床	低木層
春	1	71,600	12,990	71,500	4,130	18.1	5.8	20.0	5.8	15.6	10.5
		71,600	15,960	71,600	3,730	22.3	5.2				
		71,500	14,030	71,400	4,660	19.6	6.5				
	2	71,400	9,790	71,500	4,160	13.7	5.8	14.5	5.7		
		71,300	11,150	71,500	4,170	15.6	5.8				
		71,500	10,200	71,500	3,950	14.3	5.5				
	3	71,600	13,520	71,500	10,200	18.9	14.3	15.8	14.0		
		71,500	9,980	70,800	9,910	14.0	14.0				
		71,400	10,330	71,200	9,690	14.5	13.6				
	4	71,300	8,800	71,200	13,660	12.3	19.2	12.0	16.7		
		71,600	8,210	71,500	11,730	11.5	16.4				
		71,500	8,610	71,500	10,290	12.0	14.4				
夏	1	25,200	179	24,500	236	0.7	1.0	0.7	0.9	0.7	1.1
		24,600	161	25,000	215	0.7	0.9				
		24,400	182	26,900	212	0.7	0.8				
	2	32,300	313	79,000	532	1.0	0.7	0.7	0.7		
		84,200	444	70,400	518	0.5	0.7				
		83,800	459	83,200	514	0.5	0.6				
	3	81,200	744	82,200	856	0.9	1.0	0.8	1.1		
		82,000	612	82,100	944	0.7	1.1				
		81,600	605	82,200	927	0.7	1.1				
	4	77,800	572	75,000	1,407	0.7	1.9	0.8	1.8		
		76,000	569	75,700	1,315	0.7	1.7				
		75,100	594	77,200	1,310	0.8	1.7				
秋	1	61,400	368	61,300	379	0.6	0.6	0.6	0.6	1.1	1.1
		61,400	368	61,200	388	0.6	0.6				
		61,400	373	61,300	390	0.6	0.6				
	2	61,700	584	61,400	547	0.9	0.9	0.9	0.9		
		61,600	593	61,200	558	1.0	0.9				
		61,900	562	61,100	544	0.9	0.9				
	3	61,900	964	62,100	1,025	1.6	1.7	1.6	1.7		
		61,800	914	62,100	1,136	1.5	1.8				
		61,800	1,016	62,000	1,088	1.6	1.8				
	4	62,800	867	62,800	708	1.4	1.1	1.3	1.1		
		62,900	658	62,800	734	1.0	1.2				
		62,900	874	62,800	712	1.4	1.1				

照度測定結果（植生調査地点No.2）

季節	測点No.	林床（高さ0.2m）（lx）		低木層（高さ1.2m）（lx）		全測定相対照度(%)		測点別相対照度(%)		地点別相対照度(%)	
		対照区	林　内	対照区	林　内	林床	低木層	林床	低木層	林床	低木層
春	1	73,200	12,370	73,500	24,300	16.9	33.1	16.9	33.9	19.5	29.0
		73,200	12,010	73,500	25,200	16.4	34.3				
		73,300	12,700	73,400	25,300	17.3	34.5				
	2	73,600	18,800	73,900	16,970	25.5	23.0	26.0	20.8		
		73,600	19,460	73,900	15,230	26.4	20.6				
		73,800	19,240	73,900	13,890	26.1	18.8				
	3	73,800	9,600	74,000	6,810	13.0	9.2	14.4	9.3		
		73,600	11,950	74,100	6,940	16.2	9.4				
		73,800	10,250	74,100	6,890	13.9	9.3				
	4	73,800	11,970	72,100	37,500	16.2	52.0	20.6	52.2		
		73,500	15,480	71,700	37,000	21.1	51.6				
		70,200	17,290	73,200	38,700	24.6	52.9				
夏	1	44,500	943	33,900	937	2.1	2.8	2.2	2.7	1.6	2.0
		49,100	942	35,400	941	1.9	2.7				
		32,800	794	34,800	957	2.4	2.8				
	2	60,200	762	35,100	693	1.3	2.0	1.5	2.0		
		41,000	704	34,800	695	1.7	2.0				
		41,300	677	36,100	697	1.6	1.9				
	3	73,900	1,038	45,100	638	1.4	1.4	1.5	1.5		
		72,400	1,033	40,800	580	1.4	1.4				
		64,400	996	35,900	553	1.5	1.5				
	4	52,000	933	41,900	631	1.8	1.5	1.4	1.8		
		61,800	738	33,900	613	1.2	1.8				
		66,800	715	33,600	747	1.1	2.2				
秋	1	63,400	1,270	62,900	1,171	2.0	1.9	2.4	1.8	3.8	1.5
		63,600	1,441	62,900	1,174	2.3	1.9				
		63,200	1,845	62,600	1,098	2.9	1.8				
	2	63,400	5,170	62,000	1,180	8.2	1.9	10.4	1.9		
		62,600	8,390	61,100	1,070	13.4	1.8				
		62,400	5,980	61,000	1,330	9.6	2.2				
	3	63,000	842	62,600	626	1.3	1.0	1.3	1.0		
		63,100	865	62,500	636	1.4	1.0				
		62,800	738	62,300	619	1.2	1.0				
	4	62,600	746	62,100	768	1.2	1.2	1.1	1.2		
		62,700	694	62,200	754	1.1	1.2				
		62,400	687	61,500	760	1.1	1.2				

照度測定結果（植生調査地点No.3）

季節	測点No.	林床（高さ0.2m）(lx)		低木層（高さ1.2m）(lx)		全測定相対照度(%)		測点別相対照度(%)		地点別相対照度(%)	
		対照区	林　内	対照区	林　内	林床	低木層	林床	低木層	林床	低木層
春	1	69,500	3,590	69,900	5,310	5.2	7.6	4.8	7.1	10.6	6.6
		69,500	3,450	70,000	4,830	5.0	6.9				
		69,600	2,890	70,100	4,730	4.2	6.7				
	2	69,900	15,820	70,000	2,450	22.6	3.5	23.8	3.2		
		70,200	18,430	70,000	2,170	26.3	3.1				
		70,100	15,720	69,900	2,150	22.4	3.1				
	3	69,700	4,370	69,900	5,640	6.3	8.1	6.3	9.4		
		69,700	4,600	69,900	7,210	6.6	10.3				
		69,800	4,160	69,900	6,870	6.0	9.8				
	4	69,600	6,310	69,400	4,680	9.1	6.7	7.7	6.8		
		69,400	4,920	69,300	4,710	7.1	6.8				
		69,500	4,740	69,200	4,720	6.8	6.8				
夏	1	62,200	1,460	40,200	9,200	2.3	22.9	2.3	14.7	2.0	4.9
		67,000	1,930	40,200	5,600	2.9	13.9				
		52,500	930	40,500	2,900	1.8	7.2				
	2	61,000	542	87,400	1,730	0.9	2.0	0.7	2.2		
		86,000	528	86,200	1,750	0.6	2.0				
		76,000	514	58,400	1,600	0.7	2.7				
	3	80,000	3,260	86,300	991	4.1	1.1	3.9	1.4		
		84,200	2,260	86,300	1,789	2.7	2.1				
		82,800	4,100	86,200	904	5.0	1.0				
	4	86,200	1,096	81,800	1,078	1.3	1.3	1.2	1.2		
		85,100	899	80,000	758	1.1	0.9				
		79,000	1,031	80,200	1,061	1.3	1.3				
秋	1	59,800	275	60,100	610	0.5	1.0	0.4	2.7	0.7	1.6
		59,900	229	60,300	3,120	0.4	5.2				
		60,000	234	60,400	1,110	0.4	1.8				
	2	60,300	276	60,500	356	0.5	0.6	0.7	0.6		
		60,400	446	60,600	359	0.7	0.6				
		60,400	542	60,500	359	0.9	0.6				
	3	60,400	505	60,500	681	0.8	1.1	0.8	1.4		
		60,400	507	60,700	554	0.8	0.9				
		60,400	510	60,700	1,321	0.8	2.2				
	4	60,700	588	60,400	1,125	1.0	1.9	1.0	1.8		
		60,600	562	60,700	1,474	0.9	2.4				
		60,400	630	60,600	620	1.0	1.0				

照度測定結果（植生調査地点No.4）

季節	測点No.	林床（高さ0.2m）（lx）		低木層（高さ1.2m）（lx）		全測定相対照度(%)		測点別相対照度(%)		地点別相対照度(%)	
		対照区	林　内	対照区	林　内	林床	低木層	林床	低木層	林床	低木層
春	1	28,400	7,890	27,900	12,310	27.8	44.1	28.5	44.1	24.5	42.3
		29,000	7,990	28,100	12,450	27.6	44.3				
		28,300	8,520	28,200	12,410	30.1	44.0				
	2	30,700	5,880	37,800	8,730	19.2	23.1	19.1	24.5		
		31,300	6,200	40,200	9,420	19.8	23.4				
		34,800	6,350	46,300	12,540	18.2	27.1				
	3	58,400	12,730	53,800	24,600	21.8	45.7	21.7	48.2		
		59,300	11,480	52,800	28,600	19.4	54.2				
		59,300	14,200	51,300	22,900	23.9	44.6				
	4	36,800	10,980	45,400	22,900	29.8	50.4	28.8	52.2		
		36,900	10,060	43,900	24,200	27.3	55.1				
		38,100	11,110	44,200	22,500	29.2	50.9				
夏	1	89,600	532	89,800	6,470	0.6	7.2	0.6	6.5	1.0	13.8
		89,600	521	90,000	4,910	0.6	5.5				
		89,700	526	90,100	6,270	0.6	7.0				
	2	91,100	1,409	91,400	12,500	1.5	13.7	1.5	45.5		
		91,200	1,490	91,400	64,200	1.6	70.2				
		91,200	1,270	91,400	48,100	1.4	52.6				
	3	91,300	1,401	91,100	1,560	1.5	1.7	1.5	1.9		
		91,400	1,291	91,000	2,060	1.4	2.3				
		91,400	1,345	91,000	1,520	1.5	1.7				
	4	91,000	440	91,300	1,238	0.5	1.4	0.5	1.3		
		91,000	435	91,300	1,003	0.5	1.1				
		91,300	432	91,300	1,359	0.5	1.5				
秋	1	62,000	4,940	61,800	1,145	8.0	1.9	9.7	1.9	4.3	19.5
		61,900	5,820	61,800	1,222	9.4	2.0				
		61,900	7,230	61,800	1,080	11.7	1.7				
	2	61,500	874	61,200	4,550	1.4	7.4	1.4	5.2		
		61,400	806	61,200	2,480	1.3	4.1				
		61,200	818	61,200	2,570	1.3	4.2				
	3	61,100	1,940	61,100	38,900	3.2	63.7	3.2	63.5		
		61,100	1,909	61,000	39,200	3.1	64.3				
		61,100	1,973	61,100	38,300	3.2	62.7				
	4	61,200	1,134	61,000	5,520	1.9	9.0	3.0	7.6		
		61,300	2,280	61,000	4,280	3.7	7.0				
		61,100	2,130	61,100	4,030	3.5	6.6				

照度測定結果（植生調査地点No.5）

季節	測点No.	林床（高さ0.2m）（lx）		低木層（高さ1.2m）（lx）		全測定相対照度(%)		測点別相対照度(%)		地点別相対照度(%)	
		対照区	林　内	対照区	林　内	林床	低木層	林床	低木層	林床	低木層
春	1	42,100	9,990	36,400	12,080	23.7	33.2	21.0	35.0	28.4	53.0
		34,000	6,090	36,600	13,040	17.9	35.6				
		31,700	6,740	36,200	13,070	21.3	36.1				
	2	46,100	30,100	63,800	53,400	65.3	83.7	77.1	82.5		
		44,500	36,900	64,500	53,600	82.9	83.1				
		43,600	36,200	65,600	53,000	83.0	80.8				
	3	69,400	12,100	68,300	55,800	17.4	81.7	14.4	80.7		
		69,200	9,300	68,100	54,900	13.4	80.6				
		68,800	8,470	68,000	54,300	12.3	79.9				
	4	63,000	754	52,900	5,660	1.2	10.7	1.2	13.6		
		62,400	768	40,200	7,060	1.2	17.6				
		60,700	793	40,600	5,070	1.3	12.5				
夏	1	81,900	758	80,900	3,120	0.9	3.9	0.9	3.7	14.4	25.0
		81,900	737	80,400	2,170	0.9	2.7				
		81,300	718	80,100	3,670	0.9	4.6				
	2	80,100	37,600	80,800	71,300	46.9	88.2	53.0	87.2		
		80,400	58,200	80,500	70,100	72.4	87.1				
		80,500	32,000	80,600	69,600	39.8	86.4				
	3	78,900	2,150	79,400	5,340	2.7	6.7	2.8	6.5		
		79,300	2,240	79,300	5,060	2.8	6.4				
		79,100	2,290	79,700	5,030	2.9	6.3				
	4	76,500	740	79,500	671	1.0	0.8	0.9	2.4		
		77,700	659	79,800	1,890	0.8	2.4				
		78,300	624	79,700	3,190	0.8	4.0				
秋	1	61,500	2,150	61,200	2,330	3.5	3.8	3.3	3.8	22.1	33.0
		61,400	1,930	61,200	2,360	3.1	3.9				
		61,300	2,040	61,100	2,360	3.3	3.9				
	2	60,900	20,200	60,600	22,800	33.2	37.6	26.2	38.7		
		60,700	17,500	60,500	29,400	28.8	48.6				
		60,600	10,100	60,600	18,100	16.7	29.9				
	3	60,700	43,300	60,200	50,900	71.3	84.6	52.7	85.5		
		60,400	28,100	60,100	50,400	46.5	83.9				
		60,200	24,300	60,300	53,200	40.4	88.2				
	4	60,100	3,820	60,600	2,810	6.4	4.6	6.1	3.8		
		60,300	3,890	60,800	2,530	6.5	4.2				
		60,400	3,300	60,800	1,590	5.5	2.6				

照度測定結果（植生調査地点No.6）

季節	測点No.	林床（高さ0.2m）（lx）		低木層（高さ1.2m）（lx）		全測定相対照度(%)		測点別相対照度(%)		地点別相対照度(%)	
		対照区	林　内	対照区	林　内	林床	低木層	林床	低木層	林床	低木層
春	1	39,700	3,150	41,600	7,190	7.9	17.3	7.0	18.4	4.8	14.1
		40,300	2,750	42,700	8,340	6.8	19.5				
		40,600	2,480	43,900	8,040	6.1	18.3				
	2	55,500	1,970	48,500	5,160	3.5	10.6	3.2	9.8		
		50,600	1,520	49,500	4,650	3.0	9.4				
		51,100	1,580	49,800	4,720	3.1	9.5				
	3	56,900	2,650	48,000	1,252	4.7	2.6	4.7	2.5		
		55,800	2,630	47,500	1,193	4.7	2.5				
		53,200	2,590	48,900	1,204	4.9	2.5				
	4	58,500	2,590	52,600	8,570	4.4	16.3	4.4	25.6		
		57,800	2,450	53,100	15,470	4.2	29.1				
		56,300	2,490	54,600	17,100	4.4	31.3				
夏	1	84,600	491	85,400	1,456	0.6	1.7	0.6	1.7	1.5	1.4
		84,700	505	85,800	1,466	0.6	1.7				
		85,000	525	85,900	1,493	0.6	1.7				
	2	86,600	1,644	86,600	1,330	1.9	1.5	1.9	1.7		
		86,600	1,886	86,700	1,270	2.2	1.5				
		86,700	1,433	86,800	1,890	1.7	2.2				
	3	86,800	467	86,700	144	0.5	0.2	0.5	0.2		
		86,800	378	86,900	141	0.4	0.2				
		86,700	376	86,800	144	0.4	0.2				
	4	86,900	2,800	86,900	1,711	3.2	2.0	3.1	1.8		
		86,900	2,580	87,000	1,732	3.0	2.0				
		86,800	2,700	87,100	1,334	3.1	1.5				
秋	1	55,000	3,580	55,400	2,490	6.5	4.5	4.6	4.4	3.1	2.8
		55,200	2,450	55,500	2,670	4.4	4.8				
		55,200	1,560	55,600	2,150	2.8	3.9				
	2	55,800	904	55,800	1,224	1.6	2.2	1.6	2.1		
		55,800	878	55,700	1,183	1.6	2.1				
		55,800	884	55,600	1,180	1.6	2.1				
	3	55,300	626	55,200	288	1.1	0.5	1.2	0.5		
		55,300	534	55,200	254	1.0	0.5				
		55,200	765	55,200	252	1.4	0.5				
	4	55,300	2,530	55,500	2,200	4.6	4.0	4.9	4.0		
		55,500	2,450	55,500	2,240	4.4	4.0				
		55,500	3,160	55,500	2,270	5.7	4.1				

照度測定結果（植生調査地点No.7）

季節	測点No.	林床（高さ0.2m）（lx）		低木層（高さ1.2m）（lx）		全測定相対照度(%)		測点別相対照度(%)		地点別相対照度(%)	
		対照区	林　内	対照区	林　内	林床	低木層	林床	低木層	林床	低木層
春	1	43,600	8,290	41,900	8,990	19.0	21.5	19.8	21.4	29.8	35.2
		41,700	8,690	42,200	9,220	20.8	21.8				
		42,300	8,270	42,300	8,800	19.6	20.8				
	2	42,100	14,170	37,000	9,660	33.7	26.1	29.7	26.3		
		39,300	11,750	37,300	9,840	29.9	26.4				
		38,000	9,730	37,400	9,930	25.6	26.6				
	3	37,900	11,260	40,300	17,420	29.7	43.2	29.8	43.2		
		38,200	11,530	40,400	17,340	30.2	42.9				
		38,900	11,500	41,100	17,900	29.6	43.6				
	4	43,500	16,900	46,400	23,100	38.9	49.8	39.7	50.0		
		44,100	17,720	46,000	23,200	40.2	50.4				
		44,800	17,900	46,300	23,000	40.0	49.7				
夏	1	98,800	2,480	98,100	2,870	2.5	2.9	2.5	3.8	3.4	21.9
		98,500	2,450	98,200	4,030	2.5	4.1				
		97,700	2,490	98,100	4,300	2.5	4.4				
	2	96,300	3,290	97,200	3,240	3.4	3.3	3.4	3.3		
		97,200	3,320	97,500	3,230	3.4	3.3				
		97,000	3,290	97,400	3,170	3.4	3.3				
	3	97,600	2,700	98,300	2,390	2.8	2.4	2.7	2.8		
		97,600	2,660	98,500	3,760	2.7	3.8				
		98,500	2,640	98,700	2,260	2.7	2.3				
	4	99,200	4,560	100,000	86,000	4.6	86.0	5.0	77.5		
		100,000	4,760	100,300	84,200	4.8	83.9				
		100,000	5,550	100,400	62,700	5.6	62.5				
秋	1	59,400	2,850	59,400	1,890	4.8	3.2	3.9	3.2	10.1	9.9
		59,400	2,120	59,500	1,910	3.6	3.2				
		59,300	1,990	59,600	1,890	3.4	3.2				
	2	59,500	2,350	59,700	2,570	3.9	4.3	4.0	4.4		
		59,400	2,470	59,600	2,670	4.2	4.5				
		59,500	2,370	59,500	2,570	4.0	4.3				
	3	59,600	15,400	59,300	2,970	25.8	5.0	22.0	11.2		
		59,400	11,320	59,200	9,810	19.1	16.6				
		59,500	12,490	59,100	7,160	21.0	12.1				
	4	59,000	9,280	59,200	16,470	15.7	27.8	10.5	21.0		
		59,100	4,690	59,000	6,800	7.9	11.5				
		59,100	4,610	59,000	13,920	7.8	23.6				

照度測定結果（植生調査地点No.8）

季節	測点No.	林床（高さ0.2m）（lx）		低木層（高さ1.2m）（lx）		全測定相対照度(%)		測点別相対照度(%)		地点別相対照度(%)	
		対照区	林　内	対照区	林　内	林床	低木層	林床	低木層	林床	低木層
春	1	79,100	13,200	70,400	21,000	16.7	29.8	20.3	27.1	14.0	18.8
		79,400	17,200	66,900	19,800	21.7	29.6				
		78,700	17,700	65,000	14,300	22.5	22.0				
	2	57,200	6,470	75,900	6,250	11.3	8.2	10.8	8.7		
		57,700	6,310	74,800	6,340	10.9	8.5				
		62,300	6,370	68,900	6,480	10.2	9.4				
	3	76,900	6,450	75,400	10,770	8.4	14.3	8.7	14.8		
		73,300	6,500	77,800	12,660	8.9	16.3				
		72,300	6,390	78,100	10,730	8.8	13.7				
	4	70,300	11,700	70,900	17,220	16.6	24.3	16.3	24.5		
		70,800	11,550	70,800	18,140	16.3	25.6				
		67,400	10,770	69,700	16,450	16.0	23.6				
夏	1	99,800	2,440	86,000	2,480	2.4	2.9	2.3	2.4	2.5	2.2
		100,900	2,150	86,400	1,490	2.1	1.7				
		95,800	2,210	71,400	1,840	2.3	2.6				
	2	103,500	1,142	102,900	1,098	1.1	1.1	1.1	1.1		
		103,500	1,117	102,800	1,083	1.1	1.1				
		103,400	1,115	102,800	1,082	1.1	1.1				
	3	102,800	2,800	102,000	1,280	2.7	1.3	3.7	1.3		
		102,800	4,160	101,600	1,280	4.0	1.3				
		102,800	4,460	101,400	1,310	4.3	1.3				
	4	102,000	3,280	101,200	2,390	3.2	2.4	2.9	4.2		
		100,500	3,090	101,400	4,430	3.1	4.4				
		101,300	2,410	101,800	6,110	2.4	6.0				
秋	1	61,900	876	61,500	895	1.4	1.5	1.4	1.5	1.7	1.6
		61,900	883	61,400	891	1.4	1.5				
		61,800	875	61,300	914	1.4	1.5				
	2	61,200	766	60,400	773	1.3	1.3	1.2	1.3		
		60,900	741	60,100	770	1.2	1.3				
		60,700	734	60,500	788	1.2	1.3				
	3	60,800	2,000	60,600	791	3.3	1.3	2.7	1.3		
		60,900	1,000	60,700	801	1.6	1.3				
		60,900	2,010	60,700	816	3.3	1.3				
	4	61,000	960	60,900	1,408	1.6	2.3	1.6	2.2		
		61,000	962	60,800	1,296	1.6	2.1				
		60,900	969	60,600	1,385	1.6	2.3				

照度測定結果（植生調査地点No.9）

季節	測点No.	林床（高さ0.2m）(lx)		低木層（高さ1.2m）(lx)		全測定相対照度(%)		測点別相対照度(%)		地点別相対照度(%)	
		対照区	林　内	対照区	林　内	林床	低木層	林床	低木層	林床	低木層
春	1	41,800	19,300	71,600	45,300	46.2	63.3	46.1	63.5	45.8	54.4
		56,700	26,100	74,000	47,500	46.0	64.2				
		62,400	28,800	73,000	46,100	46.2	63.2				
	2	64,100	34,800	77,400	56,200	54.3	72.6	56.5	72.4		
		71,000	41,000	79,100	58,100	57.7	73.5				
		75,200	43,100	79,100	56,200	57.3	71.0				
	3	76,500	21,400	79,400	25,000	28.0	31.5	30.9	22.9		
		76,700	25,800	79,200	14,500	33.6	18.3				
		75,100	23,400	78,800	15,000	31.2	19.0				
	4	78,600	36,100	78,300	43,300	45.9	55.3	49.6	58.9		
		78,600	38,700	78,200	47,500	49.2	60.7				
		78,300	41,900	78,300	47,600	53.5	60.8				
夏	1	91,900	3,060	110,500	3,000	3.3	2.7	4.0	3.2	4.7	7.9
		105,400	3,360	90,500	2,860	3.2	3.2				
		107,200	5,790	71,200	2,700	5.4	3.8				
	2	109,300	1,076	99,200	3,930	1.0	4.0	1.0	4.6		
		104,400	1,022	31,700	1,595	1.0	5.0				
		108,300	1,082	31,900	1,524	1.0	4.8				
	3	47,500	2,040	37,500	2,770	4.3	7.4	4.8	7.2		
		42,400	2,170	37,000	2,690	5.1	7.3				
		45,700	2,270	36,900	2,610	5.0	7.1				
	4	37,500	3,410	39,400	5,670	9.1	14.4	9.2	16.6		
		37,900	3,460	40,100	8,520	9.1	21.2				
		38,600	3,670	74,900	10,700	9.5	14.3				
秋	1	65,100	2,130	65,000	2,720	3.3	4.2	3.6	5.5	4.8	7.2
		65,200	2,470	65,200	2,970	3.8	4.6				
		65,100	2,420	65,300	4,970	3.7	7.6				
	2	65,400	7,310	65,200	11,230	11.2	17.2	9.6	14.6		
		65,300	6,650	64,900	11,310	10.2	17.4				
		65,200	4,890	65,000	5,890	7.5	9.1				
	3	64,900	1,700	64,600	2,470	2.6	3.8	2.7	3.4		
		64,600	1,740	64,500	2,260	2.7	3.5				
		64,500	1,720	64,500	1,940	2.7	3.0				
	4	64,600	2,250	64,700	3,280	3.5	5.1	3.4	5.3		
		64,600	2,190	64,700	3,400	3.4	5.3				
		64,700	2,180	64,700	3,630	3.4	5.6				

照度測定結果（植生調査地点No.10）

季節	測点No.	林床（高さ0.2m）（lx）		低木層（高さ1.2m）（lx）		全測定相対照度(%)		測点別相対照度(%)		地点別相対照度(%)	
		対照区	林　内	対照区	林　内	林床	低木層	林床	低木層	林床	低木層
春	1	65,500	3,110	65,900	3,930	4.7	6.0	4.6	7.1	3.5	4.5
		65,800	3,010	65,900	6,740	4.6	10.2				
		65,800	2,920	66,000	3,450	4.4	5.2				
	2	66,000	2,230	65,700	2,630	3.4	4.0	3.3	3.9		
		65,900	2,210	65,800	2,430	3.4	3.7				
		65,900	2,150	65,800	2,680	3.3	4.1				
	3	65,900	1,910	66,200	1,980	2.9	3.0	2.9	3.0		
		66,000	1,900	66,300	1,990	2.9	3.0				
		66,100	1,900	66,300	2,000	2.9	3.0				
	4	66,800	2,200	67,100	2,650	3.3	3.9	3.3	3.9		
		66,900	2,200	67,000	2,600	3.3	3.9				
		67,000	2,220	67,100	2,660	3.3	4.0				
夏	1	95,200	1,554	53,400	2,480	1.6	4.6	6.6	3.0	3.0	3.8
		83,200	1,463	98,400	2,570	1.8	2.6				
		10,200	1,686	105,400	1,950	16.5	1.9				
	2	55,200	1,026	41,600	1,677	1.9	4.0	1.6	8.3		
		71,700	1,021	10,700	1,791	1.4	16.7				
		66,300	1,012	43,200	1,731	1.5	4.0				
	3	104,600	1,627	92,300	1,650	1.6	1.8	1.5	2.1		
		104,000	1,494	89,900	2,030	1.4	2.3				
		88,900	1,444	82,500	1,780	1.6	2.2				
	4	74,500	1,920	97,500	1,870	2.6	1.9	2.1	1.8		
		98,400	1,800	98,100	1,840	1.8	1.9				
		95,800	1,770	100,700	1,720	1.8	1.7				
秋	1	58,300	2,060	58,200	9,940	3.5	17.1	3.7	25.3	2.1	8.1
		57,900	2,110	58,300	15,450	3.6	26.5				
		57,800	2,250	58,300	18,840	3.9	32.3				
	2	58,600	689	58,500	1,464	1.2	2.5	1.2	2.5		
		58,600	718	58,500	1,482	1.2	2.5				
		58,500	720	58,500	1,483	1.2	2.5				
	3	58,500	1,581	58,600	952	2.7	1.6	2.0	1.6		
		58,600	1,043	58,700	936	1.8	1.6				
		58,700	892	58,600	932	1.5	1.6				
	4	58,600	835	58,700	1,960	1.4	3.3	1.4	3.0		
		58,800	837	58,600	1,620	1.4	2.8				
		58,800	829	58,600	1,640	1.4	2.8				

4. 計画の策定に向けて

「愛知県立芸術大学施設整備ビジョン報告書」（平成 23 年 5 月）において、「キャンパスの保全方針」の 3 項目の柱の一つとして「植生調査等によりキャンパス内の生態系を把握し、自然と共生したキャンパスづくりを行う」ことを方針に定めている。

平成 22、23 年度に実施した植生調査や平成 23 年度から平成 24 年度にかけて実施している生物調査等の成果を踏まえ、平成 24 年度は引き続き、大学構内の樹林地の将来像の検討や健全化に向けた樹林管理計画（案）の作成に取組むこととする。なお、計画の検討は教職員、在学生等の参加によるものとし、これまでと同様に対象地の樹林環境に詳しい有識者の指導を得て実施する予定としている。